

農業はどう進む!?

(出席者)

町長 松下道男

議長 中村篤治

(聞き手) 広報係 梶屋勇人

新春インタビュー



新しい年、昭和六十四年を迎えました。昭和六十四年度は、昭和五十五年から十年間をめぐにした第二次長期振興計画の最終年度にあたります。年頭にあたり、町長、議長に「長期的視野に立った中種子の農業」について展望をお伺いしました。

国の政策が

どう変わるかで

中種子も変わる

町長は、町政の機関車として、中種子の農業をどんな方向にけん引していくお考えですか。松下 本町の場合、何と言っても第一次産業、つまり農業が今を含め、将来も伸びて行かねばならないと思えます。ただ、国の施策により今後の中種子の農業も変わるでしょう

から、農業一本というよりも、観光や水産業など他の産業も強力を振興していかなければならないと思えます。

議長は視察などで他県、他市町村を数多く見てると思いますが、中種子町を振り返った時、本町の進むべき農業をどう考えになりますか。

中村 町長も言われるように、中種子はやはり、農業を、特にオーギ、からいも、畜産を主体にしながら、そして温暖な立地

条件を生かした生産性の高い魅力ある品目についても取り組んでいかなければならないと思えます。議会の経済建設委員会でも、このことについては積極的に調査研究に取り組んでいます。

一 と言うことは、農業主体の路線は、将来にもつないでいくということですね。

松下 一口に言えばそうですが、国が農政をどう位置づけるかで県、ひいては市町の自治体まで決まってしまう。日本が農業型でなく、工業型だから、日本の農業の将来はアメリカのみならず、世界の農業がどう変わるかが大きく影響するでしょうね。

二段構えで 推進を

一 将来の農業も、今のようには普通作を主体にした農業です。松下 今述べたような状況です

特集

から、本町の将来の農業を語るのには難しいのですが、現在のオーギ、からいもの普通作中心の農業は、まだ存続できるような思いです。と同時に、野菜や花きにも力を入れ、動向に対処しなければなりません。現在、野菜、花き産地確立対策協議会を置いて、増田で野菜、油久で花きを重点に技術の習得など力を入れているところですね。

中村 十年先というものは、国際協調化の中で非常に難しいことだと思えますよ。例えば畜産については、六十六年から牛肉の自由化がはじまりますが、それに対処するため、肉用子牛の生産安定をはかる法律や制度もできるようです。とてもありがたいことですね。

オーギやからいもについても同じように心配ないと言っていると思えますね。町長がいつも言われるように、普通作や、畜産などが力のあるうちに他の品目を徐々に開発していかなければならないでしょう。また、都会の大消費地に好まれる品づくりやフライト農業をめざすためにも防風対策は欠かせないでしょうね。

一 農家の高齢化など、普通作の存続に大きな影響は考えられませんか。

松下 過疎化が進み高齢化していく中で、オーギ、からいもを作れと言っても、とてもできるもんじゃありません。体力的にも、収益的にも問題でしょうね。そういったものと区分けして推進した方が、より効果的です。オーギも作れ、園芸もやれというより、二段構えで推進するということです。どっちつかずになる前に、早急に対応していきたいと思えます。

町を支える オーギ作り

一 ところで、今収穫の最盛期を迎えています。今後のオーギについてはどうですか。

松下 面積については言えば、ここ四、五年は大きな動きはないでしょう。しかし、たばこなど減反分がオーギに変わる可能性は大きいでしょうね。

オーギ作の推進は、そのまま新光糖業の操業能力に係わるのが難しいところです。能力のアップについては、部分的にでも

と話をしているんですがね。それよりも減ることの方が、どちらかというと心配です。今の一、四五〇ぶをずっと維持できたらいいんですが、増えなくても困るといったところですね。松下 ご承知のように、オーギ、からいも作による町への恩恵はたいへん大きなものがあります。新光糖業、デンボン工場の多勢の雇用、運送に携わる方々、ガソリンの消費、ひいてはオーギを結ぶ縄に至るまで、オーギ一本が及ぼす影響は想像以上ですね。

松下 オーギを作れと言っても作れない人に、何で飯を食わせるのか。全体的な中種子の経済の底上げをどうしていかなければならないわけですね。

過疎は 止められるか

一 過疎問題と農業は切り離せない切実なことですか。

松下 まったくそのとおりです。過疎化により農家が減れば土地が空く。空いた土地を残った農家が更新させてつなげていく。そのことでは規模拡大に繋がるといっても考えられますが、しかし、何と言っても過疎化には歯止めをしなければなりません。

現在、町に過疎対策問題懇話会を置き真剣に取り組んでいるところですが、今月の二十七日にも「ふるさとづくり」をテーマに講演会を行います。各界からいろんな知恵を提供いただき、推進していこうと思っています。

一 しかし、現実に毎年二百人ほどの若者が故郷を離れていくというのは寂しいことですね。松下 それはもう、これ以上の寂しさはないですよ。高校の卒



業式に行ってみたらわかりましたよ。実に、あいさつする気もない。もしこれが中種子だけの問題であれば、私はもう生きておれないでしょうね。(笑) (ここだけの問題でないことにいささか救われる気がします。中村 町に残らないのは「農業ではなかなかだ」と思っているからでしょう。確かに規模拡大による普通作や、園芸などの集約的経営で農業をやるとうと根を下ろす若者もいますが、大部分が都会を目指していますからね。先ごろ大隅地区を回ってきたのですが、各市町高齢化や、後継者問題を大きく掲げていますね。これからは、農家が無理をしないで生きがいと魅力をもてる事業も必要でしょうね。



デンボン工場に隣接する市場に並ぶオーギ。



反骨精神を持って！

― 普通作の将来に、危機感を抱いている農家もあるようです。

松下 経営規模、所得、農家の意識の面からしても、そうそう他市町に比べ遅れていないんです。むしろ上位にランクされ

てはいても、この過疎問題には時代のすう勢を感じさせます。ただ、近年あまりにも「自由化」が騒がれたため、農家も萎縮ぎみになっているようです。

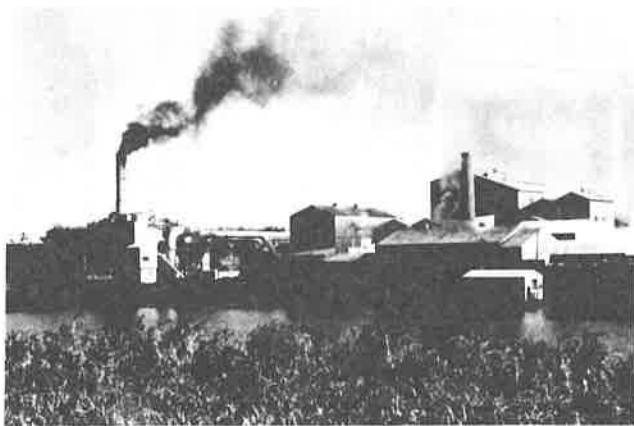
中村 鹿児島県は行政指導に対して正直すぎますね。例えば農水省の六十二年度の甘しよでん粉と北海道のばれいしよでん粉の生産調整についてですが、国の指示だからといって鹿児島県は正直に、「一依たりとも余分

松下 言うがまま、なすがままじゃなく、反骨精神を持たねばだめですよ。

中村 オーギ、からいにも「もつと自信を持ってやっつけよう」の精神とあったとどこですか。

松下 普通作しかり、園芸しか

フル操業の製糖工場
1日あたり原料
キビ約千トン
を処理する



りで、新品目にも果敢に挑む姿勢が大事です。町長や農協長の尻をたく農家が増えて欲しいですね。

町制五〇周年を

ステップに

― さて、来年の昭和六十五年は町制施行五〇周年ということ

で大きな節目を迎えるわけですが。

松下 ひと曰に五十年と云っても様々な歴史がありました。町制施行は昭和十五年、まだ戦争

前ですから、ずい分変化してきただけです。これを期に「中種子は、今このような段階にあるんだ」ということを認識させるために大きな踏み台になると思います。町としても各種の記念事業を計画し、実施するつもりです。

中村 近ごろ各地で、大規模なイベントが多く行われていますが、やはり町のビジュアルのためにはぜひ必要なことだと思

ますね。対外的にも「中種子はもう五十歳か」と印象づける効果もありますからね。

松下 農業もさることながら、昭和六十五年度が町制五〇周年だというのは非常に意義深いものがあると思います。運動公園事業がほぼ完成する、ゴルフ場もその頃オープンする。新空港にも目算が付いてくるなど、抱えている大事業に大きなステップが見られると思います。

広い耕地を生かし、機械の大型化も年々進歩している
オーギの春播えのため整地するトラクター



中村 いずれにしても、全国に胸を張ってアピールできる素晴らしい企画を期待したいですね。それとですね。イベントを夏休みに設定して「出郷者をふるさとに帰す」というような計画もおもしろいと思いますよ。

松下 そのことは私も同感です。例えば、近畿中種子会の子どもたちを、ひと夏まとめてふるさ

とに帰ってきてもらおう。親戚もいるわけだし、ふるさとでの交流を通して中種子をより理解してもらえばと思いますね。

年頭のお忙しい中、ありがとうございます。町民一人ひとりが、今年も元気に明るく過ごせる町づくりを目指して励みたいものです。



お知らせ ランド

**あなたもいっしょに
考えませんか
21世紀へつなぐ
ふるさとづくり講演会**

「過疎から脱却し、地域の活性化をはかるにはどうすればよいか」を掲げ、現在、町過疎対策問題懇話会（町長会長、委員二十一人）でも熱心に調査研究が進められています。

このような中、今回「21世紀へつなぐふるさとづくり」をテーマに講演会を計画しました。南日本新聞社論説委員長の堀石忍氏を講師に、また、パネルティスカッションでは、本町出身者で各界で活躍されている数名の方々とふるさとアドバイザーとして招き、「今、中種子は何をなすべきか」について討議い

ただきます。町民多数のご参加をお待ちしております。

日時 昭和64年1月27日（金）
午後1時から5時まで
場所 中央公民館大ホール

第二、第四土曜日はお休み

一月から毎月の第二土曜日及び第四土曜日が国の行政機関の休日となり執務は行わないこととされました。

そこで、鹿児島地方事務局管内の中種子出張所、および熊毛公共職業安定所においても、当該土曜日は閉庁することになりました。

たごあげは 電線のない広いところで

たごあげは、電線のない広いところであげましょう。もし、たごが電線にかかった時は、ゼッタイ自分で取らず、九州電力へ連絡してください。

※たごを竹などで取るのはたいへん危険です。（九州電力より）

保育所 入所児童を募集

昭和六十四年四月からの保育所入所児童を次のとおり募集します。希望者は、所定の入所申請書を役場町民課に提出してください。（入所申請書は役場町民課にあります）

入所できるのは、次の基準に当てはまる家庭の児童です。

- 母親が働いている家庭（家庭内労働、家庭外労働を問いません。）
- 母親がいらない家庭
- 母親が病人を看護している家庭
- 母親が出産したり、病気になるたりした家庭
- 災害を被った家庭

以上のような、保育が困難な家庭の児童が対象になります。

〔募集期間〕
昭和六十四年一月十日～一月三十一日
〔入所期間〕
昭和六十四年四月一日～九月三十日

〔添付書類〕
①課税証明書 ②所得税証明書（源泉徴収票の写しでもよい） ③

文化財を 火災から守ろう

一月二十六日は「文化財防火デー」です。

寺社等の建造物、仏像、絵画などの美術工芸品、古くから伝わる民芸品などの文化財は、長い年月にわたって我々が守り伝えてきた貴重な国民的財産です。

これらの寺社等の多くは木造であり、また、美術工芸品も燃え易い木、紙、布等で造られているものが多いことも、さらには、人家の密集地にあるものも少なくないなど、貴重な文化財が常に火災の危険にさらされています。

この機会に、貴重文化財を火災などからいかに守るかについて、みんなで考えましょう。

県立保健婦学校 学生募集

▽願書受付 1月4日～17日
▽入学試験日 1月29日
▽試験科目 公衆衛生学、看護学、国語、数学Ⅰ、作文
▽問い合わせ先 鹿児島県立保健婦学校（始島郡始島町平松六一二二）☎099563548



沖成さんら表彰 県交通安全シンポジウム



賞状を受けとる喜びの沖成さん

先ごろ行われた第三回鹿児島県交通安全シンポジウムの席上、多年にわたり交通安全と事故の防止に貢献した個人や団体を対象に表彰があり、本町からも次の方々が表彰されました。

（敬称は省きます）

県交通安全県民運動推進協議会 長表彰 沖成栄次（県下七名）
県交通安全協会表彰 中村重治 古田末広 団体「納宮小学校 優良運転者」中村洋雄 興種夫 祝健二 中村実 日高進 徳永 章 黒木時信 羽生フジ子 羽生真一郎 池田エイ子 柳田ミヨ子 島居かよ子 西野耕造 界寅郎 田中辰夫

沖成栄次さん（58歳阿保）
昭和四十四年から現在まで、年間を通して交通安全運動に尽力。交通量の多い国道、県道、町道を自主的に交通安全パトロールを行い、児童生徒、老人の事故防止に努めた。また、交通安全標識、カーブミラーの清掃を行うほか、看板の製作、補修に私費を投じ献身的に努めている。

社会奉仕精神が特に強く、交通安全活動を実施しながら、空缶、空ビンの回収、社会福祉施設の慰問も怠りなく続けている。

事故抑止 に向け 始動

本紙先月号で島内の交通死亡事故が史上悪態を記録したとお伝えしましたが、これに対処するため、種子島地区交通安全抑止緊急対策会議が本町で開かれました。



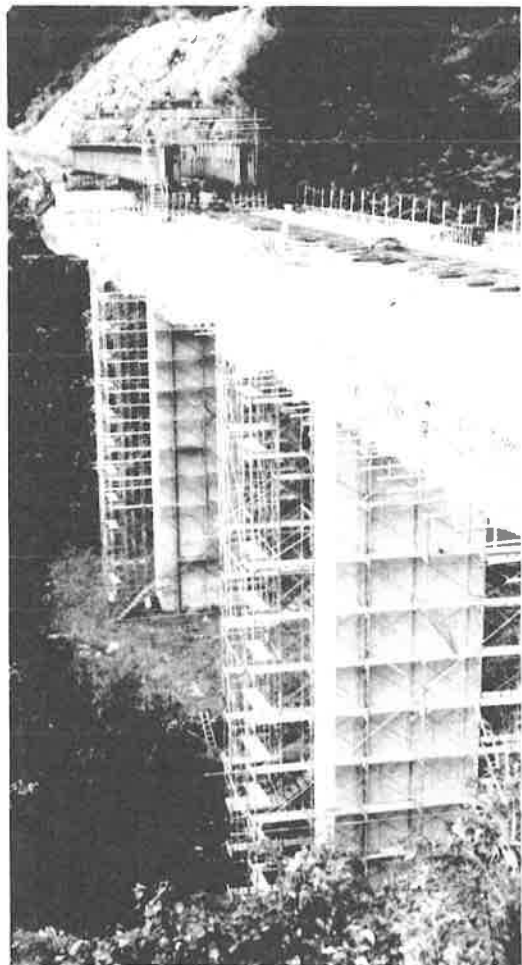
交通安全の現状を説明する 横松署長

種子島警察署 熊毛支庁、および各市町から関係者多数が集まり、緊急を要する交通事故抑止について真剣に協議しました。まず、榎本西之表市長は「死亡事故の要因で最も多いのは飲酒運転だ。島民はこれに對し、それはどい罪悪感を抱いていないように思える。今後、一市二町力を合わせて対策を講じていこう」と参加者に喚起。

地元松下町長は「このような緊急会議を開くことは喜ばしいことではないが、どうにも野放しにはできない問題だ。交通ルールは分つてくると思うが、島民にピリッとするような刺激のある対策を考えねばならぬ」と抑止に臨む強い姿勢を印象づけた。



大空から行われた交通安全の広報 11月28日



苦浜川に大きくそびえる「中種子大橋」完成まであと一息 手前が輪之尾側です

熊毛一の 『中種子大橋』開通間近か

広域営農団地農道整備事業の第二中種子地区は、昭和五十六年から順調に整備され、完通を三月に定め、今急ピッチで工事を進めています。

新光糖業の入り口付近を起点に南種子町の長谷まで延びるこ

の農道は一〇・九五キロ。この間、阿高磯川と苦浜川にそれぞれ橋が架けられますが、苦浜川の中流に架かる「中種子大橋」の建設は最大の難工事でした。長さ一七七尺、高さ二八尺は

県下でも五、六番目に大きい橋になります。巨大な二本の橋脚は六十二年に完成し、昨年九月からケタ架けが始まりました。この橋に架けられるケタは全部で二五本。長さ三九尺、高さ約

二尺のケタは一本の重さが八二

にも及ぶコンクリートの塊です。現場で作られたケタは、レールで運ばれ、大がかりな架設機に抱きかえられて一本一本渡されます。

すでに橋の三分の二、一〇本のケタ架けを終え、十二月九日はケタ架けの最終工事でした。輪之尾側から延びてきたケタが衣之平側の橋台にしっかりと固定された瞬間、農道が一本の線として現れました。



西側に一本のケタを無事渡し終えました。上は巨大な架設機械。下は防護ネット

れいに化粧され、二月末の完成を目指します。中種子のシンボルが一つ増えることになるようです。

三月十日に予定されている農道全線の開通は、国道58号線に頼っていたこの地区の農畜産物の輸送ルートが大きく変え、今後の農業生産拡大のための迅速な輸送網になることを約束するでしょう。



南界 駅伝も制す 第13回町内駅伝競走大会

第13回町内駅伝競走大会が十一月十一日行われ、町民体育会合に続き、駅伝大会でも南界が初優勝を遂げました。



野間上の松嶋修一君と紀子さん兄弟、横手昇さんと幸徳さん親子、野間下の蘭幸田正勝さんと沙織さん親子、南界の嶋崎一彦君と信也君兄弟、徳永さん親子など、六校区に十家族が出場しました。なかでも、ひととき沿道の注目を浴びたのが南界の徳永マロンファミリー。信弘さん朝子さん夫婦に長女の貴子さんと、二女の実穂さんの一家四人が出場。さらに朝子さんと実穂さんはそれぞれ区間賞を獲得するなど大活躍し、優勝に大きく貢献しました。

大会での成績は次のとおりです。(敬称は省きます)

優勝―南界 二位―岩岡 三位―野間上 四位―増田 五位―野間下 六位―納官 七位―油久 八位―星原

(区間賞)

一区 中学男子 塩浦正男(岩岡) 二区 青年男子 木場浩一(納官) 三区 小学女子 日高佐登里(野間下) 徳永美穂(南界) 四区 高校男子 松嶋修一(野間上) 五区 小学男子 町田卓(星原) 六区 高校男子 田之上晃(野間上) 七区 青年女子 原田節子(南界) 八区 中学女子 徳永友代(星原) 九区 三〇歳代男子 塩倉進太

この日の午後は、四〇歳以上による壮年バレーボール大会も行われ、熱戦の末、野間上が八度目の優勝を果たしました。二位は油久、三位は納官と野間下でした。



9区から10区のランナーへ。増田チーム、大崎選手から深田選手へたすきが渡されます



「やがては一家5人で走りたいですね」と幸せいっぱい徳永さんご一家。

子日高百恵(南界) 十三区 高校一般男子 前田浩一郎(岩岡) 十四区 四〇歳以上男子 浦島茂(油久)

(敢闘賞)

星原 松園 幾則 納官 遠藤 秋範 増田 岩崎 哲也 野間上 大重 真児 野間下 蘭幸田 正勝 油久 浦辺 まち子 南界 徳永 良一 岩岡 永浜 郁恵

若いこだま増田浦に



朗読する宮脇直通君(3年生)、八千代ちゃん(1年生)兄弟、右は、長野朋貴君(6年生)

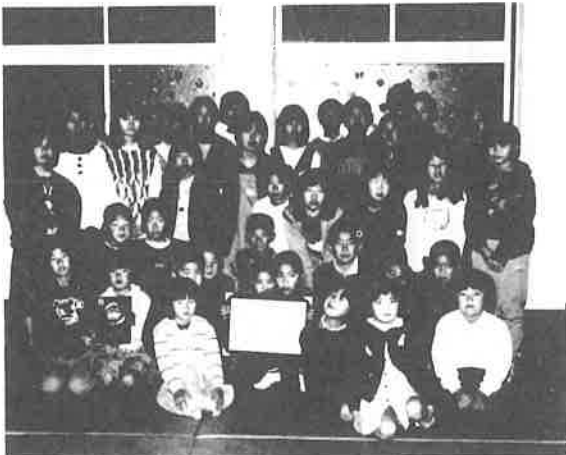
昭和六十三年度の朝読み夕読み優良団体に、中之町子ども会(長野勝喜会長)が選ばれ、熊毛教育事務所表彰を受けた。

中之町子ども会では、五十七年度に朝読み夕読み放送を始めて以来、六年間一日も休まず朗読放送を続けています。児童二十七人が、五、六年生をリーダーに三人一組の班をつくり、毎日朝晩の二回放送しています。朗読する題材は自由ですが、それぞれの学年に応じたものを元氣いっぱい読んでいます。五基あったスピーカーは故障のため、現在三基しか使えませ

んが、それでも子どもたちの声は部落内にくまなく響きます。特にお年寄りにはたいへん好評で、毎日、子どもたちの声が流れるのを楽しみにしています。育成会長の猪鹿野恵治さん(三十七歳)は「子どもたちが自主的に責任をもつてやることで定着している。マイクの操作にも慣れ、人前で話すこともためらわなくなった」と満足しています。

また、中之町の子ども達は、毎週日曜日は朝起き会も欠かせません。早朝、小学生は公民館に、中学生(十六人)は神社に集まり、清掃を中心に年間休みなく活動しています。

地域づくりに大いに貢献している、若い力を感じさせられました。



受賞を喜ぶ中之町の子どもたち。後例は中学のお兄さんお姉さん

犯罪や事故のない町を願って

全国防犯運動標語入賞

町内の小中高から次の方々が入賞しました。(敬称は省略)

▽小学校低学年
最優秀賞 とくながけんご (星原一年)
かきはゆくせ かけるくせ (星原二年)
優秀賞 榎本匠夫(星原二年)
遠藤涼平(星原二年)
▽小学校中学年
最優秀賞 川畑哲生(星原三年)
よい子になって みんなでつくろうよい町を
優秀賞 赤坂まり子(油久四年)
山口やよい(油久四年)
▽小学校高学年
最優秀賞 鮫島まゆみ(星原五年)
「これぐらい」
かるとい気持ちは、悪の道

優秀賞 永浜次則(岩岡五年)
日高ふじ子(南界六年)
▽中学校
最優秀賞 吉田純一(野間三年)
引引きを
しないさせない心がけ
優秀賞 長野智恵美(増田一年)
豊美輝(増田三年)
▽高等学校
最優秀賞 河野美樹(中高一年)
真心で 追放しよう非行の芽
優秀賞 岡本純(中高一年)
浜脇忠(中高一年)

ひびきを交えて語ろう

池之平で町政座談会



池之平部落(中村新之助会長 戸数三〇)で町政座談会が開かれました。この日の座談会は校区ではなく、池之平部落単独で開かれたもので、会場の公民館ではほとんど全戸から、文字通りひびきを交えて行政側との対話がなされました。

池之平の沿革を説明した後中村会長は「山あいの小さな部落で過疎に悩んできたが、現在では後継者も増えつつあり、心強く思っている。今回の座談会を機に、さらに今後の振興に反映していきたい」とあいさつ。

これに対し町長は「百姓、期待に添えないかもしれないが皆さんの声を町政に反映できるよう努力する」と行政側の姿勢を述べました。

質疑では、高地であるこの地区に適合した作物選定はどうすればよいかなどの農業問題や、町道、農道の整備計画について、また、将来の老人医療に関することなど住民が口頭地いている様々な意見が数多く出されました。これらの質問や要望に対し、各担当課長や町長が詳しく説明し、住民と行政との疎通をはかりました。

本好きな子どもになって



三浦さんから児童代表の3人にプレゼントされました。右端は久保田校長先生

このほど南日本新聞社から町内の小学校七校に、図書三百冊が贈られ、子どもたちに喜ばれました。

これは当社が開設二一〇周年を迎えるにあたり「読者に感謝の意を込め還元したい」と行つたもので県内全小学校に贈られます。

野間小でも「棕櫚十集」四十二冊が、新聞社を代表して三浦さん(横町)から児童代表に手渡されました。

児童らは「本が増えてとてもうれしい。早くみんなで読みたい」とお礼を述べ、三浦さんは「たくさん本を読んでほしい。ぜひ大人になってください」とこたえました。

久保田校長先生は「棕櫚の作品は、人間と動物の触れ合いを感動的に描いているので子どもたちに大きな感銘を与えるでしょう。これを機会に読書活動を盛り上げたい」と期待をかけていました。

地籍調査

64年度 美座・西之町 向町を計画

昭和58年度から行っている地籍調査事業は、現在まで十三回を終え、来年度は油久の美座、西之町、向町の調査を計画しています。



調査です。地籍調査によって作成された地籍図は、災害などで境界が不明になって復元することができ、住民の財産を守ります。また調査の結果により家の建築、営農、植林などの立案や、土木事業、土地改良事業にも役立てることが出来ます。

調査はこのように進められる

地籍調査とは
国土調査法にもとづき、土地の地番、地目、所有者を調べて土地の境界、面積の測量を行い地籍簿(図)にまとめ登記簿や字絵図を修正することです。

住民の財産を守り新しい町づくりの基礎

現在、登記所で使用されている字絵図は、明治の初めに作られたもので、見取り図で描かれており、高度成長した今日の社会には適合しない面があります。そのため、境界紛争や土地の売買に支障をきたしています。これらの欠陥を補うのが地籍

すのでぜひご協力ください。

○山林原野など雑木が茂っている境界線は、刈り払いをして見通しを良くしておいてください。

○売買や譲渡によりまだ名義変更をしていない土地は、できるだけ登記を済ませておきましょう。

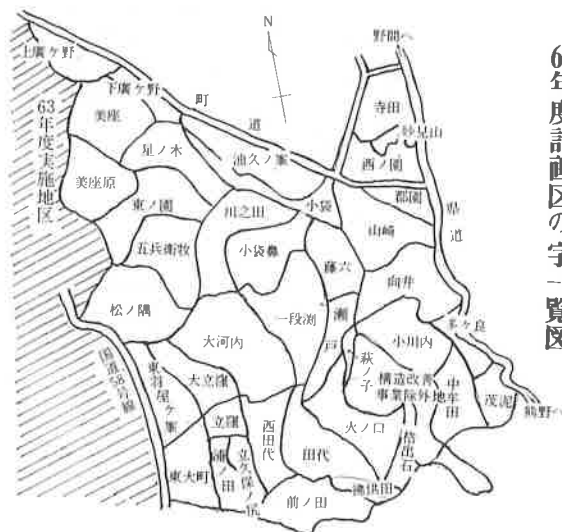
○抵当権など、抹消できるものは早目に済ませましょう。○どうしても隣接所有者と話し合いがつかず境界が決定できない場合は、筆界未定地として測量等を除外されます。地籍図は空白となり、調査後、自己負担で測量登記をしなければなりません。

土地所有者は、まず、自分の土地に「わたしの土地はここまです」ということを示すくい打っていただきます。隣りの土地所有者とよく話し合って正しく立て、調査に立ちってもらいます。このくいは測量のもとになり地籍図として重要なものですから、動かしたり抜いたりしないようおたがいに気をつけてください。なお調査を行う前に、次のことを済ませておくことで正確でスムーズな調査ができます。

測量が終わって、地籍図、地籍簿ができあがると20日間役場で閲覧されます。土地所有者は必ず目を通して自分の土地の形状にまちがいがいまいかどうか確かめてもらえばすくず申し出て改めてもらってください。

地籍図、地籍簿は閲覧後、国土庁長官、知事の認証を得て登記簿を修正し、地籍図は17条地籍図として登記所に備えつけられます。

これにより皆さんの土地は保護され、今後の境界紛争を防ぐことができます。調査計画区域の方々は、説明会などを聞いて詳しく説明いたします。この事業に対するご



64年度計画区の字一覧図

理解とご協力をお願いします。地籍調査について分からないことは遠慮なく役場企画課地籍調査係までお問い合わせください。☎7-1111(内線65番)

今年 は巳年

今年 は巳年、すなわち蛇年です。蛇は、十二支のなかの唯一の爬虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。蛇と聞いただけで、嫌悪感をもよおす人も

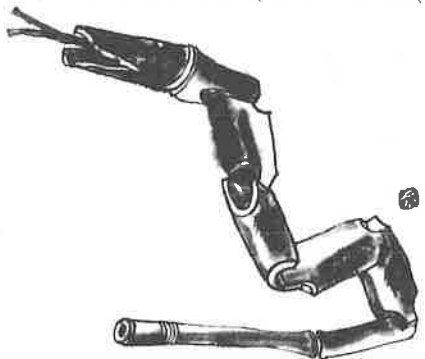
ひません。内臓も体に合わせて細く伸びているほか、腎臓など本来は左右にあるべきものが、前後に位置を占めておさまっているそうです。

と畏敬の対象でもありました。日本では、神のお使い、あるいは神そのものと思われていた様子が、古典や伝説、昔話に多くみられます。

例えは、池や沼の主を大蛇とみて雨ごいをする風習は全国的にあるといわれます。また、白い蛇を家の神とする信仰も各地にみられます。

JUNON、蛇は、生

きています。間すつと成長し続けます。発育にもなると、古い皮は三か月に一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しいのと取り換えられる——脱皮です。お正月を機に今年こそは新しい武みをと脱皮を心掛けておられる方、うまくいくといいですね。



今年 は巳年、すなわち蛇年です。蛇は、十二支のなかの唯一の爬虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。蛇と聞いただけで、嫌悪感をもよおす人もいるようですが、それは多分あのクロテスな姿のせいです。脚部の退化・消失してしまった細長いからだ、S字型をかくようにくねくねと動く様子は、蛇独特のもので、あの細長いからだで、内臓はどうなっているのだから……？ 心配には及

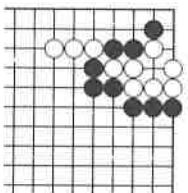
ガソリンスタンド

- | 休日営業 | |
|-------|------------|
| 1月8日 | 種子島石油 (旭町) |
| 1月15日 | 中種子石油 (旭町) |
| 1月22日 | 種子島石油 (栄町) |
| 1月29日 | 種子島石油 (田島) |

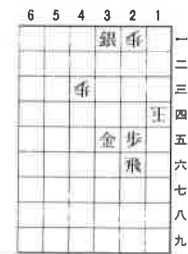
日曜在宅医

- | | |
|-------|---------------------|
| 1月8日 | 柏医院 (中種子町 ☎7-0033) |
| 1月15日 | 森越医院 (南種子町 ☎6-0212) |
| 1月22日 | 高岡医院 (中種子町 ☎7-3100) |
| 1月29日 | 鎌田医院 (中種子町 ☎7-0325) |

有段を目指して

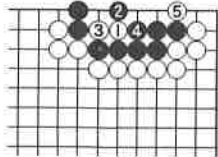


出題 本因坊 武宮正樹
●ヒント・7手まで
うにすまの筋を、難問、5分で初段、3分で三段。



出題 八段 北村昌男
●ヒント①4筋5筋と玉を追っては詰みません。7分で2級、4分で初級。持駒 香香

(先月号の回答)



<詰碁正解>
白1のツケは良く出る手筋だが、次の白3のキリがこの際の手筋で以下5まで。

<詰碁解答> 4.角、2.玉、3.一角成、3.三玉、2.五桂、同香、4.三竜、同玉、4.三馬まで9手詰め。

<解説> 後半の桂捨てと竜捨てが鮮やかなキメ手です。2.四玉と逃げれば1.三馬の詰みがあります。なお4.手目3.三玉のところ1.玉なら1.五竜まで。

人口のうごき

総人口…11,258人 (-10)
 男 ……5,350人 (-4)
 女 ……5,908人 (-6)
 世帯数…4,157戸 (+3)
 出生…5人 死亡…14人
 転入…17人 転出…18人
 ()は先月との比較

1月1日現在

11月19日・12月18日受け付け

おめでた



氏名 保護者 住所
 村尾 知治 弘行・祥子 旭町
 田畑 智秋 利喜男・美智子 原尾
 日高 大地 充広・さとみ 伏之前
 美原 大地 廣幸・和代 本村
 向井 友志 一生・マミ 塩屋
 西川 竜二 真雄・友子 伏之前

いつまでもお幸せに



氏名 住所
 里 宏司 東京都
 笹川喜美子 平編
 河瀬 清彦 田島
 大山恵利子 沖繩県

おきやみ

申し上げます

故人	年齢	住所
照沢英津代	19歳	横町
渡邊 貴	80歳	栄町
眞榮平善吉	55歳	広ヶ野
久保田ウメ	87歳	中山
熊野 佑紀	0歳	旭町
塩浦 均	61歳	梶町
下村 稔	70歳	伏之前
浦元 武雄	72歳	古房
塩屋 ハル	84歳	中之町
田崎 フミ	84歳	満足山
光 ユキ	88歳	春田
三原 國雄	55歳	二十番
八沙 喜信	80歳	満足山
大村 ハル	90歳	伏之前
村田 玄一	81歳	原尾
川下 ユキ	80歳	原尾
河口 ミチ	63歳	旭町

社協だより

次の方々が町社会福祉協議会へ、金一封を寄付されました。これらの善意に感謝するとともに、つつしんで故人のごめい福

後記

今年も新年号の表紙に、年男、年女が登場ねがいます。町内全域からと選りだすが、不在だったりでなかなかでした。ともあれ巳年生まれ百十七人のさわやかな新年の顔がそろい、ご協力に感謝しています。▼十二歳からの顔。写真を配置しながら、「くく」「人生たな」と思っています。



めでた節

種子島古来の祝賀歌の秀作は「めでた節」であろう。めでた節がいつころから歌われたかははっきりしないが、石堂静也氏は「大踊りの伝承などから考えて江戸中期以降と推定される」と言う。野外で勇壮に踊られる大踊りに対して、めでた節は、室内で一座の者すべてが正座して、なわをなう格好で手拍子をとりながら、歌上げの人につけて、朗々と喜びに満ち満ちた歌い方である。

歌詞は、集落により多少の違いはあるが、大体は共通している。

1. めでた節
 むめでためでたの若松さまよ
 枝もさかえる葉もしげる
 ○なおもめでたの思うことかのうて
 末はつけくよ末までどどけ
 ○どどけくよ末までどどけ
 末ははじめも花のように

2. うれしめでた
 (めでた節と同じ詞)

3. ゆくいとし
 むめでためでたの若松さま
 枝もさかえる葉もしげる
 ○どどけくよ末までどどけ
 末ははじめも花のように

野間より北の方
 はうれしめでたを
 歌っているが、南
 はめでた節である。
 また歌い方は、増
 田は校区一円ままと
 まり、納言・星原
 は大体にかよって
 いる。他は、集落
 ごとに違いがある
 ようである。ゆく
 いとは、正月七
 日の福祭の晩に必ず歌った
 というところから「行く年をい
 としみな新しい年をこほぐ歌」として歌われたのではなから
 うか。

最近結婚披露宴等でめでた
 節は定番してきたが、私語談
 笑の中で脛身を狭くしている
 姿も見かける。歌い継がれて
 きたこの祝賀歌を全員静粛の
 中で歌い上げたいものである。

つまべに詠草

黄緑の銀杏の葉に緑を織るボインセチヤヤ
 枝延ばしきて 上方 石堂 ミヨ
 夫の病秘めて出てゆく歌会に口紅意識しやや
 強くひく 島田 曾木 和子
 素桂れゆく庭を彩る山茶花に不意の野分が花
 をいたぶる 満足山 日高タエ
 石踏の花びらなべて反り咲けり絶えて久しき
 而降りたれば 伏之前 竹野 昭
 部屋すみからだ丸めてうづくまる寒き朝の
 あし長きくも 旭町 中間 綾子
 夕暮れの冷たき風ふるへ咲く夕顔白き娘の
 家に病む 中山 日高百々代

下りたる価格も云はてキビを切る日々
 ースは政治家の汚職 牧川 松下みつえ
 何時しらに大木となりしばんじろう手折るに
 届かず落つる腐れ実 栄町 西田 睦枝
 朝まだき父の墓参の道すがら店遠き母に豆腐
 買ひゆく 上方 向田 正子
 産土の池の澄みたる水の面を這ひつ連はれつ
 鯉は色どる 中山 石堂 スミ
 何思ひ親光客の雑踏を見つめて立つやひめゆ
 りの像 大久保 野口フサ子
 一夜さを叔母と語りていとまを小朝を月の白
 く残れり 満足山 横山美津絵

今回は、巳年生まれでは町
 内最高齢の九十六歳、徳永ミ
 ヤさんを訪ねました。ミヤば
 あさんは娘のチエさんと二人
 で暮らしています。西風の吹
 く寒い日、親子二人で火鉢に
 あたっていました。ミヤばあ
 さんは高齢のため耳が不自由
 で、チエさんに答えてもらい
 ました。


「ばあさんは町内で四番目
 に長生きの方とは思えないほ
 ど元気なようですね。」
 「元気と言ってるんでしょうね、
 便所にもひとりで行けるし、
 ぬくい日は外に出ることもあ
 りますから。」

「ごはんはよく食べますか。」
 「もう四十五年になりますね。
 (チエさんと話しているうち、
 ミヤばあさんが話し出しました)
 い」と言って、昔から大食いし
 なかったのがよかったですよ
 じゃ物言いうばって、人の言う
 ことアわからん。」

「とても元気よく話しました」
 「ところでチエさんも大正六
 年生まれの巳年ですね。」
 「そうですね。死んだ父もそ
 うね。」

「だんなさんはいつ亡くなりましたの
 ですか。」
 「戦争中に。生きていればとも
 九十六歳だったんですがね。」

訪問記
 徳永ミヤさん親子
 浜津 藤
 No.16



うだったし、巳年一家ですね。
 「ばあさんの好きな花は何で
 すか。」
 「母も私も菊が好きです。
 一静かできわやかな花ですね。
 合わせて百六十八歳の長生き
 親子の増々のご健康をお祈りし
 ます。」



水辺の生きものシリーズ ⑩

ツガニ (もくずがに)

- (1月の主な行事)(中公……中央公民館)
- 5日 成人式 (午後1時から中公で)
 - 6日 出初式 (午前10時から野間小で式典ほか)
 - 8日 はたちの献血キャンペーン (~2月8日)
 - 9日 始業式 10日 110番の日
 - 15日 成人の日・町武道大会 (午前9時から町立体育館ほか)
 - 17日 南界園デイサービスセンター落成 (午前10時から)
 - 22日 種子島地区武道大会 (西之表市で)
 - 26日 文化財防火デー・歴史民俗資料館防火訓練 (午前10時から)
 - 27日 ふるさとづくり講演会 (午後1時から中公で)



広報

NAKATANE KAGOSHIMA



なかたね

平成元年2月5日発行

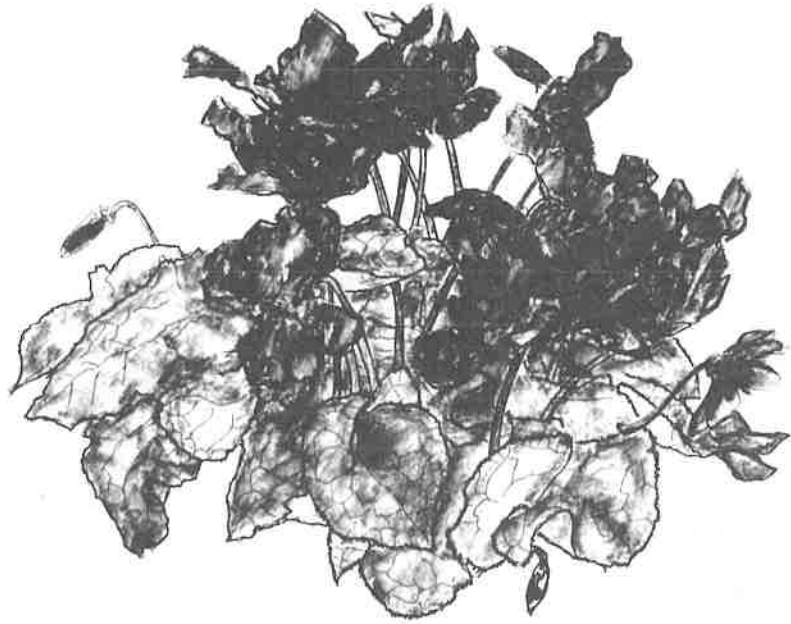
No.399

元年2月号

発行 鹿児島県中種子町役場

編集 企画課広報係

☎ ①-1111(内線59)



霜の朝、母と手をつないで歩いた幼い日
 薄氷を踏みくだしながら聞いた。
 「何故、川の水は凍らないの」
 「自分の力で流れているから……生きて
 いるからよ。花だってがんばって咲いて
 いるからさ、いでしょう」
 母の答えに素直にうなづいていた。

大きな花も小さな花も 咲くという生命
 の表現に結ををかけているように思える。
 白い花も赤い花も自分の色を鮮やかに咲
 かせたいと願っているように思える。

つつましく揺れるのもいい。
 はなやかに揺れるのもいい。
 そのどれもが生命を咲かせている。
 自分らしくしっかりと咲きたいと……。
 自分の色で咲きたいと……。

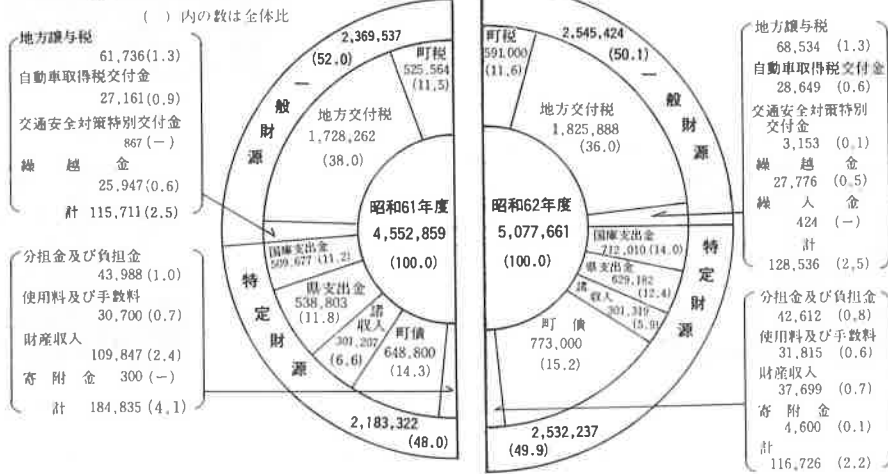
霜の朝、母と歩いた小道には澄んだ小川
 があった。野草の小花が朝陽に輝いてい
 た。

みづからの光のごき明るさを
 ささげて咲けりくれないの薔薇

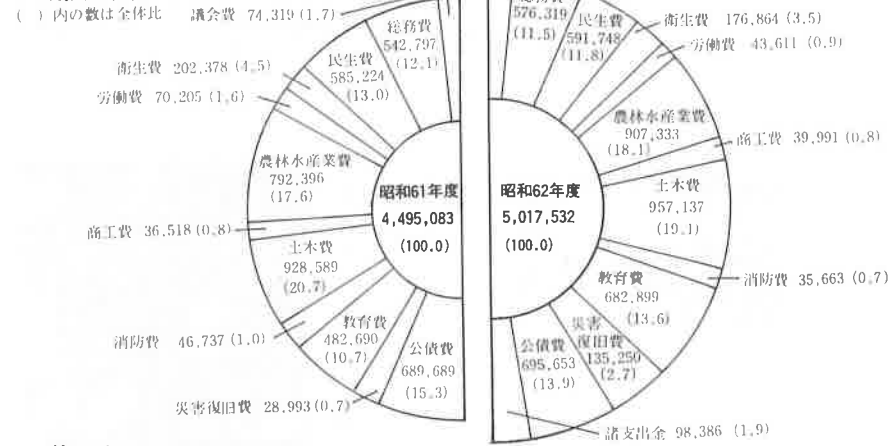
佐太郎



歳入決算額の状況 (単位:千円)



歳入決算額の状況 (目的別) (単位:千円)



特別会計 (単位:千円)

区分	【歳入】				【歳出】			
	予算現額	調定額	収入済額	伸率	予算現額	支出済額	不用額	伸率
国民健康保険	752,015	819,197	745,437	△0.2	752,015	720,527	31,488	△1.5
簡易水道	27,275	27,283	27,283	7.0	27,275	27,085	190	7.4
と畜場	8,671	8,764	8,764	8.4	8,671	7,451	1,220	1.7
老人保健医療	398,886	398,880	398,880	1.5	398,886	398,511	375	2.5
計	1,186,847	1,254,124	1,180,364	0.6	1,186,847	1,153,574	33,273	0.7

12月定例議会



昭和六十二年十二月定例議会が、十二月二十日から二十三日までの四日間開かれ、昭和六十二年決算認定や、六十二年歳入補正予算など議案二十三が上程され、審議の結果全議案が原案どおり可決されました。また、付託された陳情五件は、四件が採択、一件は継続審査されることになりました。なお、前回付託され継続審査されていた「原料用甘しょ販売に伴う密掛け重畳改訂について」などの陳情二件は、いずれも不採択になりました。

一般質問は川下議員が行い「六十四年度平成元年度予算編成の基本姿勢」について町長の答弁を求めました。

補正予算 災害復旧費に二億円

歳出五十億円 昭和62年度一般会計決算

一般会計補正予算 歳入歳出予算の総額にそれぞれ二億一千九百二十六万二千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ五十六億三千六百九十八万八千円としました。

歳入の主なものは、
▽地方交付税増額一千万四千六百三十三円
▽国庫支出金一億五千七百一十九万四千円
▽県支出金一億七千五百三十六万二千円
▽町債の一億五千六百一十萬二千円など。

歳出の主なものは、
▽農業費(防災無線設備設置関係など)一億九千九百五十六万八千八百八十円など。

昭和六十二年一般会計の決算額は、歳入総額五十億七千五百六十六万二千円、歳出総額五十六億一千七百五十三万三千円、前年度に比べると、歳入で五億二千四百八十八万二千円(一一・五%)、歳出で五億二千二百四十四万九千円(一一・六%)それぞれ増加しています。

歳入決算額の構成比は、地方交付税が三六%で最も高く、次いで町債の一五・二%、国庫支出金一二・四%の順となっております。

歳出では、土木費が一九・一%、次いで農林水産業費一八・一%、公債費一三・九%、教育費一三・六%の順となっております。



災害復旧工事を終えた擁壁 一増田向井町一

昭和62年度一般会計決算

任期満了に伴い、町長委員及び補正委員の選挙が行われ、次の方々が選ばれました。
▽委員長 野辺正義(吉房) ▽委員 福元利夫(横町) 重田静

任期満了に伴い、町長委員及び補正委員の選挙が行われ、次の方々が選ばれました。
▽委員長 野辺正義(吉房) ▽委員 福元利夫(横町) 重田静

ふるさと中種子を忘れません

決意も新たに新成人



昭和六十四年新成人式が一月五日、中央公民館で行われました。今年の新成人者は、昨年を四十四人下回る二百三十一人。このうち男子六十四人、女子八十人の合わせて百四十四人が参加しました。

式辞の中、町長は「けさ、皆さ

祝いの言葉を述べました。在郷の新成人者二十七人を代表して中島孝徳さん(中田)は「幾度か挫折するかも知れないが、一生懸命がんばります」とこたえました。また、出郷者二百四十四人を代表して中村吉江さん(鹿兒島市 学生 松原出身)は「ふるさとが好きです。ふるさとが本当に良くなることを願います。私たちが大切な歯車になることを決意します」と抱負を述べました。



さあ、二十歳だ。がんばるぞ。



「ふるさとが大好きです」と述べる中村さん



美しく成長したはたちの乙女

最後に教育長は「今、己の力が試される時だ。青年の充実に心も体も充填(じゅうてん)してください。二十七人しか残らないのは悲しいが、やがては中種子に元気で帰って来てください」と励ましの言葉を贈りました。

このあと、なごやかに立食パーティーが開かれ、新成人者、来賓、町関係者がいっしょにテーブルを囲み、幼い思い出や、職場の話題に花を咲かせました。

武道で気力・体力づくり

町 武道大会



弓道

第19回町武道大会が、町立体育館を主会場に柔道、剣道、銃剣道、空手道、弓道の五種目に行われられました。

柔道、剣道、空手には小学生の参加も多く、会場には父兄など多数詰めかけさかんな声援を贈っていました。

各競技の成績は次のとおりです。(敬称は省きます)

柔道

▽スポーツ少年団体戦①双葉A②増田A③南界A ▽中学生の部①野間中B②野間中A ▽高校・一般の部①一般②高校 ▽個人戦小学一年①橋野五紀

木原教嗣(増田)中島英(増田)▽個人戦小学一年①園中良一



柔道

野間)②根康博(野間)③園中雄作(野間)遠藤百子(増田)▽個人戦小学一年①鎌田俊輔(野間)②梶屋拓助(野間)③久妻正輝(南界)大津祐幸(野間)▽個人戦小学五年①稲子良隆(南界)②長田豊(増田)③蓮子健太郎(増田)牧瀬和幸(増田)▽個人戦小学六年①梶省吾(野間)②川下剛(野間)③松元拓二(増田)遠藤淳一(増田)▽個人戦中学生①牧瀬純郎(野間)②八汐寿(野間)③日高憲史(野間)日高淳一(野間)

空手道

高学年①平田洋介(上方)②福英高(旭町)③遠藤龍一(伏之前)▽幼児①岩崎竜一(伏之前)②福武晃(旭町)③元川真一(伏之前)▽女子①野辺雅子(上方)②中島豊美子(塩屋)③山元香(新町)▽高校・一般男子①折戸太巳雄(島田)②堂満幸博(伏之前)③島節雄(熊野)



空手道

学4年以下女子①藤聡美(野間)②磯俣やよい(納宮)③林美香(野間)赤坂まり子(油久)▽小学五年女子①浜田やすか(星原)②石堂直美(野間)③林恵美(野間)鎌田由美子(野間)▽小学四年男子①池田健二(野間)②園中健治(納宮)③右堂弘昭(野間)▽小学五年男子①遠藤智史(納宮)②高橋圭(野間)③中村勝(油久)▽小学六年男子①上門隆宏(野間)②上門純二(野間)③藤毅博(野間)▽中学一年①藤岐豪政(野間)②猪鹿野廣洋(野間)③利川英樹(野間)猪鹿野善樹(増田)▽中学二年①春田直樹(野間)②野村達也(南界)③馬場貴信(増田)福留光広(野間)▽中学女子①遠藤初望(野間)②日高雅代(野間)③遠藤恵(野間)遠藤直美(野間)

弓道

▽団体戦①一般②高校A ▽個人戦一般①久木原英文(大平)②永浜健二(阿高磯)▽高校男子①春田伸也(旭町)②竹原博志(伏之前)▽高校女子①金城さゆり(深久保)②中川美和子(向町)▽分会長杯 浜脇和孝(下田)

銃剣道

▽個人戦①吉市薫(本村)②有馬秀則(西之山)③知念盛広(西之山)

空手道

▽団体戦①一般A②一般B▽個人戦少年男子低学年①徳永大樹(旭町)②小幡聡(竹屋野)③梶屋誠之(町山崎)▽少年男子



銃剣道



剣道



住民税の申告
— 決められた日に —

今年も所得税、住民税の申告の時期となりました。住民税の申告は、三月二日から税務課の職員がそれぞれ公民館などに出向いて次の日程表のとおり申告事務を行います。

地方税法により所得税か住民税のいずれかの申告をすることが義務づけられていますので、決められた日に必ず申告を済ませましよう。特に保育所、幼稚園の入園申込み、学校の授業料免除申請、住宅金融公庫の融資申込みなどについては所得証明、課税証明などの公的証明書が必要となります。住民税の申告をされない方には証明書が発行できませんので所得のある無し

住民税の申告日程

日	時間	部 落	場 所	日	時間	部 落	場 所
3/2 (木)	9:00~11:30	牧 川	公民館	3/15 (水)	9:00~10:30	大牟礼	公民館
	1:00~4:30	浜津	民センター		11:00~12:00	伊 原	*
	3:00~4:30	上之	公民館		1:00~1:30	下 田	*
3/3 (金)	9:00~10:00	野 川	竹之川		2:00~4:00	満足山	*
	10:30~11:30	中 砂	公民館		2:00~3:00	阿 保	児童センター
	9:00~10:00	深久保	部落	3/16 (木)	9:00~10:00	広ヶ野	公民館
	1:30~4:00	十番	公民館		10:30~11:30	東之町	*
3/6 (月)	9:00~11:00	原之里	*		11:00~11:30	女 州	*
	11:30~12:30	宝 来	*		1:00~2:00	西之町	*
	11:30~12:30	春 田	*		2:30~4:00	向 町	*
	1:30~3:00	平 鍋	*	3/17 (金)	9:00~10:30	美 原	*
3/7 (火)	9:00~10:30	池之平	*		11:00~12:00	西之山	*
	11:00~12:00	秋佐野	*		1:00~2:00	輪之尾	*
	1:00~2:00	戸 畑	部落		2:30~4:30	田 島	*
	2:30~4:30	向井町	公民館	3/20 (月)	9:00~11:00	本 村	児童館
3/8 (水)	9:00~11:00	中之町	*		10:00~11:00	東 目	公民館
	1:00~3:00	郡 原	*		1:00~3:00	今能	公民館
3/9 (木)	9:00~11:00	古 所	*		3:10~4:30	新 町	民センター
	1:00~3:30	中 山	*	3/22 (水)	9:00~11:00	庭 屋	*
3/10 (金)	9:00~11:00	大 平	*		1:00~3:30	中 田	*
	9:00~10:00	池之向	*	3/23 (木)	9:00~10:00	長 谷	*
	1:00~3:00	上 方	*		10:30~12:00	原 尾	*
3/13 (月)	9:00~11:00	伏之前	*		1:00~1:30	衣之平	*
	1:00~2:00	阿 曾	*		2:00~4:00	梶 湯	*
	1:00~3:00	町山崎	*	3/24 (金)	9:00~11:00	屋久津	*
	3:30~4:30	栄 町	*		1:00~3:00	阿高磯	*
3/14 (火)	9:00~11:00	竹屋野	*	3/27 (月)	9:00~3:00	横 町	防火センター
	1:00~3:00	島 田	*		*	旭 町	*
	3:30~4:00	高 峯	*		*	松 原	*

にかかわらず指定日に申告を済ませてください。ただし①青色申告者②所得税申告者③サラリーマン(給与以外の所得が二十万円以上ある人は申告の必要があります)は、住民税の申告をする必要はありません。詳しくは役場税務課におたずねください。申告の際、持参するものは①63年中(1月~12月)支払った医療費、生命保険の領収書②営業で確定申告、青色を申告されていらない方は収支計算書③印鑑④その他証明できるものなど。

確定申告の納税相談
2月27日
3月1日
昭和63年分の所得の確定申告は、2月16日から3月15日まで

受け付けられます。確定申告の納税相談は2月27日から3月1日までの3日間役場防災センターで行われます。どうぞご利用ください。詳しくは種子島税務署②0440におたずねください。

投票日は
2月19日

鹿児島県知事の任期満了に伴う知事選挙は次の日程で行われます。

棄権することなく誘い合せて投票し、新しい知事を選びましょう。

▽選挙の告示日 1月30日
▽選挙期日(投票日) 2月19日
投票時間は、午前7時から午後6時までです。なお、一部の地域では、繰り上げ投票や投票所の開閉時刻の繰り上げ、繰り下げが行われますので注意してください。

▽不在者投票
投票日に仕事などの都合で投票所へ行けない人は、あらかじめ不在者投票ができます。
1月30日から2月18日までの間、町選挙管理委員会で行ってください。
▽問い合わせ先 中種子町選挙管理委員会⑦ 1111内線 53

銃の保管は厳重に
残火薬の処理は速やかに

狩猟期間が2月15日で終わります。シーズンが過ぎると、銃の保管や火薬類の処理がおろそかになりがちで、出水市で猟銃3丁が盗まれる事件が起きたほか、全国的には猟銃を使った殺人事件も発生しております。
ハンター一人ひとりが次のことを確実に守り、事件、事故がないように注意しましょう。
▽銃の保管は厳重に
・基準に合った堅固な金属性ロッカーに保管する。
・銃と弾丸は別々に保管する。
・すぐ発射できないように分解して保管する。
・保管庫の施錠と鍵の保管状況を確認する。
・長期旅行や入院等で家を留守にする場合は、保管業者に保管を委託する。
▽残火薬の処理は速やかに
・できるだけ早く射撃場で標的射撃をして消費する。
・火薬類販売店に売却または保管の委託をする。
・弾丸は銃を保管してある場所とは別に、必ず鍵のかかる容器等に保管する。

障害者訓練生募集

技能を身につけ、将来をひらくために職業訓練を
○訓練科目 園芸、電子機器、服飾縫製、製版、印刷、義肢装具、経理事務
○定員 合計一〇〇人
○訓練期間 一か年
○募集期間 2月28日まで
○応募手続 手続きなど詳しくは役場町民課福祉係まで。

火の元に注意、火事・救急は一一九番へ

熊毛地区消防組合は昨年4月1日発足し、10月10日より消防業務を始めています。
昨年中の火災の発生は23件で、昨年より5件増えています。火災原因は、風呂の残り火の始末、たき火、コンロなどです。火のまわりに燃え易い物を置かないようにし、必ずもう一度火の元のチェックを励行しましょう。

ダイヤル通話料がさらに値下げ NTT

NTTでは、遠近格差の是正と離島における通話料金の改善を図るため、離島通話料金を遠距離通話料金の値下げを平成元年2月1日(休)午前0時より実施いたします。
一、通話料金値下げの内容
一、離島通話料金
鹿児島県内にある離島との通話は、今回の改善により、昼夜間とも3分間20円と大幅な値下げとなります。
二、遠距離通話料金
三二〇円を超える地域(北九州以西)への通話は、約一割の値下げになります。
三、近距離通話料金
県内の離島と鹿児島市、桜島町、吉田町、日置郡の一部への通話は、昼夜間3分間30円でしたが、今回昼夜間3分間20円とさらにお得になります。

土曜日の公金取扱い

銀行など金融機関は、2月か
ら毎週土曜日が休みになります。これに伴い県の公金の取扱いが変わります。県税や授業料などの納期が土曜日に当たるときは、金融機関の次の営業日まで納期を延長します。
また、役場収入役室では、町税など受入れについては平常通り取扱いますが、工事代金や物品購入代金など町費の支払いについてはできなくなります。
町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



善意ありがとうございます

昨年末、あつき学園のクリスマスに次の方々から金一封やプレゼントをいただきました。
・大洋鉱業開発(株)社長児玉忍さん
・県立中種子養護学校 徳永悟さん(伏之前)・九州電力(株)熊毛営業所青年婦人部
どうもありがとうございました。



ランニング・レポート

郷土のたこ作りに挑戦

ていねいに手ほどきを受ける児童。右は田代さん

中種子養護学校



県立中種子養護学校（松濱康則校長）で、たこ作り交流会が行われ、小学部の児童十二人が老人クラブのお年寄りから、作り方から上げ方まで熱心な手ほどきを受けました。

養護学校は、交流活動地域推進事業で文部省の指定を受け、これまでも福寿園、青年団、婦人会など数多く交流活動を行ってきました。

今回は、初めての老人クラブとの交流で、田代領市さん（中之町七四）ら七人のお年寄りからていねいにたこ作りの指導を受けました。田代さんらは、小刀など使い込んだ七つ道具を手に古き少年時代を思い起こしながら手本を示しました。児童らもおじいさんに負けじと懸命に取り組み、全員たこを完成させました。

この日はあいにくの雨で、外で飛ばすことはできませんでしたが、それでも子どもたちは教室を回り、自作のたこで食べをを試しました。最後に、児童を代表して永山信吾君（六年）が「ナイフの使い方を習ったり、おじいさんたちとたくさんお話しができたのでとてもうれしいでした」とお礼を述べました。

新事務所で

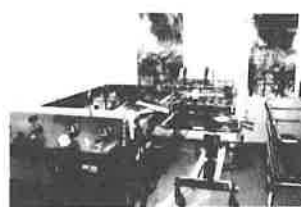
機能発揮



一月十七日、特別養護老人ホーム南界園（橋口春之助園長）

昭和六十二年四月に合併し、農協の仮事務所まで業務運営にあたっていた種子島農業共済組合（組合長 浜脇虎夫）の新事務所が、基幹家畜診療所を併設して昨年十二月末新築されました。町営島田グラウンド北側に建てられた組合は、鉄筋コンクリ

に、在宅老人のためのデイサービスセンターが落成しました。このセンターは、浴室（男、女、身障者用）、機能訓練室、食堂、娯楽室、介護者研修室などを備えています。建設費は一億一千三百五十万円で、この六割は日本小型自動車振興会の助成金で、残りは慈善会の寄付金で賄われました。



寝たまま入れる特殊浴槽

デイサービス事業は、中種子南種子両町の委託を受けて、社会福祉法人慈愛会が行うもので、おむね六十五歳の虚弱老人が対象になります。一日あたり利用定員は十五人以上二十五人以下ということで、一月一回から二回、入浴、食事、レクリエ



ランニング レポート



災害のない年を祈って 消防出初式

一月六日、新春恒例の消防出初式が、野間小グラウンドを中心に行われました。

式典に先立ち、旭町では、花火を合図に市パレードが行われ、消防車や救急車など十五台を先頭に、小園泰二団長以下団員百九十三人が笠々とは行進しました。

今年からは、昨年発足した消防組合分遣所も参加し、式典を盛り上げました。グラウンドに勢ぞろいした各分団は、消防長（町長）らの観閲を受けたあと、分列行進や規律訓練を披露。集まった観衆の拍手を受けました。また、各分団による小型ポンプや、中央分団の自動車ポンプの操作では、実戦さながらのキビキビした動きを実演しました。式典の最後を飾る放水演習は、鹿児島銀行前で行われ、筒先から勢よく吹き出す水のアーチに、沿道の歓声が上がりました。

この後、会場を中央公民館に移し、消防活動に功績のあつた団員らの表彰や、消防活動に対する感謝のことはが中村議長らから団員に贈られました。団員を代表して、小園団長は「地域住民の防災意識の高揚をはかりながら、決意を新たに臨みます」と抱負を述べました。表彰された方々は次のとおりです。（敬称は省きます）

▽消防庁長官表彰 永年勤続功労賞 橋野岩夫（元油久分団長）▽県知事表彰並びに県消防協会表彰 県功績章 一本村修（中央班長） 塩浦純夫（岩岡） 川節熊太郎（岩岡） 泉精輔章 大山修（油久分団長） 遠藤秋範（納官班長） 馬場森組（中央） 山口哲男（南界） 牧和良（岩岡） 動統章（20年） 一本村修 塩浦純夫 川節熊太郎 県知事10年勤続章 一浜山力（油久） 八汐甚吉（中央） 松崎義貞（中央） 渡辺則雄（中央） 松元一成（中央） 向井健二郎（中央） 日高敏郎（南界） 日高信次（南界） 永浜俊香（岩岡） 馬場貞雄（熊野） 日高昇（元熊野班長）



消防館前で繰り広げられた放水演習

▽熊毛支部表彰 功績章 一四元 銀男（中央班長） 池田義実（中央） 榎本裕二（中央） 羽生真一郎（油久副分団長） 平野勲（星原班長） 徳水正人（星原） 榎本初義（星原） 日高勉（星原） 大崎正徳（増田） 功芳章 大山修 猪鹿野恵治（増田副分団長） 松元清人（中央班長） 高橋保（中央班長） 感謝状 橋野岩夫 町長表彰 動統章（30年） 邊牟木正郎（中央副分団長） 永浜隆嘉（岩岡副分団長） 八汐均（岩岡班長） 動統章（25年） 四元一記（南界副分団長） 古市春夫（南界部長） 宮内武徳（南界） 指宿一九三五（中央部長） 本鍋田幸男（中央部長） 春田尚久（納官） 動統章（20年） 倉内正昭（星原分団長） 寺田富雄（中央班長） 中村道信（中央） 笹川二夫（納官副分団長） 春田正徳（納官） 馬場盛廣（増田分団長）



新事務所が、基幹家畜診療所を併設して昨年十二月末新築されました。

つまべに詠草

類り揺るる竹の秀に啼くほほ白がふいと去り
たる振れのむなしき 牧川 有留よし子

救急車響も才真夜に眼の冴えて病み夫窺ふ己
れが哀し 牧川 松下 シズ

水辺の生きものシリーズ



ヒサノイオ (イシダイ)

(2月の主な行事) (中公は中央公民館)

- 1日 省エネルギー月間 (~28日)
・成人病予防週間 (~7日)
5日 納官剣道スポーツ少年団結成20周年大会
7日 北方領土の日
・子牛セリ市 (~8日)
11日 建国記念日・第36回県下一周駅伝競走大会 (~15日)
16日 確定申告 (~3月15日)
17日 熊毛地区植樹祭 (西京ダムで)
18日 青少年育成の日
19日 スポーツ少年団交歓サッカー大会 (午前9時から町営グラウンドで)
21日 町産業振興協議会総会 (午前9時から中公で)
23日 第31回種子島地区社会教育大会 (午前10時から中公で)
24日 大喪の礼
28日 春の全国火災予防運動 (~3月13日)

今回は、県内でも屈指の大規模なたばこ作経営に取り組み、自らも地区たばこ婦人団長として活躍されている岩田シツ子さんを訪ねました。
「厳しい言われたいは(作ですが、今年はおりに増反されるようですね。
▽昨年より六〇%増やし、四十七粒にしました。
― 手間の多いたばこ作りではたいへんじゃないですか。
▽四粒も五粒も手間は変わらずなと思いますよ。私たちの場合、親子三人でやっています。
― できるだけ労力をかけないやり方ですかね。反収

あとはすべて三人ですね。その分機械のお世話になっているんですが。
― 広い土地を生かした経営ですね。
▽芽がきに何人が雇うくらいで

▽手間暇かけるより、能率の上がる努力経営を心がけています。
― そうですね。
― 三〇年近くやっていますが、体にもこたえないし、たばこ作りをやってきて本当に良かったと思います。
― 「白い花なら何でも好き」と



岩田シツ子さん 51

共闘書話ハウス前で
答えるシツ子さんは、夜は踊りの指導にも余念がありません。夫の實さん(53歳)と長男の政俊さん(29歳)の思の合ったチームで今年も書作を。



岩田シツ子さん 51

長生きしてよかつた 原口さん親子 44年ぶりの再会



空港に到着した一行。右から二人は弟の和秀さん。

昭和六十三年夏の訪日調査で、元教育長の原口楠雄さん(横町八〇)の二女と確認された中国残留孤児原口武子さん(四六)が一月十七日父楠雄さん、姉花田美智子さん(五〇)、弟和秀さん(四五)に付き添われ、長男超又杰さん(二二)といっしょに祖先の地中種子を初めて訪れました。

武子さんは「私が日本人だと知ったのは十歳の頃です。私が引き取られたころはとてもいい家で、養父母から大切に育てられました。私が日本で親を捜そうと思いついたのは、養父母が亡くなり、そして三年程前主人が亡くなってからでした。と声が届かせてくれました。
師の美智子さんは一妹をこんなにかわいがり、息子も大学まで出させてもらった養父母に、一目会ってお礼を言いたかった。



町長室で当時のようすを語る楠雄さん(中央)。右は武子さん。左は長男の超又杰さん。

空港では松下町長らの歓迎を受け、花束が贈られました。一行はこの後役場に向かい、玄関に並んだ職員から拍手の歓迎を受けました。
町長室では「長生きされてよかつたですね」と町長が楠雄さんをおねがひ「私も何度か大きな病気をしましたが、本当に今日まで生きてよかつたと思います。会えないと思っていた娘にも会えて、こんなに嬉しいことはないです」と目をうるませて答えています。
武子さんは「私が日本人だと知ったのは十歳の頃です。私が引き取られたころはとてもいい家で、養父母から大切に育てられました。私が日本で親を捜そうと思いついたのは、養父母が亡くなり、そして三年程前主人が亡くなってからでした。と声が届かせてくれました。
師の美智子さんは一妹をこんなにかわいがり、息子も大学まで出させてもらった養父母に、一目会ってお礼を言いたかった。

と残念さを隠せない様子でした。長男の超又杰さんは、もっか中国で医者を目指して勉強中。十六歳になる三男は、将来日本に留学させたいそうです。楠雄さんは「二男、三男も、一度種子島に来てほしいですね。武子や美智子たちもだが、これからは息子たちが交流を深めていくでしょう」と孫たちの将来を楽しみにしていました。
武子さん親子は二月一日に日本を離れました。短い滞在でしたが、今後は家族の交流も多くなることでしょう。

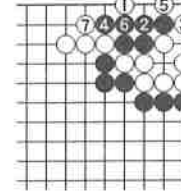
ガソリンスタンド

- 休日営業
2月5日 農協給油所 (伏之内)
2月12日 丸正石油 (浜津脇)
2月19日 まるい石油 (旭町)
2月26日 種子島石油 (旭町)
3月5日 中種子石油 (旭町)

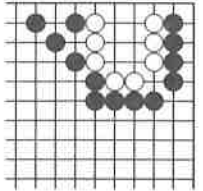
日曜在宅医

- 南種子町診療所 (南種子町 ☎ 6-1230)
2月12日 恒吉医院 (中種子町 ☎ 7-0047)
2月19日 柏医院 (中種子町 ☎ 7-0033)
2月26日 森越医院 (南種子町 ☎ 6-0212)
3月5日 高岡医院 (中種子町 ☎ 7-3100)

(先月号の回答)



【有段を目指して】



出題 本因坊 武宮正樹
●ヒント: 死はハネにあり。
5分で1級、3分の有段者。
出題 八段 北村昌男
●ヒント: 身動きできぬ玉すが、巧い捨駒が必要。
8分で1級、5分で初級。
<読者正解>
自1にオクのが手筋で、以下7まで無条件で取れる。
<読者誤解案> 1六飛、2三玉、1三飛成、3二玉、3三竜、同玉、3四香、2三玉、2四金、1二五、1三香まで11手詰め。
<解説> 飛車を縦横に大活躍させる楽しさを味わう作品。5手目3三竜がことごとく快です。この手で3四香と打っては左方へ玉がどンドン逃げてゆきます。

広報

NAKATANE KAGOSHIMA

なかつたね

平成元年3月5日発行

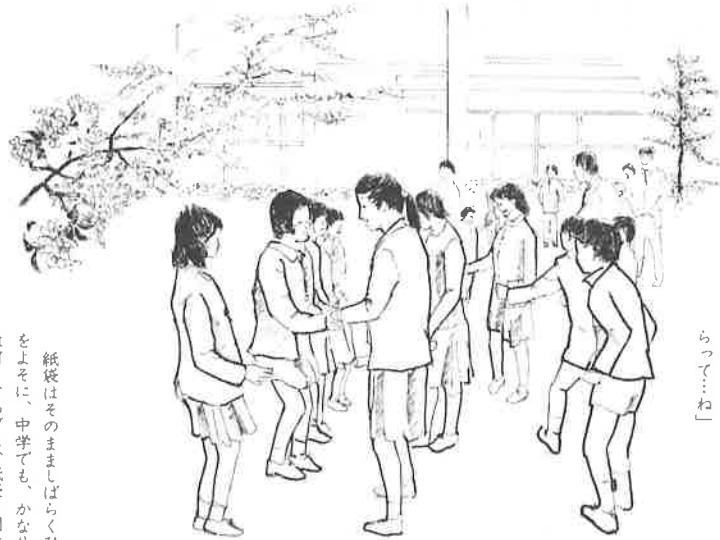
No.400

元年3月号

発行 鹿児島県中種子町役場

編集 企画課広報係

☎ ①-1111(内線59)



二十数年前の小学校の卒業式の前日、養護の先生から、小さな紙袋を渡された。
「あなたのお母さんから預ってたの。もし学校で始まった
「あ、うん、……」

その二カ月位前から女の子たちが、「始まった？」と何回か聞くのである。「何が？」と答えると、「あつまんだんだね」とそれ以上は言わない。
何のことか判らなかつた。今の様に、保健教育としての説明をする時代ではなかつた。母も話したことはなかつた。だが、身体の大きな娘への用心として、養護の先生(そつと預けておいたのだ。
女の子たちが、小声で騒いでいたのはこのことだったのか……。保健室独特の静かなにおいの中で、とてもさわやかなものを感じていた。母の想いがあった。
卒業式の前日、何かしらそれまでと違つたものが見えてくるような気がした。違わなければいけないと感じていた。教室のざわめきに座っていると、一人ひとりの声や動きが止つた画像のようにおだやかに伝わってきた。小柄の担任の声は柔らかな低音だった。
「最後の写真だ」そう言つて撮り続けていた。
後日、送られてきた白黒の画面には、泣き笑いがぎざりつまつていた。みんな、いい表情だった。一人ひとりがまぶしく見えた。

紙袋はそのまましばらくひき出しの中だった。母の心配をよそに、中学でも、かなり遅い方だった。その朝、母には何も言わずに、紙袋を開けた。言わなくてもわかることだったし、何よりも気恥しかったのかも知れない。
「もし娘が生まれたら、母のように保健室に預けてあげよう」と考えた。母がしてくれたように……。
だが、どうやらその機会は、なきそつである……。

人口のうごき
総人口…11,272人(+14)
男 … 5,362人(+12)
女 … 5,910人(+2)
世帯数…4,149戸(-8)
出生…12人 死亡…8人
転入…26人 転出…16人
()は先月との比較
—2月1日現在—

12月19日～1月18日受け付け

おめでた

こんには 赤ちゃん



氏名	保護者	住所
南 未希子	光広・三代	田島
林 美奈子	幸司・ミチナ	松原
日高 芳乃	正・美子	旭町
小牧江 梨香	健二・利江子	東目
鮫島 真也	滄人・礼子	横町
中村 雪乃	浩一・百世	伏之前
日高 梨紗	一行・ひとみ	満足山
日高乃 梨子	秀太郎・陽子	西之町
木場 浩美	池一・純代	原之里
重久 梨乃	文仁・芳	伏之前
河野 友樹	宏・孝子	上方

故人	年齢	住所
上浦健二郎	77歳	中田
前平 アキ	94歳	伊原
向井 軍吉	83歳	浜津脇
遠藤ナツミ	81歳	中之町
壽 健次	74歳	二十番

社協だより

次の方々が町社会福祉協議会へ、金一封を寄付されました。これらの善意に感謝するとともに、つつしんで故人のごめい福をお祈りします。

氏名	故人	住所
上浦ナミ	健二郎	中田
徳永知美	アキ	田島
前平武雄	ナツミ	伊原
遠藤義規	アキ	中之町
向井昭一	軍吉	浜津脇
山下時哉	健二	伏之前

おこやみ

申し上げます

宮崎 美弘 熊本市
下田 洋子 下田
関 寿美 兵庫県
竹野 裕美 竹之川
牧瀬 保二 中田
柳田 市子 南種子

本紙一月号、町内駅伝競走大会で、増田の江口直盛さん、望美さん親子とあつたのは兄弟の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

養護学校で行われたたこ作り交流会。あるお年寄りが職員に「握りのこはんを要求した。子ども達をはじめ一同「どうするんだろうか」という表情だったが、「こはんは丹念に練られ、手づくりののりに早変わりした。忘れられていたなつかしい手ざわりである。必要な材料を買いそろえるの現代と違い、身の回りの素材をつまぐ利用し、一から作りあげる喜びはまた格別なものである。デザートで高価なラジコンカーをせがまれる親御さん、手にする前に今一度考えたいものです。」



宝島のこと

本紙十二月号の「種子島とかかわり?謎の絵」に対して、方々から意見が寄せられた。その中で、「これは種子島でなく、宝島での実話で、現立図書館にはその記録が残っている」とのこと。十島村役場に問いあわせてみると同様の内容が返ってきた。
文政七年(一八二四)秋、七〇人の船員の乗りこんだイギリスの捕鯨船が、宝島に寄航した。彼等の目的は、島に放牧している牛の入手にあった。言葉は通じないなかにも身ぶり手ぶりで、その目的はわかつたが、島民は牛を手放すことには応じがたく、甘藷や野菜を与えて帰した。ところが、彼等は三度目の上陸の際、本船から大砲の援護射撃の下に、牛を捕まえ、また射殺してボートに積みこむという海賊ながら傍若無人の限りを尽した。島民は岩かげにおのいていたが、ひとり吉村貞翁は、至近距離まで敵を引きつけて鳥銃で首魁を倒したので、彼等は驚いて本船へ逃げ帰った。
このことが鹿児島へ報告され警備隊が派遣された。直ちに警備隊が派遣され警戒を厳重にしたが、異船は再び現れなかった。
藩はまた、長崎及び江戸に報告し、異人の死体は塩づけにして長崎奉行所に送り届けた。
吉村翁の勇氣により、島は海賊の蹂躞を免れたのである。(県史による)



当時のイギリスの帆船

特集

広報 なかたね



昭和49年1月から57年5月までの題字

昭和46年4月から48年12月までの題字

広報担当者は、町の行政や地域の住民活動の中でどのような動きがあるのか、アンテナを多くもち的確にとらえる必要があります。また、ニュース記事だけでなく企画記事もどしどし取り入れ、内容的にふくらみをもたせるよう心がけています。

これからも行政情報を送りながら住民の声を十分反映させ、バランスのとれた紙面を編集したいと思います。今後もご理解ご協力をよろしくお願いたします。

広報紙は、こうした行政と住民を結びつけるパイプ役のひとつであり、広報紙に盛り込まれる内容も行政サイドのものだけでなく、住民が知りたい事項も多く取り上げるようにしています。

広報紙は、予防接種や納税期間などのお知らせ、体育大会などの行事紹介、新しい施設の利用方法など日常的な行政の中から材料を拾い、住民に役立つような記事を仕立てることが

「親しまれる広報紙」読まれる広報紙”を作るにはどうしたらよいか。昭和27年の創刊号から今日までの広報紙を読み返す時、時の編集者の苦闘ぶりを感じ出されます。

「愛読ありがとうございます」



昭和59年6月から60年2月までの題字

昭和57年6月から59年5月までの題字



昭和62年8月から10月までの題字

昭和60年3月から62年7月までの題字

400号



▲ 和年33年11月から40年8月までの題字

創刊号 昭和27年2月 から33年10月までの題字



広報紙づくりに思う

広報「なかたね」が、この三月号で通巻四百号を迎えます。

昭和27年2月に「なかたね町新報」として創刊されて以来町政の歩み、住民の動きなど37年間載せてきました。

第四百号を発刊するにあたり、初代日高伸善氏をはじめ、これまでの八人の編集者を代表して町民の皆さんのご協力とご愛読に感謝申し上げます。



▲昭和40年9月から42年1月までの題字

昭和42年2月 から46年3月までの題字



出郷者には『ふるさと便』

本紙昭和63年9月号でも一部紹介しましたが、全国各地で活躍されている出郷者の皆さんから心暖まるお便りが届いています。

福岡県福岡市 中村香さん

(昭和63年 9月)

南日本新聞記事を感謝して読ませていただきました。ありがとうございました。大きく載ってほんとうに良かったです。近くママさんコーラスで歌っていただけたらいい機会が訪れて心から喜んでいきます。

(昨年6月号の表紙の時に採譜された方です。「あじさい」は11月の文化祭で、コールなかつたねの皆さんにより歌われました)

静岡県静岡市 浜田伸朗さん

(昭和63年10月)

小学生、故郷を離れて20年になります。先日帰省した折に中種子の広報紙を読んで「大変いいな」と思いました。すみませんが私もこのなつかしい広報紙をかたねをお送りくださいませんか。ぜひお願いします。私は浜津出身の者です。では中種子町の発展を心から祈りながら、私もこちらで仕事に励みます。

こちらは日照時間の不足で稲の中味が心配されているようです。まだすっかり色づいておりません。種子島の収穫はどうでしたでしょうか。町民の皆様の一層のご発展をお祈りいたします。

宮崎県高崎市 日高省三郎さん

(平成元年 1月)

毎月町広報紙をお送りくださりありがとうございます。ふるさととの情報入手の手段としていつも感謝の気持ちで読ませていただいています。今後ともよろしくお祈り申し上げます。

福岡県福岡市 鎌田末弘さん

情の「なかつたね紙」ほんとうに有難ふ。ふるさととは遠きに在りて想ふもの。一日たりとも忘れた事はありません。青雲の出郷も或る時は大成し、或る時は一敗血にまみれるなど一進一退の人生航路の今日です。なつかしきふるさとの事、「なかつたね紙」にて手に取る如くで、沈める心ゆるめる心をふるひ起こさせ、大いなる活を入れてくれます。

毎年元旦の朝には贈り来し一年分を神前に上げ、涙を流しながら

が「感謝」「追憶」「反省」をしております。喜寿を目前にしてはいますが、もう一度旗揚げなして吾が中種子町の為、貧者の一灯を捧げんものと頑張ります。町の皆様の発展をお祈りします。

四百号を迎えるにあたり特集を組みました。

平成二年は町制50周年の年で、そして、21世紀まであと10年あり、社会情勢は目まぐるしく変化し「情報化社会」はニューメディアの続々の登場とともに加速的に広がっています。このようなか中、「コミュニティ」や住民意識の変化に対応するためにも新しい行政広報のあり方が重要になるでしょう。行政主体の情報の一方通行でなく、読者(地域住民)の知りたいと思ふ情報への積極的な誘導が必要になります。

住民と行政の意思伝達をはかるため、今後も積極的に取り組んでいきます。ご意見、ご要望がありましたらお寄せください。

広報紙は住民全体のもです。

臨時福祉特別 給付金が支給

このほど高齢福祉年金や特別障害者手当の受給者の生活の安定と福祉の向上、及び低所得の在宅たきり老人などの在宅介護の支援に資するため、臨時福祉特別給付金(一時金)が支給されることになりました。具体的な支給対象者や支給の方法など詳しくは役場町民課におたずねください。

シンナー等の乱用をなくそう

3月11日から4月10日までは、「シンナー」接着剤等乱用防止強調月間」です。青少年のシンナー等の乱用を防止するため、その危険性、有害性について家庭・学校・地域等で正しく教えるなど、みんながそれぞれの立場で乱用防止に取り組みましょう。

しめ切り間近か
ふるさとづくり
アイデア募集
三月末日までに



新しい税制

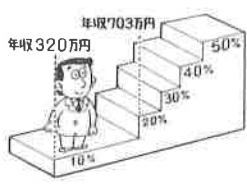
ここがポイント

昭和二十五年、税制の基本ができて以来、初めての大きな税制改革がこのたび実施されることになりました。そのなかで、わたしたちの生活にかかわりの深い主な改革点には、次のようものがああります。

◆所得税・住民税◆

税率構造が簡素に

所得税の減税と税率の段階の簡素化は世界的な流れです。新しい税制では、所得税の税率を下げ、税率のきざみを簡素化し、働く人の負担感、不公平感が取り除かれるように考えられています。



特に、最低税率の適用範囲が年収七百三万円までと、大幅に拡大されたことにより、約九〇%のサラリーマンが、この中に含まれることになりました。また、個人住民税についても、税率のきざみがこれまでの五、

十六%の七段階から、五〜一五%の三段階へと簡素化されました。

人的控除が大幅引き上げ

中・低所得者の所得税の負担をさらに軽減するために、基礎的・人的控除が引き上げられました。

主な内容としては基礎控除、配偶者控除、扶養控除がそれぞれ、これまでの三十三万円から三十五万円に、配偶者特別控除が十六万五千円から三十五万円に引き上げられました。また、

教育費がかかる十六歳から二十歳までの扶養親族について、十万円の扶養控除の割増制度が新設されました。

さらに七十歳以上の、いわゆる寝たきり老人などにかかる扶養控除額などが引き上げられました。たとえば、七十歳以上の寝たきりの親と同居する場合、所得税の控除額は、これまでの八十万円から百二十万円と、大幅にアップします。

これらの所得税・個人住民税の税率引き下げ、各種控除額の引き上げにより、年収八百万円以下で夫婦と子供二人という標準的な世帯では、二〇%以上の大幅減税となりました。消費支出の増加を差し引いても、ほとんどのサラリーマン世帯の負担は軽減されます。

◆消費税◆

広く薄く負担を求める

消費税は、限られたものだけに課税してきたこれまでの間接税と異なり、ほとんどすべての物品やサービスの売り上げを対象とした税金で、税率は三%です。消費税は、消費に広く薄く負担



野鳥を飼う時は 許可とリングを

野鳥を飼うには、一羽ごとに町長の鳥獣飼養許可証の交付が必要で、4月から、この許可の対象となるすべての鳥類(現在許可を受けているものも含む)に、個体識別のための足環(リング)をつけることが義務づけられます。

なお、これに伴い、鳥獣飼養許可証の交付手数料(新規・更新・再交付)が現行の一、一〇〇円から二、三〇〇円になります。▽問い合わせ先 役場農政課林務係

ふるさとづくり講演会

21世紀はもうそこまで

真剣に考えよう

『アドバイザーを交え』

私たちの中種子

基調講演『村おこしを考える』

南日本新聞社論説委員長 福石 忍氏

全国各地で活躍されている出郷者の中から四人をふるさとアドバイザーとして招き、一月二十八日ふるさとづくり講演会が開かれました。

会場の町立体育館には、町民六百人が出席し、町活性化の提言に熱心に耳を傾けました。

ふるさとアドバイザーは、「21世紀へ向けて、愛着と誇りを持てる豊かな町をつくろう」と出郷者五人を委嘱したもので、二年間知識や情報の提供などをさまざまな提言をしてもらうことになっています。

午後から始まったこの講演会は、前半が福石 忍氏の基調講演、後半がアドバイザーによるパネルディスカッションという流れで行われました。



21世紀に育つ子ども達に夢と冒険を与えてやりましょう。四方を海に囲まれていることだし、子ども達にもっと海での冒険を体験させるべきですね。

▼町づくりには自分たちの町を外に大いにアピールすることが大切です。それと「対岸への

ればならない。昔から「米づくりには嫁の来ではないが、花づくりには嫁は来る」とよく言われます。米づくりに比べ、花づくりは研修会などいろいろな交際や話し合う機会が多いからなんでしょうね。

▼今、私たちは情報化時代のま

とは言えないと思います。島民何か文化に親しんでほしいですね。

▼ある人が「こんな島はめずらしい。農業が一年中できる。永住してもいいなあ」と言っていました。こののんびりした人情の島を大切に、投げやりなや

「タネ」も「しかけ」もある中種子に

基調講演から

「発想」と言いますか、今まで中央にばかり目を向けてきました。が、今後は中種子も自分たちの対岸はどこなのかをはっきり見定めなければなりません。向こう三軒両隣をもう一度見直す時代になっていきます。

▼二つのジェット化(ジェットホイールと新空港)により種子島は大きく変わっていくでしょう。これらを刺激に新しい町の雰囲気づくりを目指さなければならぬでしょう。ただ、心の過疎化にならないよう気をつけなければなりません。

▼農村に嫁が来ないと言われませんが、お嫁さんに来てもらうためには女性の心理をつかまな

った中にある訳ですが、新聞やテレビだけではなく、やはり生の声を聞かねばならない。これからは勉強の時代、大人の塾の時代ですよ。つまり人から情報をもらおうと思うのなら自分の情報も提供しなければならぬからです。ギブアンドテイクの世の中なんです。

▼種子島と言えば、鉄砲、ロケット、若島津、平らな島、歴史の島といういろいろ浮かびます。文芸も盛んですねえ。ここを歌の島と言ってもおかしくない。宮沢賢二が「働いているだけでは生きていくうちに入らない」と言いました。農業だけやっていても人間として必ずしもりっぱ

り方でなく、自信と誇りをもてる島にしていってほしい。観光にしろ、ゴルフ場にしろ、住民が自信をもっていなければお客は訪れないでしょう。

▼今、村おこしに全国いろいろな知恵を出し合っていますが、中種子はタネがないはずはありません。タネもしかけもある中種子にしてほしいと思います。



福石 忍

福石

パネルディスカッション

【テーマ】

今、中種子は何をなすべきか

福石 これからパネラー六人で「今、中種子は何をなすべきか」をテーマに討議を進めていきます。まず、町の現状について町長と農協長のお二人に説明をお願いいただき、その後四人のアドバイザーにご意見をお願いします。

松下 最も大きな問題は、若者の定住と合わせて、地域の活性化をどうはかつていくかということです。かつては二万の人口も現在一万一千に減ってきました。なんとしても農家の後継者、若者を残すことが大切です。

二つのジェット化、特に新種子島空港の建設に向けては全力を注いでいかねばなりません。さらに運動公園、ゴルフ場の建設と、町制五〇周年の平成二年にははつきりした形で現れるでしょう。さらに福祉の充実などさまざまな問題について住民、行政が一体となって取り組んでいかねばなりません。

有留 自分の町から人が一人減り二人減りすることは町がたれていくことです。農業に関して言えば、本町のみならず全園どこでも自由化問題に苦慮し、これといった計画が立てられない現状です。厳しいと言われる中、畜産だけが高値が続いてい



農協長

有留

ますが、果してこの状態がいつまで続くのか。当分の間はだいたいようぶとしても、やがて来る自由化は避けて通ることができません。

このようなことから生産性を上げることが必要です。普通作を堅持しながらも、花き、園芸にも力を入れているところです。

福石 出郷者の四人の方はどのような目で中種子を見ておられるのでしょうか。ご意見をお伺いしたいと思います。



徳永

中種子を印象的に言わせてもらえば「活力と自然にあふれたふるさと」と思っています。

他県に出て種子島を想い起こす時、やはり豊かなくもれた自然、よやかな人情、このことはどこに出ても恥ずかしくないと思います。

種子島一市二町はたいへん仲

子島、中種子の生まれだ」といふ誇りを持たなければならぬと思います。このことを大人を含め、子ども達までも胸を張って言えるよう育ててほしいですね。



折戸

幼い頃から子ども達に「自分は何をやりたいか」をはつきりと自覚させておくことが大切です。そのことで確固とした意志を持ち、個性のある生き方ができると思います。

折戸 今、日本のお荷物産業と言われているのが第一次産業、つまり農林水産業です。この産業に共通する問題点は、生産性が低いこと、次に厳しい変化についていけないこと、次が先ほどから出ているように、後継者がいないということです。そして最後が脱皮する努力をしていないことです。つまり、新しいもの導入に積極性がないということです。

中種子町はまだ恵まれていますが、子ども達に甘えてはいけません。積極的に取り組んで盛り上げてほしいですね。



同長

「は何をなすべきか」

コーディネーター

南日本新聞社論説委員長

福石 忍

パネラー

中種子町長 松下道男

中種子町農協長 有留早志

ふるさとアドバイザー

鹿児島県土木部長 奥 信雄

九州大学医学部教授 徳永 隆一

大阪中央農産市場常務取締役 折戸秋男

日立製作所高崎工場長 牧本次生

折戸秋男

牧本次生



牧本

それともうひとつは人材です。ソフトウェア分野の人口は今後増々増えてきます。教育熱心な中種子で人材育成をはかってみてはどうでしょうか。離島ということで第一、第二次産業は輸送コストの面からひじょうにハ

牧本 産業の流れが大きく変わろうとしています。第二次産業は隣りの韓国、台湾に押されがちになっていきます。これからの日本は第三次産業、ソフトウェアが中心になると思います。地価の高い中央じゃなく、これからは地方分散型になるでしょう。地方の時代の到来を見逃す手はないでしょう。種子島には有利な条件がたくさんあります。広い土地、緑の山、ふりそそぐ太陽、広い海、当たり前と思われるかもしれないが、これらが一番貴重なものなんです。

ンディーになります。必要なのは人材ですから、この点からしてもソフトウェアは中種子に向くと思います。

福石 やりようによっては実現できそうですね。農業の町というところで、もう一度農業問題に振り返ってみたい。

折戸 高齢者農業じゃなく、若いやる気のある農家に土地を集めさせてやらせるという考え方もあります。先祖代々守ってきた土地を手放したくないということから売買は無理かもしれませんが、所有権はそのままにして耕作だけを譲る方法で対応できるでしょう。

消費地からひじょうに遠いというハンデはありますが、逆に温暖な気候を生かすというところで相殺できると思います。

また、自由化になれば当然価格は下がりますが、畜産について言えば、アメリカ産に負けない牛肉を生産し、競争に勝たねばならない。

村づくりには、日本全国で中種子にしかないものを、まねしにくいもの考える必要があると思います。中種子を素通りさせないためにも必要なことですね。

徳永 私はこれからの中種子を背負う子ども達に大きな期待をもちたいですね。そのためにここに住んでる人はもちろん遠くよそに出ている人も「私は種子島、中種子の生まれだ」といふ誇りを持たなければならぬと思います。このことを大人を含め、子ども達までも胸を張って言えるよう育ててほしいですね。

この後、会場から二、三質疑がありました。折戸が省略します。

福石 まだまだご意見もあるようですが、このへんで討議を終えたいと思います。最後に町長に一言お願いします。

松下 このような機会に貴重なご意見をいただき心からお礼申し上げます。今後、町政を進めるにあたり大いに参考にさせていただきます。これからもいっしょに歩んでいきたいと思います。

これからもいっしょに歩んでいきたいと思います。このお知恵を拝借するかと思いますのでよろしくご指導ください。



奥

福石 さて、高齢化社会の到来についてはどうでしょうか。

徳永 高齢化社会で一番問題な

「基調講演、パネルディスカッションの内容は紙面の都合上要約して掲載しました。」



ランニング・レポート

後列
監督の山口純弘先生
牧瀬 雄志(中山)
八汐 博君(伏之前)
日高 雄史君(西之町)
野平 裕樹君(横町)
スポーツ少年団時代の指導者
蓮子信二さん



前列 竹之内純一君(旭町)
日高 淳一君(栄町)
長尾 剛 君(伏之前)

野間中 悲願の初優勝

離島勢では初めて

二月十二日鹿児島市で行われ、大県中学校新人柔道大会で、野間中が初優勝の快挙を達成しました。

今大会に臨んだ二年生七人は、以前から注目を集めていたチームで、特にこのうちの二人は小学時代にスポーツ少年団県大会で二位の成績を残しています。周りからも「今回は十分優勝を狙えるのでは」と期待を集めていました。

例年、大会の覇者は鹿屋市の田崎中。メンバーに全国大会の個人戦優勝者もいることから不動の座を堅持していました。野間中は、昨年夏の大会でも同様に完敗していることから、打倒田崎の意気が盛り上がっていました。

試合は一回戦不戦勝、二回戦東谷山中に④-①、三回戦鶴池中に⑤-①、四回戦串木野西中に④-①、そして準決勝で宿敵田崎中と対戦。勝敗は双方勝ちの2-1となり、代表戦で決することになりました。代表戦では野間中が牧瀬君、田崎中は全国一の繁島君をたて、激戦の末牧瀬君がからも優勝勝ちしました。決勝戦は阿久根市の三笠中に④-①で完勝、優勝の栄冠を手に入れました。

個人戦は八汐君が代表で出場し、三位の好成績をおさめました。

親子で楽しく

児童書学級が開かれています。この学級は、幼い時から本に親しみ、読書習慣を身につけることを目的に、年十回の計画で、親子いっしょに楽しめる内容で構成されています。

会員は現在十五組の親子。日頃はやんちゃ坊主も、社会教育課職員らの熱心なお話や人形劇に、目を丸くしています。



お話に熱中する子どもたち、左は社会教育課の園田さん

昭和から平成生まれへ



元号が昭和から平成に変わり、二か月が過ぎようとしています。平成生まれの赤ちゃんも徐々に増えています。平成生まれ本町第一号の赤ちゃんは、一月八日(平成初日)生まれた河野宏さん(上方26歳)の長男友樹ちゃんでした。

また、激動と言われた昭和の最後に生まれたのは、重久文仁さん(伏之前23歳)の長女麻梨乃ちゃんでした。一月二日生まれた麻梨乃ちゃんは本町ではただ一人の昭和64年生まれです。

昭和から平成への大きな歴史の節目に生まれた二人の赤ちゃん。21世紀に向けて健やかな成長を祈りたいものです。

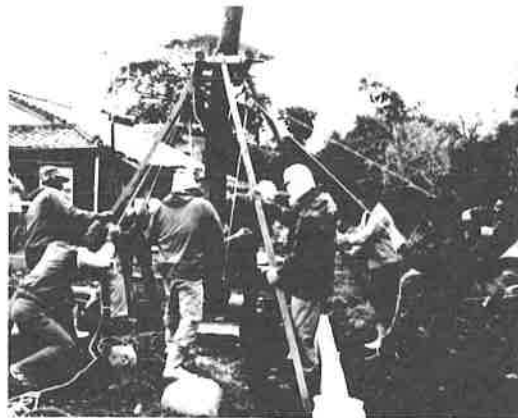


ランニング レポート



『サイヨー』を復活

30年ぶり伝統の礎石打ち



アーサイヨーのかけ声で一斉にロープを引く殿島さんら

石に載った方が安心だ」と言うたつての願いで実現したもの。牧川でも約30年ぶりに行われるとあって、この日は朝から見物や手伝いが多数かけつけました。

垂(たる) 木四本で組まれたやぐらの中に一本の松の太木を通し、ロープで勢いよく引き上げ礎石の上に落とします。松の根元には礎石に誘導する人、やぐらを動かさないよう支える人、そしてロープを引く人など総勢十五人の大がかりな作業です。ひとつの礎石に二十回ほど打ち下ろし、次の石に移動します。「サイヨー」に欠かせない「どんじ節」に合わせ、「サイヨーサイヨー」のかけ声と礎石を打つ重畳感あふれるリズムが村に響きます。近く海岸で、棟梁の平野正則さん(初)により入念に選り抜かれた石は、松が落とされるごとに土中に少しずつ沈み固定されました。

この昔ながらの「サイヨー」、手間と人手がかかるため、家族の反対はあったようですが、皆さんは「手間の問題じゃない。必ず良さが出てきます」と自信満々だった。

こんにちは 保健婦です ⑤⑤

わたしらは、健康を第一の目的として生きていくわけではありませんが、健康なくしては、どんな素晴らしいプランも実現しません。

四十歳までは、元来、人生でいちばん健康にめぐまれる時期なのですが、四十歳を過ぎるとこれまで以上に、健康が手に入るかどうか保証はありません。

すでに、このことを自覚している人は、自らの健康に気をくばり、健康を大切にしている人といえるでしょう。とくに、人生に目的を持っている人、また、一度病気をしたことがある人、今日一日を大切にしている高齢者の方がたは、「健康あっての人生」を身にもって実感し、健康への非常に強い関心があります。

しあわせのベースは健康から

酒・ヘビースモーカー・ストレス・不規則・運動不足・寝不足の生活が長く続くと、成人病をひきおこすこととなります。

良く動き、良く食べ、良く休み、健康な生活へ一歩でも近づきましょう。(遠藤)

さて、あなたは、毎日どのような生活を送っていますか。現在、あまりにも健康ゆえに、自分自身を粗末にしているませんか。ともするとおちいりやすい不健康な生活習慣リズムを、健康な生活に流れをかえてみませんか。

健康の基本原則は運動・栄養・休養の三つです。

この三つのバランスがよくとれていること、これが健康の基本原則です。

健康の三原則がくずれる、たとえば、偏食・食べすぎ・深

氏名 永野 末義
住所 満足山 竹屋野

氏名 橋野 八千代

おめでとう
お幸せに

1月19日〜2月18日受け付け

赤ちゃん

保護者 横町

住所 原之里

人口のうごき
総人口…11,265人(-7)
男…5,357人(+12)
女…5,908人(+2)
世帯数…4,150戸(+1)
出生…6人 死亡…11人
転入…21人 転出…23人
()は先月との比較
3月1日現在

次の方々が町社会福祉協議会へ金一封を寄付されました。これらの善意に感謝するとともに、つつしんで故人のごめい福をお祈りします。

杜協だより

故人 年齢 住所
山下 健二 47歳 伏之前
橋野 イク 64歳 満足山
隈元 ヨネ 73歳 伏之前
高山 初音 68歳 旭町
池山 秀義 60歳 中田
大山 清 87歳 大牟礼
浦口 實盛 76歳 屋久津
浮田 浪夫 82歳 南栗原
竹野 昭 49歳 竹之川
田之畑 イチ 86歳 旭町

おきやみ

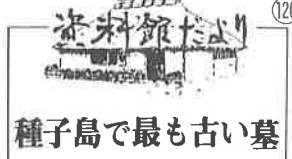
本村 千浩
西之衣市
竹之川 二十番
満足山 熊野
大平 鹿兒島市

編集後記
飛野の手拓前の松浦澤、小牧公園の松、昭聖会などを旅り返る時、先輩や長老の話より写真や映像を通す方がよりリアルであることとは間違いない。しかし、私たちは身近な環境の変化はなかなか記録しようがない。家族や子ども、スナックは数多くあっても、フルドクターを入改修前の道、使い慣れた家、所、大切にしていた玩具など、記録している人は少ない。カメラやビデオは普及しても「そんなものを」とフリンダーを覗きたがらない。過去のくらしや環境の記録が少ないのは、逆に言えば、今の日常を記録保存しようとする気が起きないからである。運動会の子どもを撮った後、我が家のスナックも撮らうではないか。

氏名 故人 住所
永井秀一 ハル 砂中
高山章普 初音 旭町
八山悦子 秀義 中田
池田悦子 一範 屋久津
浦口シズ子 實盛 屋久津
竹野カメ 昭 竹之川
大山妙子 大牟礼
橋野春義 イク 満足山



種子島の庶民墓でもっとも古いといわれていたのは、安城の妙楽寺の石塔で、永禄六年十月十三日(一五六三年)と刻まれている。ところが先だって、鹿兒島大学教授下野敏見先生の調査で、油久美座の美座家墓地に大永三稜五月廿六日(一五三三年)の年号のある供養塔のあることがわかった。安城の石塔より四〇年古いことになる。山川石に刻まれた文字は「時友二男時審宗壽時真夷庵」と判読され、個人墓でなく複数の人の供養塔であることがうかがえる。時友は、八代島主清時の子孫ということから種子島家にゆかりのある人達であろう。なお、隣の下村家墓地には、下村出羽守時豊の五輪塔がある。時豊は、清時公を、島主になる以前から助けた功績により永永二年(一三九五年)油久村の領主に任命されている。この五輪塔は、その死後に建てられたもので十五世紀以降のものであろうといわれている。(調)



種子島で最も古い墓

つまべに詠草

藪樺の落ち花道辺を朱く染め踏みしただけし後のわびしき 中山 日高百々代
我がそばにまつはりはしやぐら孫らのしげし見ぬ間に言葉どこのふ 原之里 春田ハツミ
百年を朗らに生きし母なれば長寿の秘訣は陽気にあるらし 原之里 古市ノリ
眞赤なるポインセチヤにとなり咲き小雨に凝り芽ぶきたるすももの花は一日ごとほころびきつつ風に散りばふ 島田 曾木 知子
辱めゆけば広き客間の青畳蘭草の香り部屋に満ちをり 柴町 西田 睦枝

体育館よりもすゑ士の群れのちう孫のをりて心せきゆく 大久保 野口フサ子
初詣の祓の太鼓師して風船もた菓子音の賑はふ 牧川 松下みつえ
出荷時に而天統きてプロツコリーの水切り手間取り負数はかさむ 上方 石堂 ミヨ
狂ひ咲く桜見上げて翁言ふ文明といふは天を乱すと 伏之前 葛いわ子
なだるかに目白は群れて枝移り細啼きしげし道の上の森 高峯 石櫃 壽栄
手鏡に写す杉生の上の景移るふ雲に過去がうづ巻く 島田 曾木 智

【有段を目指して】

詰碁 黒先白死・5手まで
●ヒント:シメツマリ
3分2級、1分で有段者

詰将棋 出題 八段 北村眞男
●ヒント:馬が動かしにくい
10分で2級、5分で初段以上
持駒 金桂

詰碁正解 黒1のはうからハネを打つのが良く、以下黒5まで。

詰将棋解き 4二飛、同角、4三馬、同金、2三桂成、3一歩、2二成桂まで7手詰め。
解題 1二飛と打ったのは2二歩と合駒されて詰みません。また初手2三香成は2一玉と引かれて失敗。4筋に飛と馬を捨てるのが好手です。



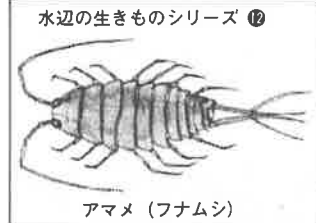
所得税の確定申告 (2月16日〜3月15日)



けいちつ

ガソリンスタンド 休日営業
3月5日 中種子石油 (旭町)
3月12日 種子島石油 (柴町)
3月19日 種子島石油 (田島)
3月21日 農協給油所 (伏之前)
3月26日 丸正石油 (浜津脇)

日曜在宅医
3月5日 高岡医院 (中種子町 ☎7-3100)
3月12日 鎌田医院 (中種子町 ☎7-0325)
3月19日 南種子町診療所 (南種子町 ☎6-1230)
3月26日 恒吉医院 (中種子町 ☎7-0047)
*3月21日は休診です。



アマメ (フナムシ)

〈3月の主な行事予定〉(中公は中央公民館)

7日 社会教育委員会及び公民館運営審議会 (午後2時から中公で)
9日 3月定例議会
10日 文化財保護審議会・資料収集協力委員会 (午後2時から資料館で)
・町慰霊祭 (午前10時から忠霊塔前で)
18日 中学校卒業式・青少年育成の日
21日 春分の日
23日 中種子大橋竣工式 (午前10時半から)
・小学校卒業式
・世界気象デー
25日 終了式

広報

NAKATANE KAGOSHIMA



なかなね

平成元年4月5日発行
No.401

元年 **4** 月号

発行 鹿児島県中種子町役場
編集 企画課広報係
☎ ⑦-1111(内線59)



特集

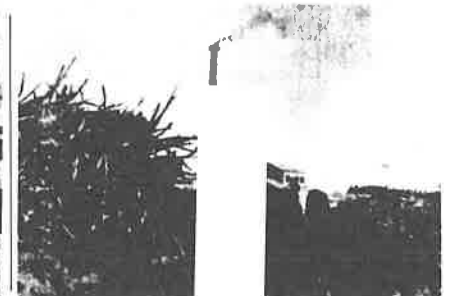
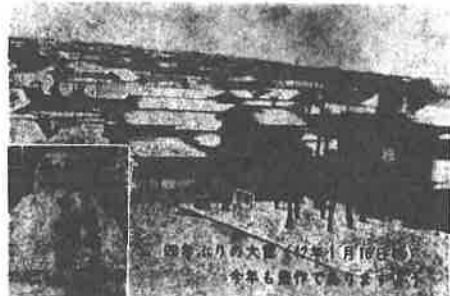
広報なかなね 400号



▶大阪へ送るイセエビの積みこみ
◀乙女の舞粉姿



▲ 小牧公園入口の松



▲ 千草は馬車で運ばれた▲

平成元年 第1回(3月)定例議会

節減合理化の当初予算

平成元年度 一般会計 52億6000万円

平成元年第一回定例会は、3月9日から20日まで、12日間の日程で開かれました。
 本会議は9、16、20日の3回開かれ、平成元年度当初予算など28の議案はすべて可決されました。

昭和63年度

一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の総額から歳入 二千四百七十万円、県支出金が歳出それぞれ一千三百二十万八千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ五十億二千五百九十九万五千円としました。
 歳入のおもなものは、町税が一、千三百万円、地方譲与税が一千三百八十万円、地方交付税が一億七千万円、国庫支出金が一億七千万円、国庫支出金が減額です。

平成元年度当初予算

平成元年度の地方財政は、昭和63年度までの国庫補助負担率の暫定引き下げ措置が完了するにともない、さらに二年間暫定的に現在のカット幅が継続され、地方財政全体にも多額の財源不足が見込まれます。
 この財源不足については地方交付税の特別加算と建設地方債の増発などにより財源が補てんされます。
 平成元年度の当初予算の編成にあたっては、税収の確保、地

方債、国庫補助金の確保など歳入面での努力を傾ける一方、歳出では、補助金の削減、物件費の抑制など徹底した節減合理化を行います。
 このような方針によって編成した平成元年度の当初予算は、

一般会計	五十二億六千六十七万円
国民健康保険事業勘定特別会計	八億三千二百三十二万二千元
老人保険医療特別会計	五億二百六十一万円
簡易水道事業会計	二千七百七十四万二千元
と畜場特別会計	四百六十九万八千円
水道事業会計	—

収益的支出——一億四千九百九十九万九千九百九十九円
 資本的支出——二千八十万四千元
 となつています。

平成元年度 一般会計当初予算の概要

進めるため四百九百二十五万四千円を計上しています。
 さとうきび作の振興では、生産の安定、生産費の節減に努める経費一千五百四十一万九千九百九十九円を計上しています。
 農業基盤の整備には、県営事業で畑地帯総合土地改良事業、岡南部地区の継続、農道の整備は県単農道整備事業、農道整備事業、県営事業、農免農道整備事業、村づくり農道整備事業で整備をはかるため所要の経費を計上しています。
 農業構造改善事業については、

前年度に引き続き農村情報連絡施設無線設備の整備に要する経費四百八十八万円を計上しています。
水産業の振興
 根付資源の増殖をはかるため浜津脇地先にトコブシを放流する経費五百五十万円を計上し、さらに浜津脇港に漁船引き上げ車路を建設する経費として種子島周辺漁業対策事業で九百万円を計上しています。
漁港整備事業については、梶渦漁港の整備をはかる経費四千万五千円を計上しています。
商工業の振興
 旭町商店街の環境整備対策として、公共駐車場を設置し商店街の振興をはかる経費五千万一千円を計上しています。
社会資本の整備
 交通通信体系の整備については、補助事業で増田一号線の改良事業、単独事業で島田屋久渡瀬線ほかを整備することとし、これら道路橋りょう建設に二億一千九百四十七万三千円を計上しています。

都市計画事業のうち街路の整備については、公園通り線を国庫補助事業により計画的に整備するための経費一億五千三百三十四万円を計上しています。
 公園の整備では国庫補助事業と単独事業とを合わせて行う経費一億七千四百三十三万円を計上しています。
 空港整備では、引き続き新種子島空港建設を促進するため百十万円を計上しています。
社会福祉の充実
 高齢者福祉対策につきましては、高齢者の生きがいの助長、社会参加の促進と在宅福祉の充実をはかるため、老人クラブ助成事業、家庭奉仕員派遣事業、老人短期一時保護事業、63年度完成したデイサービス事業を委託する経費などを計上しています。

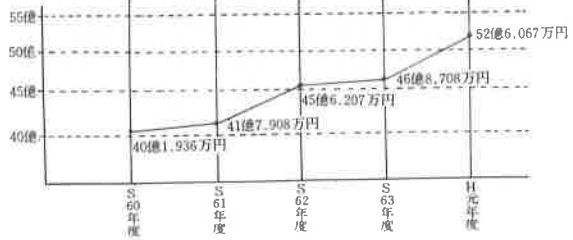
児童福祉の充実には、老朽化したあかつき学園を全面改築し、新たに精神薄弱者更正施設を併設し、施設整備の近代化をはかり一貫した精神薄弱児、薄弱者の更正訓練に努めるため債務負担行為と合わせ三億八千四百五十二万一千円を計上しています。
 社会福祉対策については、伏之前住宅地区の不良環境地区改

善経費として四百八十八万九千円を計上しています。
教育環境の整備
 星原小学校へき地集会所の改築に要する経費一億四百六十一万八千円、油久小学校校舎大規模改造事業に要する経費二千三百八十四万九千円、野間中学校にプールを建設するための五千三百二十六万三千円、小学校の教育方法を改善するためのパソコン等を導入する経費一千四百三十二万四千円などを計上しています。
 学校教育については、自立心を備えた児童生徒を育てるため修学旅行や独自行事の設定により、集団宿泊学習を積極的に推進する経費と、子供たちに農業への親しみを育て、動植物を育てる喜びと苦心を学ばせるため、小中学校において勤労生産学習を推進する経費を計上しています。

歳入

町税については税制の本格的な改革によって、電気税、ガスタ、木材取引税が廃止になりましたが、たばこ消費税がたばこ税と名称変更になり新たに消費課税となつて地方に譲与されます。これらは地方財政計画を参考に、町税四億二千九百三十七万三千円、地方譲与税八千二百二十九万八千円、利子割交付金七百万円、自動車取得税一千五百万円を見込んで計上しています。

一般会計当初予算の推移



「政治は町民のもの」の原点から

平成元年度施政方針 当初予算提案理由



施政方針

「はじめに」

上は大きく国政の立場から、下は私ども未端自治体の行政の場に至りますので、幾多の変転を繰り返してまいりました。人々もそれぞれの生き様の中で、今日から明日へと日々をつなぎ生き続けてきました。その永い昭和の歴史もようやく終わり、国運の隆盛と安定、人々の幸福を願う心を、平成の二つの文字に託し、世ほどよむ事なく新しい出発を始めています。

しかしながら、昨今における国内外の状況なり、社会経済の機軸は農業を柱とする第一次産業にも見られますように、激化する外圧、自由化の攻勢と、農産物の価格の低迷など、厳しい現状です。とりわけ国の政策が農業から工業重点施策へと変わりつつある中で、どのような型で本町農業を確立し、林水産業ともども第一次産業の振興を期すべきかは、かなりの忍耐と努力が要請されること

昭和63年度を ふりかえって

振り返ります昭和六十三年年度の行政につきましては、町民各位、議会ご当局、取り巻きます関係機関のご指導、ご協力を賜り、鋭意取り組んできたところです。心からお礼を申し上げたいと思います。

ことに内部的にも種々複雑な問題もありましたし、外に伺いましては空港の問題ほか事業各面、細々積み残しのももあつた事かと考え、申し訳なく思いますが、ご放教をいただきましたと思ひます。

農業生産の面においては、甘藷、たばこなど一部の落ち込みはありましたが、さとうきびについてはかなりの豊作、畜産における子牛価格の高騰などきわめて喜ばしいものもある訳です。さらに野菜、花き作についても、産地確立対策協議会の発足にともない、増田、油久の二地区を指定し推進してきました。生産、価格面、今一步の感を残しながらも将来へつなぐ野菜、花きの振興に必ず実績が得られるものと期待しています。

過疎化、高齢化が進行する中で、若者の定住と後継者問題、新しい感覚による農林漁業、商工業への取り組みを意図した過疎対策問題懇話会を図っては、七回の会合を重ね、広く研修などを実施し進めてきました。特に、一月二十八日開催の「ふるさとづくり講演会」については町内外からの高い関心と反響を得、今後さらに継続充実させ町づくり町おこしのための大きな糧としていきたいと思ひます。

そのほか農業振興のための道路網の整備、あるいは水産振興のための施設づくりなど事業推進をはかったところです。

一方、公共事業については継続的な運動公園事業をはじめ、土木、建築ほか、六月豪雨による災害復旧事業など例年にないだ大がかりな事業規模での取り組みがなされました。農村情報連絡施設(防災無線)についても、大きな事業の一つとしてようやく着工の運びとなった次第です。

さらに老人福祉対策としてのデイサービス事業の開始、熊毛広域消防の発足にともなう分遣所の設置などがあげられます。

地元開催がなされた第四十二回県民体育大会もまた、大きな

実績の一つであったものと心致すところで。

以上、大まかな六十三年度の足跡でありますがおおよそについて計画通りと考えながらも、町民各位の期待に果していかにほど添えた事かを考えます時、まだまだ疑問が多いのではと心から恐縮に存じますが、ご理解を賜りたいと思ひます。

平成元年度に あたって

次に、平成元年度について申し述べたいと思ひます。

何事を行う上においても、その結果に一〇〇%を願ひ期待する事は世の常であり、人情です。いつの時代であっても、何人であっても変わるものではありません。しかし、その事が意のままにならない人間社会の現実をかい間見ると、これから進めてまいります本町行政についても、それなりの厳しさと難しさを覚悟する事は当然の事かと考えます。したがって、できずともそれは結果としながらも、「真の町民のための町政」には、私どもそれぞれおかれていた立場で、いかに努力し、いかにして一〇〇%を確保し、一〇〇%に近いづけるかの果敢な対応が必要

です。その努力の足跡にこそ真の中種子の行政は確立されるものと信じます。「政治は生きもの、町民のもの」そして確実に「一人前」の信条を基に掲げてきました。今一度この原点に返り、充実した町政の推進に努めなければなりません。



本会議で施政方針を述べる町長

当面、心をえぐるものとして過疎化、高齢化への対応、限られた財政と難しい産業振興の問題など多くに亘る訳ですが、この事は本町のみが持つ荷物ではなく、今全国それぞれ地方が背負っている共通の切実な悩みであると思ひます。問題解決については、時間ばかりかきりとも、一つ一つ辛抱強く対処していくことが大事です。

今まさに「ふるさと創生」が叫ばれ、一億円の資金を含めふたささげられ、村おこしが取りざたされています。しかしながらこのことだけで本町の行政が容易になり、総て事足りるものでない事はお互いが充分承知のはずで、行政全般その実情と住民の要望にあわせ、より効果的、効果的な運用をはかることが必要です。

産業振興について申し上げます。

平成元年度産業振興計画を中心に進められることになり、農業の国際化、構造政策の見直しなどその形骸は大きく変わろうとしています。この様な現状をふまえ、本町としても永い将来に亘り魅力ある農業なり農村を築く事を重要な課題とし

なければなりません。特に安定した農業経営を維持するための条件と環境の整備は欠かすことはできません。作物の組立については需要の動向と生産、価格両面から充分参酌しながら対応し、生産対策等関係事業を積極的に導入推進しながら総合的に生産の振興と確立を期したいと思ひます。

その施策として、主幹作のさとうきびについては、六十二年度より進めている小型脱糞搬出機導入事業により、さらに五台を導入いたします。また春植え予定地の深耕事業や自家採苗圃設置事業を推進し、避けて通れない糖分取りきへの対応も含め品質改善対策と生産費の軽減に努め、土地利用型農業経営を推進してまいりたいと思ひます。

工場能力のアップについては、糖業振興会をはじめ工場側を含めた関係機関と十分検討を重ね、自主能力アップ対策も合わせ、緊急の問題として捉えていきたいと考えます。

甘藷作については、計画生産など種々当面の問題もあつますが、さとうきびと並び、切り離せない防災作物であり基幹作物であることをふまえ、強力な農

政活動を通しながら生き残れる甘藷作を進めていきたいと思ひます。

なお、野菜、花きの振興については先ほど(六十三年度)触れた通りでありましたが、本年度はソラマメを最重要品目に定め、町単独事業として取り組み産地化に努めてまいります。

花きについては県単独事業によるグラフィオラスのバイオ球根増殖施設の運用により、コストの低減をはかり他品目についても指導の徹底を期し、経営の安定と産地確立に努めていきたいと思ひます。

青果物については市場流通が中心となりますが、近年宅配、産地直送型の流通形態が広く展開されています。今後はノスタルジー(郷愁)品目の開発を考へ、近畿中種子会などを中心に販路を拡大していきたいと思ひます。

防風対策は高品質作物の安定生産の条件として大切なことであり、防風対策緊急整備事業によりハマビワによる防風対策を実施したいと思ひます。

畜産は、仔牛価格の高騰により、農家の意欲も湧き、着実に伸びと経営の安定が期待されま

すが、二年後の自由化については目をそらす訳にはいかない実情です。各種補助事業のほか、町単独事業の充実をはかり生産基盤の整備とコストの低減に努力し、将来ある程度の価格の下落に対しても充分耐えられる足腰の強い農家経営と組織の育成に努力していきます。

そのほか、生産向上をはかる上からの圃場整備、農道網の整備や、情報化社会における的確な情報把握の対応として、生産環境施設整備事業により防災無線施設の設置を進めてまいります。

林業については、森林総合整備事業による保育事業を主体に下刈り、除間伐を行い、育林を進めていきたいと思います。

水産振興については、基地となります漁港、船溜りの整備とあわせ、豊かな海づくり事業、種子島周辺漁業対策事業により資源の確保と環境の保全に努め将来の加工施設についても検討してまいりたいと思います。

商工業の振興は、第一次産業の成り行きに左右される面が大きい訳ですが、さしずめ商店街振興対策として公共駐車場の設置と商工業振興の中核をなす商



新種子島空港完成予想図

工会の健全運営をはかるため助成措置、中小企業金融つなぎ資金貸付事業を継続してまいります。

観光については、歴史的な背景と資源に乏しい環境にありまが、空港をもつ優位性もあります。町、種子島、種子屋久三つにわたる観光協会との連携の中で、観光客の誘致等はかつてまいりたいと思います。

公共事業については、産業基盤の中核をなす町道をはじめ道路網の整備、港湾、漁港、河川や、学校施設の整備など補助事業の導入を進めてまいります。

運動公園事業では、陸上競技場の整備を進めていきます。またゴルフ場の建設においては、ほぼ着工の条件が整いつつある段階にあり、四月中の着工を目指し努力しています。

福祉は、福祉の里の名のとおり、施設が整い各面への対応がなされているところです。ただ不離一体で進行する過疎と、高齢化現象の中で住民の福祉に期待する分野は年一年広がりを見せています。このような中、あかつき学園の全面改築を行い、精薄者の施設を併設してまいります。真の福祉は物と心の均き合いのとれたものでなければなりません。在宅福祉メニュー事業、デイサービス事業ほか、家庭奉仕員派遣事業などそれぞれ組み合わせながら進めていきます。

備えた自主性に富む人づくりを旨とし、学力向上対策、生徒指導の徹底により教育行政の充実をはかりたいと思います。

急激な都市化現象が進む中で連帯意識がうすれ、物も心も古き良きものが失われようとしています。このような昨今、社会教育においては、生涯学習の推進、青少年健全育成の問題ほか各種団体育成強化などを重要な課題として捉え、住みよい地域づくりを進めるため、公民館活動と連動させながら進めてまいります。

保険衛生の関係では、年々増大する医療費にともない、税についても同様の状況にあり、国保財政はきびしい情勢です。財源の安定確保のため、税率の向上に努めたいと思います。

老人保健事業では、老人医療や国保事業との密接な関係がありますだけに、強力に進めていきます。各種検診、保健事業の推進により保健増進の調査、相談など従来どおり進めながら医療費の適正化をはかりたいと思います。

さらに平成二年は町制施行五〇周年の年です。空港、ゴルフ場、運動公園など大きな事業にそれなりの日鼻がつき、第一次産業を含め機軸わりの年を期待するものです。

先人が残した輝かしい功績にどう応え、これを節目に将来の中種子町をどう受け継いで行くのか、意義深い年にしなければなりません。

学校教育については、教職員の資質の向上と教育環境の整備が大事です。知・徳・体をかね

（保険衛生課）▽羽生一美子 あかつき学園（町民課）▽永浜かわり 議会事務局（総務課）▽柳原博子 福寿園（水道課）▽浦口吉洋 保険衛生課（新採）▽森山豊 農業委員会（新採）▽指宿由佳里 町民課（新採）▽上田勝博 空港対策室（新採）▽横手幸徳 企画課（新採）▽大木田昭人 建設課（新採）▽古市かおる 中央保育所（新採）▽大脇由佳 中央保育所（新採）▽日高伊久代 児童保育所（新採）

お知らせ
ランド

手数料が値上げに

このたび役場町民課、および税務課の手数料が値上げになりました。これは熊毛一市四町に足並みをそろえるため行われたものです。この値上げにより次に掲げられたものはそれぞれ、一五〇円だったものが二〇〇円になります。

- ・住民票・身元証明・印鑑証明・資産証明・職業証明・納税証明・土地建物証明・公簿、図面閲覧証明・公簿、図面謄抄本交付・住民基本台帳・戸籍の附票の写し・住民票記載事項証明・戸籍附票記載事項証明・所得証明・課税証明・公課証明・評価証明
- ※この改正は消費税によるものではなく、県下手数料の統一を

巡回交通事故相談所の開

はかるために行われたものです。

県では、交通事故被災者救済対策の一環として交通事故相談所を設置し、相談に応じています。平成元年度、本町では5月と11月に開設されました。5月17日(月)役場防災センターで開設されます。この機会をご利用ください。

奨学生募集

教育委員会では、平成元年度奨学生を募集しています。ご希望の方は次の要領でお申し込み下さい。

- 賞与額
 - ▽大学生 月額一万八千円
 - ▽高校生 月額九千円、自宅通学は七千円
- 提出書類
 - ▽新規申込み ①願書(教育委員会に準備)②大学または高校の合格通知書の写し
 - ③成績証明書(高校または六受検申込先

前期技能検定の受付

一 実施職種

- 造園・建築板金・工場板金
- 電子機器組立て・建記機械
- 洋裁・とび・左官・フラー・裝飾ほか27種。

二 受験申請書受付期間

- 4月3日～4月17日
- 三 試験実施期間
 - 6月1日～9月11日
 - 四 合格発表
 - 平成元年10月6日
 - 五 受験申請書、受付案内は建設課にあります。
 - 六 受験申込先

水道料金の値上げ

消費税の導入にともない、本町においても五月分の水道料金から現行水道料金に3割上乘せして徴収させていただきます。いろいろ出費も多くなると思いますがよろしくお願いします。また、口座振替のご利用も重ねてお願いいたします。例を示すと次のとおりです。

- 5㎡→八〇〇円→八二四円
- 10㎡→一、四五〇円→一、四九七円
- 20㎡→二、七〇〇円→二、七八八円
- 30㎡→四、〇〇〇円→四、二〇〇円
- 50㎡→六、六五〇円→六、八四九円

町職員異動

平成元年四月一日付
()内は旧任です。
▽牧瀬広之 総務課(空港対策室)▽里重浩 税務課(農地整備課)▽春田真智子 町民課

旅券業務
熊毛支庁でも

一般旅券の受給申請の受付および交付については、これまで県庁で行っていましたが、熊毛地区住民の便宜をはかるため、四月一日から熊毛支庁でも業務を行うことになりました。詳しくは熊毛支庁総務課まで。

青少年少女合唱隊 一期生隊
演奏会 応募 4年22日
まで 対象 小4から中2
申込み 社会教育課文化係

ランニング リポート



平成元年度、本町産業の生産計画を協議する産業振興協議会の総会が二月二十二日開かれました。総会では、今門輝義さんを議長に、農業・林業・水産業のそれぞれの部門について、昭和63年度生産実績、平成元年度生産計画が協議されました。

生産額は一〇〇億円

平成元年度産振総会

前年度との比較 (単位:千円)

年次	昭和63年度実績			平成元年度計画		
	生産額	販売額	所得額	生産額	販売額	所得額
農産	5,096,337	4,452,424	3,189,287	5,593,404	4,939,074	3,500,352
畜産	1,383,616	1,383,616	527,252	1,423,142	1,423,142	542,508
林産	129,932	129,932	106,544	136,915	136,915	112,270
水産	2,334,359	2,334,359	1,631,716	2,871,200	2,871,200	2,006,968
計	8,944,244	8,300,331	5,454,799	10,024,661	9,370,331	6,162,098

急げ！ガス漏れだ

「〇時〇分、あなたのお客のAさんから、ガス容器が転倒しガスが噴き出しているのですね」とこれはいかしの要請がありました。これはガス販売店の緊急出動訓練の伝達文です。通報を受けた販売店は、準備を整え二〇分以内に現場に急行し、ガス噴出を止め二次災害の防止につとめなければなりません。

販売店ごとに行われたこの訓練、消防本部職員らの厳しい採点を受けるとあってどの店主も必死の形相でした。ちなみに成

星原小で みかん狩り

星原小(毛利弘行校長)の児童52人が、上之城でタンカン狩りを行いました。子どもたちにおいしいタンカンを提供したのは社会教育課長の田中安一さん(浜津脇)。「管理や収穫まで手が回らないんです。子どもたちに楽しんでもらった方がうれしいですよ」と満ちていました。



續の方は、失格が一店で、全店を通し伝達文の把握がよくならず、機具の不備を指摘されたようです。



必死で処置する丸石石油店の倉内さん(浜津脇)

宝くじ助成事業で 緑化



町野球場の建設にもない、周辺の緑化も整えられています。この環境整備は、スポーツ活動や公園の清掃活動を通して、町民のコミュニティの健全な発展をはかることを目的に、宝くじのコミュニティ助成事業で行われたものです。事業費五百二十万円のうち三百八十万円が助成され、植樹のほか芝刈機や塵焼炉なども備えられています。

ランニング・リポート



昭和56年度から八年間にわたり整備が進められていた第二中種子地区広域農道が、中種子大橋の完成とともに全線が完成しました。

昭和から平成へのかけ橋

中種子大橋完成

総事業費二十五億六千五百万円をかけた工事は、総延長一〇・九三キロで受益面積は一四七〇ヘクタールのほりです。今後の農畜産物の輸送に大きな貢献をしますものと期待されます。



三月二十三日は待ちに待った中種子大橋の渡り初め。多数の関係者が出席し、橋の安全を祈願しました。また、鎌田要人前知事の書による記念碑の除幕も行われました。



渡り初めを行う皆さん

町長ら九人によるテープカットの後、末永い橋の安全を願い、徳勝馬さん(久屋久津)初、小山田精哉さん(畠田)らの親子三世代家族を先頭に出発者全員が渡り初めを行いました。東シナ海を眺望できる長さ一七七、高さ二八八の熊毛一の大橋。新しい名所になることでしょう。

快い汗を満喫



フルマラソン、マイベースで完走した木場さんら

三回を迎えるたねがしまろケツトマラソンが三月十九日、二二四人が参加して盛大に行われました。

3キロ・5キロ・10キロ・フルマラソンと四コースに老若男女がマイベースで汗を流しました。今回は島外から二二〇人が参加。北海道出身のフォークソング歌手、高石ともやさんもフルマラソンに挑みました。

七十七歳の太田勉さん(原之里)や親子六人で出場した徳永信広さん(田島)をはじめ、本町からも多数が参加しました。本町の入賞者は次のとおりです。(敬称は省きます)

3キロ △15歳未満男子三位池尾祐輝▽同女子二位高橋博美▽同三位日高百恵▽30歳未満男子三位



3キロ、15歳未満女子の表彰

位東良一▽30歳代男子三位柳田末治▽40歳以上男子二位峯下常道

5キロ ▽中学生男子三位知念和博▽同女子二位松嶋紀子



フルマラソン、本町最高の47位でゴールした馬場長美さん



東京都 鮫島千尋
日増しに春めいてまいりますが、東京の桜も今年はいよいよ早めに咲きそうです。種子島の皆様も大変お忙しい毎日のことでしょう。

毎月広報なかたねを送っていただきありがとうございます。町のごまごました事まで写真入りでわかりやすくまとめてあり中種子の様子も手に取るようにわかります。毎月広報が届くのを楽しみに待っており、一字一句逃がさず読ませていただいております。

さて、先日二月十九日に、東京近辺に住んでいる昭和45年中種子高校卒業生の同窓会を大森で開きました。卒業以来初めての同窓会だっただけに、一九九年ぶりに会った仲間があまりにも懐しく、おいしい料理を食べるのも、時間の経つのも忘れて夜

遅くまで思い出話に花を咲かせました。

出席者は、男十三人、女八人の二十一人で、こんなにも多くの仲間が東京にいたのかと、お互いの顔を見合せてびっくりした次第です。「わこうだいいじゃったかなあ」のあいさつから始まり、思いっきり種子島弁で語り合ひ、大いに満足した一日でした。今後、この同窓会を続けていこうと、また会うことを約束してお開きとしました。

みなさんの住所を調べるのに苦労しましたが、同窓生一同最高に楽しい一日だったといへん喜んでくれ、幹事の私としても上機嫌の一日でした。

ここに出席者の名前と写真を紹介いたします。

外園幸夫・鎌田隆博・高村和世・盛政敏・牧瀬敏文・岩崎政信・西村英和・鮫島秀幸・馬場宏次・鮫島辰男・宇都国寿・原口知博・鮫島千尋・上妻千秋・戸畑久子・折戸秋美・石櫃幸子・蓮子照代・坂口加代子・三浦裕子・牧本留美子
(都合で出席できなかった)



つた人) 日高兼安・村尾和枝・森加代子・下家悦子
(女性は旧姓で掲載しています)
以上の方々には東京で仕事や子育てに元気で一生懸命がんばっておりますので、ご安心ください。
なお、この同窓生の住所をお知りになりたい方や、ほかに東京にいる同窓生の住所を知っている方は、鮫島千尋までご連絡をお願いいたします。

連絡先 〒140 東京都品川区東大井1-11-7アイビハイツ南品川408 ☎03-4501-7947 鮫島千尋

ガソリンスタンド
休日営業
4月9日 種子島石油 (旭町)
4月16日 中種子石油 (旭町)
4月23日 種子島石油 (栄町)
4月30日 種子島石油 (田島)
5月5日 丸正石油 (浜津脇)
(4月29日、5月4日は全店営業)

日曜在宅医
4月9日 森越医院
(南種子町 ☎6-0212)
4月16日 高岡医院
(中種子町 ☎7-3100)
4月23日 鎌田医院
(中種子町 ☎7-0325)
4月30日 南種子町診療所
(南種子町 ☎6-1230)
(4月29日、5月4・5日は休診です)

【有段を目指して】

詰碁
出題 本因坊 武宮正樹
● 黒先活、7手まで
● ヒント7キョウハ
3分7秒、1分で初段。

詰将棋
出題 八段 北村昌男
● ヒント3手目がポイント
7分7秒、3分で初段。

〈詰碁正解〉 黒1のツケが起手で、白2のとき黒3のオキが好手で白はダメツマリ。

〈詰将棋正解〉 3二と、1三玉、1四金、1二玉、4五馬、同飛、2四桂まで7手詰め。

〈解説〉 初手3四桂は同飛と取られて失敗。3二とと引くのが良い好手です。3二同玉なら3三金以下容易。正解5手目4五馬は鮮やかな捨て駒。

つまべに詠草

つまべに詠草
満足山 日高タエ
伏之前 竹野 昭
平鍋 節川 昭
中山 馬場 サツ
中山 石堂 スミ
中山 野角 清子

「欲のない獣医だった」と村人に父譲へらる十三回忌は夜の雨に濡れそぼつ椿舗路にひとつ落ら来て痛みの音たつ泣津腸 橋口 俊子
入学をよるこび待つと女童の伸びのぼたし
入字の便り 町山崎 石堂 京子
兄ら征き貧しく農の手足らじとわが進学を父許さざり 田島 鎌田 スエ
汁の実に好みし夫を頭たせつ握るほどなる初つばをむく 牧川 有留よし子

今回は、お年玉付き年賀はがき当選で、種子島ではただ一人、五〇万枚に一枚という幸運を手にした西川さんを訪ねました。

——お年玉おめでとういおめでとうございます。二〇万円の海外旅行券ですね。
△今でも信じられぬです。二人の娘が新聞の当せん番号と照合してたんです。それならいきなり大当で「お父さんお母さんたいへんだよ。一等に当たってるよ」と叫びながらです。まさかと思って確認したんですが、いやー驚きましたね。

——どなたからののがきたんですか。
△垂水にいらしたこの松原中さんからののがきてた。今年は全部で二五〇通ほど来たんです。

つくり置きたいと思ます。仕事の合い間に妻と二人で行きたいと思ひます。

◆ 思いがけないお年玉を手にした



がこんなこともあるんですね。——もう、旅行先は決めてるんですか。
△いえ、まだ決めていません。今仕事も忙しうし、これから中



〈4月の主な行事予定表〉 (中公は中央公民館)

6日・小・中学校始業式、入学式
・牛牛セリ市(7日まで中央家畜市場)
・春の全国交通安全運動(15日まで)

7日・中種子高校入学式
・世界保健デー
・転入職員宣誓式(午後3時から中公)

10日・新旧区長・部落会長会(午後3時から 中公)

18日 発明の日

19日 文化協会理事会(午後2時から中公)

20日 福寿大学開講式(午前10時から中公)

22日 町野球場こけら落し
・金田正一氏による記念講演(午後1時から町立体育館)
・記念試合(鹿商×中高 午後3時から)

28日 自治公民館長研修会(午後1時から中公)

29日 みどりの日

水辺の生きものシリーズ ⑬

ヤオニ (ガンガゼ)

あなたと町政をむすぶ

平成元年5月2日発行

No.402

広報

NAKATANE KAGOSHIMA

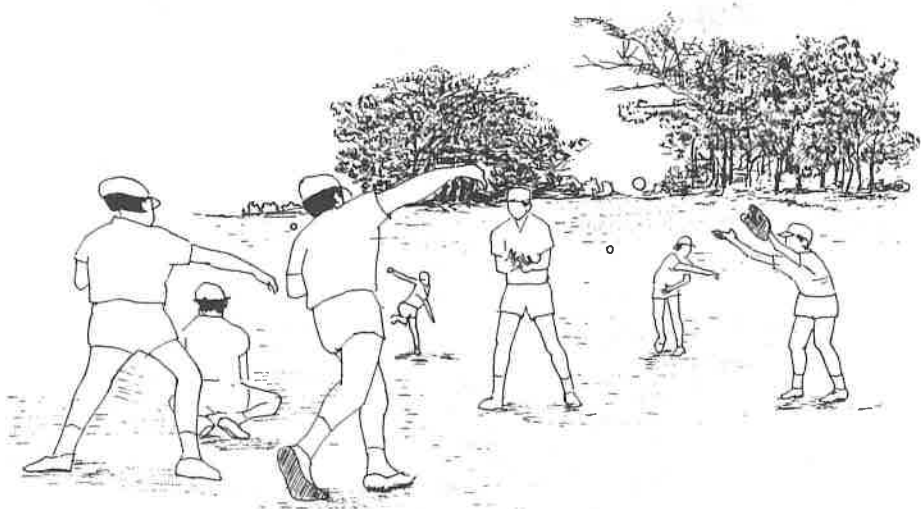
なかつたね

元年5月号

発行 鹿児島県中種子町役場

編集 企画課広報係

☎ ⑦-11111(内線59)



「おーい。いくぞ」
「いいよ」「あれっ、もっど大きく」
「あー、ごめんごめん」
新緑を背景に、子どもたちのキャッチボール。汗っぱいの顔が輝いている。のびのびとした手足が弾んでいる。

さまざまなかんやんちボールがある。兄から弟へ、弟から兄へ、生徒から教師へ、教師から生徒へ、子から親へ、親から子へ、毎日がキャッチボールだ。

手から手へ、言葉から言葉へ、そして心から心へ力を込めて投げないで中途半ばに終わってしまおう。ボールをまっすぐ見すえたいとすり抜けてしまおう。何が本当なのか。何を言いたいのか。堂々といさぎよく投げなければ相手に届かない。真剣にしっかりと受け止めなければ相手の痛みが解らない。すり抜けたボールを追うのは大変だ。草むらにまぎれたボールを探すのは大変だ。

想いを込めて精いっぱい投げてこい人。正面から受け止めて受け止めてこい人。きんごん何かが伝わってくる。

—人口のうごき—
総人口…11,080人(-185)
男 … 5,275人 (-82)
女 … 5,805人 (-103)
世帯数… 4,149戸(-1)
出生… 3人 死亡… 5人
転入… 54人 転出… 237人
() は先月との比較
—4月1日現在—

2月19日～3月18日受付

おめでた

「こんにちは 赤ちゃん」



氏名 保護者 住所
山田 聖也 昭原 八千代 上野町
田中 沙耶 菅 三郎 横町
長 昭一 真由美 中田町

いつまでも お幸せに
氏名 住所
堀浦 昭二 梶 所
宮原 順子 西之山
馬場 賢治 郡 原
下村 エミ子 西之義市
古元 浩一 西之義市
潮 りえ子 温屋
徳水 隆志 西之義市
鎌田 俊江 竹屋野

おくやみ

申し上げます

奥野未幾 恵二 伏之前
美園 朴 ナツ 横町

社協だより

次の方々が町社会福祉協議会へ、金一封を寄付されました。これらの善意に感謝するとともに、つつしんで故人のごめい福をお祈りします。

氏名	故人	住所
細山ツギ	兼三	田島
林ハル	良道	深久保
下敷領照子	章	上方
白石豊盛	シマ	新町
福山美津子	深山シマ	伏之前
徳永栄人	深田シマ	牧川
浦口哲馬	ナカ	中山
上妻博	カノ	本村
田中祐徳	キノ	輪之尾



園土緑化運動

集後記

▼今年の冬は特に暖かった。吐く息が白く見える日が少なかった。地温は上昇し、畑作、特にオーギの芽立ちには幸いしたようだ。

▼過去から受け継がれてきた農事暦も、天候で大きく変えられる。臨機応変に成長する苗と、用水路の水とのにらめっこが続く。

資料館だより

梶渕大火百年記念碑



この大火の百周年に当たり、今後とも火災を起さぬよう住民の自覚を促すために、塩釜神社階段の登り口に御影石の記念碑を建て、郷土芸能(ヤートセー)が奉納された。(朝)

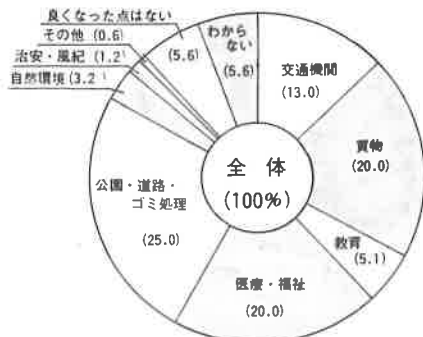
碑文(上段)
文政十年十一月三日、坂井村梶渕の塩釜、施風大いに起りて塩屋を壊り、火を煽りて人家ごとごとく焼す。漁舟を空中に掲げ、或いは水中に落し、或いは石上に落し、或いは破り、或いは潰す。皆云ふ。雷竜起るかと。人馬手札等つつがなし。事、官に聞す。

(註)今から百六十年ほど前藩政時代の塩屋部落 3竜巻 4水中にひそんでいる竜 5薩摩藩に届けた)

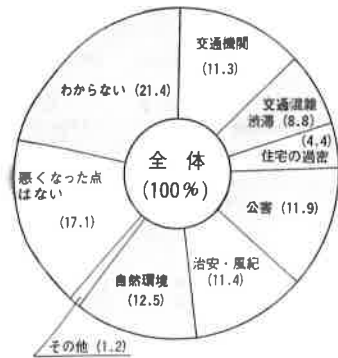
下段は部落の沿革史から引用したものである。梶渕塩釜の始まりは享保年間(一七三〇年前後)と言われるが、百五十年余り続いた製塩業が、明治二十年、大火を機に中止され部落民は農業に専念するようになった。

昭和六十二年二月十五日 梶渕部落建之 上段の文面は種子島家譜、

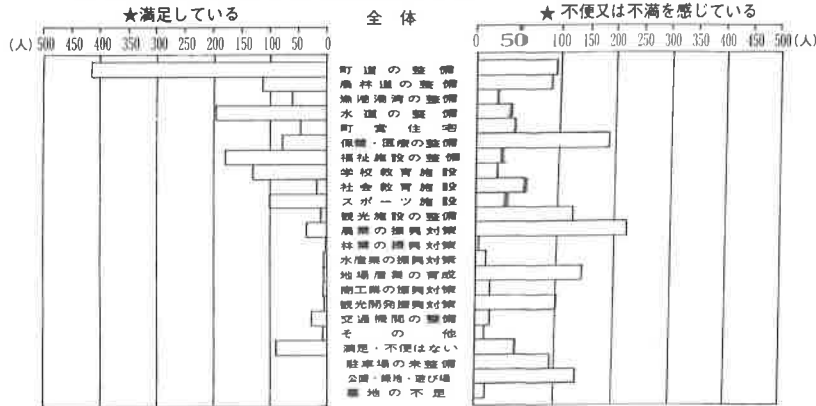
【4、5年前と比べて中種子町全体の居住環境で良くなった点は何かと思いますか】



【4、5年前と比べて中種子町全体の居住環境で悪くなった点は何かと思いますか】

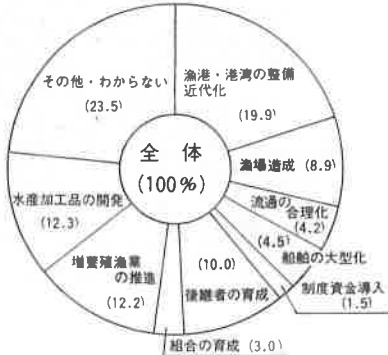


【生活環境の整備及び産業の振興対策などの現状について、満足しているもの、不便又は不満を感じているものは何ですか】

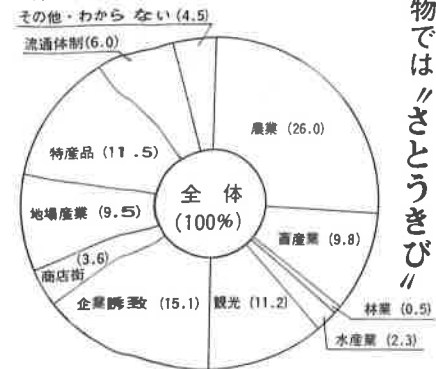


産業では「農業」
作物では「さとうきび」

【水産業の振興対策として、今後何に最も力を入れる必要があると思いますか】



【産業の振興対策としては、今後何に最も力を入れる必要があると思いますか】

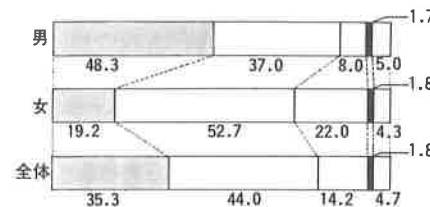


特集

わたしはこう思う

町民意識調査から

【町行政に対して、どの程度関心を持っていますか】



- 非常に興味を持っている
- 多少興味を持っている
- あまり興味を持っていない
- 全く興味を持っていない
- わからない

町では今年一月、町民意識調査、出郷者アンケート調査、そしてふるさとづくりアイデア募集を行いました。これらの調査は、平成二年度から三年度までの十年間、町行政を方向づける第三次長期振興計画を策定するにあたっての貴重な資料になります。本紙では、この結果を抜粋し、シリーズでお伝えします。今回は、この中から町民意識調査の結果をグラフでお知らせいたします。

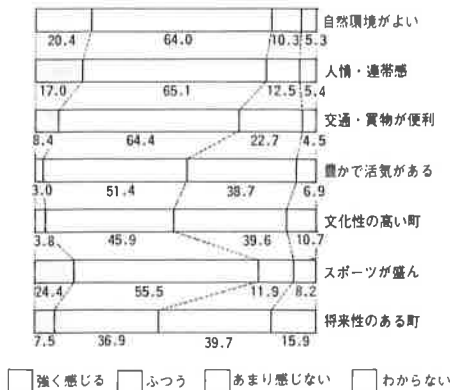
調査対象は九〇〇人。このうち回答があったのは八〇〇人の七二五人でした。

町民意識調査は、15歳から70歳以上までを、5歳をきり11段階に分け、それぞれの年齢層ごとに各部落から1割の割合を無作為に選んで行われました。

中種子町

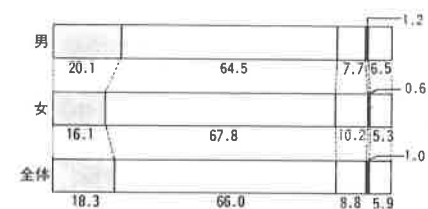
84パーセントは住みよい町だ。

【中種子町をどんなまちだと思いますか】



- 強く感じる
- ふつう
- あまり感じない
- わからない

【中種子町は住みよいまちだと思いますか】



- 非常に住みよい
- どちらかといえば住みよい
- どちらかといえば住みにくい
- 非常に住みにくい
- わからない



家屋の全棟調査

八つあん、熊さんの税問答

熊吉 「おい八つあん。けさがた役場の通知が回ってきてよ。〇月×日に家屋調査に来るから、定められた時間には家を留守にせんでおいてくれとのことだ」



熊 「そりゃあいかん。どうい理由で不公平になっているんだ」

新築した家比べて、昔からの分限者どんの大きくて立派な家の固定資産税の方がずつと安いとか同じ家屋でも近年にやんだした(増築した)部分の税金の方はずつと高いなどという不満の声を耳にする。借金してやつと建てた家なのに、税金まで不公平とは、こりゃあふんだけけつたりだてなわけよ」

八つあん、熊さんの会話にもでてきたように、役場税務課では、今年七月から全棟調査を実施することになりました。平成元年度は星原、納官、および増田の二部まで実施する計画です。

もの知りだねエ。これで今回の全棟調査への疑問が解消した。忙しい身だが、まあ四十分ぐらい我慢しよう。その時間にはかかあを家におらせることにしよう」

八つあん、熊さんの会話にもでてきたように、役場税務課では、今年七月から全棟調査を実施することになりました。平成元年度は星原、納官、および増田の二部まで実施する計画です。

許しません、白い粉

「麻薬・覚せい剤等の撲滅に協力をお願いします」



茶摘み

平和な家庭生活を破壊し、心身を蝕む恐ろしい覚せい剤等(白い粉)輸入は、外国からいろいろな方法で密輸入されています。税関では、これらの社会に害を及ぼす物品を我が国へ入れないために、水際で取り締まっています。

密輸一〇番 (0992) 26-3366 鹿兒島税関支署 鹿兒島市城南町四五一二

町職員異動(退職者)

▽島さゆり(収入役室) 2月17日付)▽梅本弘枝(あかつき学園) 3月31日付)▽宮原順子(町民課) 3月31日付)▽重野繁俊(給食センター所長) 4月18日付)

農地の無断転用をなくそう

「農地」は農家の財産という面のほかに、農業の基盤という社会的な役割ももっています。農地などを住宅や工場など建物の敷地、資材置場、駐車場、道路、山林など農地以外の用途に使うことを農地転用と言います。

最近、農地が無断転用で荒らされ、地域の農業や農村を健全に繁栄していくことができなくなっています。わが国の農地は年々減少し、耕地の利用率も低く遊休農地も増える傾向にあります。そこで農業委員会では全国的に「農地を守り有効利用する運動」を進めています。無断転用

新区長・部落会長決まる



平成元年度の新区長、部落会長の名が次のようにそろいました。一年間、校区や部落のために「尽力」されます。

(敬称は省きます)

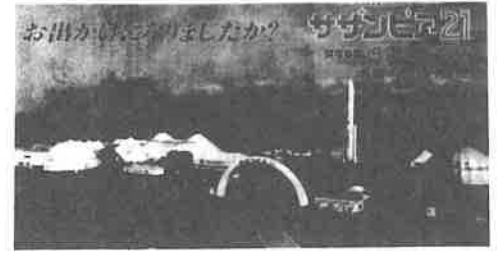
- 区長 (野間) 石堂好夫 町山崎 (星原) 日高幸保 坂元 (増田) 峯下博己 古房 (南界) 半渡 健 東目 (油久) 中野照雄 向町 (岩岡) 永浜隆壽 阿高磯 (納官) 春田豊一 平鍋 部落会長 (牧川) 松下岩夫 77 (浜津脇) 有馬稔雄 115

- (坂元) 杉村敬治 34 (上之城) 徳永正人 17 (広野) 村田和政 3 (竹之川) 野政 一夫 25 (砂中) 重政 良 11 (深久保) 金城栄祐 11 (宝来) 堅山清元 44 (原之里) 園中時徳 60 (春田) 春田三生 25 (二十番) 岡本盛雄 65 (池之平) 浜添時春 30 (秋佐野) 南 増雄 31 (向井町) 牛原 忍 16 (戸畑) 深田淳一 8 (中之町) 塩屋 一郎 75 (郡原) 上門正盛 61 (古房) 牧瀬敏則 66 (中山) 山口三徳 72 (大平) 隅田義広 51 (池之向) 泊 達彦 22 (伏之前) 田中春雄 112 (上方) 石堂実彦 31 (横町) 照沢積二 205 (松原) 山元ツギ 24 (栄町) 井元森蔵 50 (高田) 元山幸男 133 (阿山崎) 寺田洋一郎 47 (阿曾) 上門眞夫 91 (竹屋野) 鎌田静哉 9 (高峯) 有村信雄 25

社協からの お知らせ ●日赤社員増強月間 五月一日から三十一日まで日

行政相談

平成元年度春季行政相談週間 5月15日～5月24日



本赤十字社員増強運動が展開されます。本年も皆様のご協力をお願いいたします。 ●香典返し用品(お茶)の値段が一定 現行の一個三四〇円が消費税導入などにより三六〇円に改定されます。実施は五月一日から



ランニング・レポート

タンカンで交流

農家の子どもたちが一筆



全国各地からの便りに目を通す職員

農協では、今年からタンカンに子どもたちの便りを添え、全国に送り出しました。

「タンカンはこのだれが作り、だれが食べるのか」、顔の見える販売を」と始めたこの作戦。大人がつくるチラシに変わり、子どもたちの便りをタンカンの箱や袋に入れました。便りを書いたのは町内タンカン農家の子や孫たちで幼稚園から中学生までの十五人。「おじいちゃんたちといっしょけんめい

農協では、今年からタンカンに子どもたちの便りを添え、全国に送り出しました。

「タンカンはこのだれが作り、だれが食べるのか」、顔の見える販売を」と始めたこの作戦。大人がつくるチラシに変わり、子どもたちの便りをタンカンの箱や袋に入れました。便りを書いたのは町内タンカン農家の子や孫たちで幼稚園から中学生までの十五人。「おじいちゃんたちといっしょけんめい

この無線通信システムでは、農林水産物の生産・流通に関すること、火災・台風などの非常事態に関する予報や警報、地方行政事務に関することなどの一般通信や緊急通信などを行います。

一般通信には定時と随時通信、それにチャイムがあります。定時通信は必要がある時、毎日午前六時三〇分（ラジオ体操も）と午後七時一五分に放送されます。また、チャイムで、毎日午前七時、十時、正午、午後三時、五時、六時（夕やけ小やけ）に時報をお知らせしています。

この秋には残された屋外受信施設十五基と、宝来など二十三の部落に個別受信器がそれぞれ設置され、全域に情報連絡網が完備されることとなります。

このほど養護学校の児童生徒が福寿園を訪れ、お年寄りに劇をプレゼントしました。

これは二年に一回行っている交流で、お年寄りもこの日を楽しみにしていました。

この日は同校の子どもたちが学習発表会で演じたものの中から、小学部は「ジャックと豆の木」、中学部は「うらしまたろう」を披露しました。子どもたちの熱演に、おじいさんおばあさんから暖かい拍手が贈られ、

いちご栽培について説明を受ける委員ら

農協では、今年からタンカンに子どもたちの便りを添え、全国に送り出しました。

「タンカンはこのだれが作り、だれが食べるのか」、顔の見える販売を」と始めたこの作戦。大人がつくるチラシに変わり、子どもたちの便りをタンカンの箱や袋に入れました。便りを書いたのは町内タンカン農家の子や孫たちで幼稚園から中学生までの十五人。「おじいちゃんたちといっしょけんめい

農協では、今年からタンカンに子どもたちの便りを添え、全国に送り出しました。

「タンカンはこのだれが作り、だれが食べるのか」、顔の見える販売を」と始めたこの作戦。大人がつくるチラシに変わり、子どもたちの便りをタンカンの箱や袋に入れました。便りを書いたのは町内タンカン農家の子や孫たちで幼稚園から中学生までの十五人。「おじいちゃんたちといっしょけんめい

農協では、今年からタンカンに子どもたちの便りを添え、全国に送り出しました。

「タンカンはこのだれが作り、だれが食べるのか」、顔の見える販売を」と始めたこの作戦。大人がつくるチラシに変わり、子どもたちの便りをタンカンの箱や袋に入れました。便りを書いたのは町内タンカン農家の子や孫たちで幼稚園から中学生までの十五人。「おじいちゃんたちといっしょけんめい

歓迎式での自己紹介



ランニング レポート

こちら ぼうさい中種子町役場です

防災無線が一部運用開始



4 役場庁舎屋上に立つ観測の無線

役場をはじめ、町内二十二か所に設けられた屋外スピーカから、お知らせやチャイムが流れています。

これは、防災行政用無線局（農村情報連絡施設）で行われているもので、屋外受信装置を通じて放送されています。

昭和六十三年度と平成元年度の二か年計画で取り組まれているこの事業は、農業構造改善事業の一環で、農林水産省の補助を受け、住民の生活に必要な情報をより早く、より広く提供するために進められ、今年十月末の完成を目指しています。

現在まで、役場の親局をはじめ、二十二基の屋外受信施設と公用車十一台に移動局が設置され、四月十七日から一部運用されています。



役場の無線室、担当の牧瀬さん

この無線通信システムでは、農林水産物の生産・流通に関すること、火災・台風などの非常事態に関する予報や警報、地方行政事務に関することなどの一般通信や緊急通信などを行います。

一般通信には定時と随時通信、それにチャイムがあります。定時通信は必要がある時、毎日午前六時三〇分（ラジオ体操も）と午後七時一五分に放送されます。また、チャイムで、毎日午前七時、十時、正午、午後三時、五時、六時（夕やけ小やけ）に時報をお知らせしています。

この秋には残された屋外受信施設十五基と、宝来など二十三の部落に個別受信器がそれぞれ設置され、全域に情報連絡網が完備されることとなります。

高校を卒業して、たくさんのお年寄りがふるさとを後にするのは、たいへん寂しいことです。

戦後間もなくベビーブームが起こり、本町の人口も約二十万人に膨らみました。しかしその子もやがては都会へ。

さて、現在全町民の中で何歳が一番多いのでしょうか。下の表は三月三十一日現在の統計です。ちなみに今年度中種子高校を卒業した生徒は百四十九人で、

ごぞんじですか。いちばん多いのは何歳の人？

このうち島内に残ったのは十四人ということでした。

年齢別人口ベスト5				
順位	年齢	男	女	計
1	56歳	116人	96人	212人
2	53歳	102人	105人	207人
3	51歳	102人	101人	203人
4	63歳	89人	103人	192人
5	54歳	103人	87人	190人
	59歳	94人	96人	190人



「うらしまたろう」の熱演

中種子の印象は 転入職員歓迎式

平成元年度の教職員異動により、本町の小・中学校に、新採六人を含む二十五人の先生方が赴任しました。

来島間もない四月七日、転入した先生方を迎え、恒例の歓迎式が中央公民館で行われました。自己紹介の中、転入した先生方は、中種子の印象に交え今後の抱負を力強く述べました。



歓迎式での自己紹介

園芸はやる気だ

議会の経済建設委員会（柳田光宏委員長、委員七人）では、本町の園芸作の振興策を研究するため、閉会中にも継続して調査しています。

四月十三日は、農業改良普及所の案内で島内を取り組んでいるピワ、いちご、レザーフアン、メロン栽培、そして南種子町浜田の大規模なハウス施設建設現場を熱心に視察しました。

視察を終え柳田委員長は「足もと種子島の園芸の実態はどうだろうか。そのことを足で確かめたかったんです。厳しいと言

われる農業だけに、思い切った施策を講じる必要がありますね。作物ごとにやる気のある専業農家を徹底指導し、実際にお金を取らせることが大切です。このような農家の育成が花嫁対策にもつながると思います」と、これから園芸振興に力強い意欲をうかがわせました。



いちご栽培について説明を受ける委員ら

あなたと町政をむすぶ

広報

NAKATANE KAGOSHIMA

なかなね

平成元年 6月5日発行

No.403

元年 6月号

発行 鹿児島県中種子町役場

編集 企画課広報係

☎ ⑦-1111(内線59)



大きな木がある
堂々と悠々と立っている
幹に優しく立っている
祖母がつぶやく
「どんなが ちっか時から こがんあったらーなああ…」
孫は言う
「じゃあ、この木は おばあちゃんより 歳をとってるんだね」
曾祖母が加える
「どんなが ちっか時もこがんじゃったろう…」
ひ孫は驚く
「それじゃ この木は 百年も二百年も生きてるの!」
二代、三代と受け継いだ生命を
この木は一つの生命のままに 今もいる
二代、三代と重ねた時の流れを
「ぼくが おじいちゃんになっても
ここに このまま あるといいね」
子どもは 見上げる
そうね
あなたは孫に話してあげなさい
「この木は おじいちゃんが こどもの頃からあったんだ
よ 朝、この木を見ると元気が出てくるんだ この木のよう
うに大きく強くなりたいたいと思った 夜はね この木が話
しかけてくるようだった強くなるってことは難しいぞ…
本当に強いつてことは大変なことなんだぞってね」
数えきれない星を背なかに
数えきれない春夏秋冬をたくわえて
今夜もまた 大きなふところを広げて立っている

3月19日～4月18日受け付け
おめでた
こんには 赤ちゃん
氏名 保護者 住所
高橋 希菜 藤ノ木 旭町
古市 一成 藤ノ木 旭町
里居 伸晃 藤ノ木 旭町
日高 美樹 藤ノ木 旭町
光 純子 藤ノ木 旭町
西田 良輔 藤ノ木 旭町

人口のごき
総人口…11,159人(+79)
男 … 5,320人(+45)
女 … 5,839人(+34)
世帯数… 4,155戸(+6)
出生…11人 死亡… 8人
転入…189人 転出…113人
()は先月との比較
5月1日現在

（牧瀬 守 本村 西之山）
おくやみ 申し上げます
故人 年齢 住所
向井 チヨ 93歳 塩屋
籾山 直志 82歳 旭町
里 とも夫 66歳 上方
石堂ツナミ 73歳 南界園
折戸 邦夫 59歳 梶淵

次の方々が町社会福祉協議会へ、金一封を寄付されました。これらの善意に感謝するとともに、つつしんで故人のごめい福をお祈りします。

氏名 故人 住所
向井 正 チヨ 塩屋
籾山 孝太郎 直志 旭町
柳 市助 里とら夫 横町
松下美智子 石堂ツナミ 伊原
折戸 ユキ 邦夫 梶淵


社協だより
今年やいなしかーかいまア。こがん年もあるもんじゃ。ポンプを掘り付ける納言浦の農家。ポンプは新品。ここの大川には十台近い新しいポンプが静かに動いている。「人を救はんやうから、ポンプをやるわけーにやーいかんじや」と、隣のポンプに合わせ運搬がけに回す。町内の大きな田浦では、時期はや遅れたもの、どうにか田植えを終えることができたが、納言浦をはじめ、黒原、大平、峯園など四月中旬にのりても代あけす四月中ない田んぼが目につく。つかの間の雨を利用して植えても、水の供給を持続できず、大川にある少しばかりの水に頼る。

▼やはり今年には極端に雨の少ない春だった。三月の雨量をみると、61年は34、62年は38、63年は88、(四月には多かった)、そして今年には88。62年の四分の一にも及ばない。

畦に立ち、空を見上げながら「10万円ポンプを買った方が良かった」とにがやうの農家。言葉とは裏腹に、やはり田んぼを見捨てることはできないようだった。

史料館だより 122
長寿林之碑(原之里)
この長寿林を部落に返還した。
昭和四十年前後現在の老人クラブ結成に際して、正式名称を原之里長寿老人クラブとした。昭和六十年一月十二日には、原之里長寿老人クラブ結成三十周年記念祝賀会を行った。(潮)

碑文「昭和三十年二月十五日 原之里部落六十以上の者が長寿会を結成。部落民字係の島南場子に、同年二月二十八日造林し長寿林と命名する。長寿会は、長寿林を部落に返還し、老人クラブを設立し、老人クラブを確保することを条件に、この長寿林を部落に返還した。昭和四十年前後現在の老人クラブ結成に際して、正式名称を原之里長寿老人クラブとした。昭和六十年一月十二日には、原之里長寿老人クラブ結成三十周年記念祝賀会を行った。(潮)」



PART 2

ふるさとづくりアイデア募集

目をさませ中種子の農業

優秀賞 岩下徳蔵さんの提言



先月号からシリーズでお伝えしています特集「わたしはこう思う」。今回はふるさとづくりアイデア募集で応募いただいた中からいくつかを紹介いたします。

ふるさとづくりアイデア募集は、町民意識調査、出郷者アンケート調査と同様、今年一月に行われ、21世紀の中種子町の創造に向けての町の再開発、産業の振興などについて、町民や出郷者から広くアイデアを募集したものです。

三月末の締め切りまでに応募のあったのは六十九人で、審査の結果、鹿児島市在住の岩下徳蔵さんが優秀賞に選ばれました。

山川町、頸掛町に次ぐ県下三位の豊かさを長く保持してきた中種子町。しかし、昭和62年、その順位はわかしに9位へと転落したのである。これは町平均一戸当たりの生産農業所得の順位であるが、私はその順位の低下に退潮へのかすかな足音を聞くのである。

もちろん当年度さまざまな現象要因もあると思うが、過去数年間の実績を見ると、これが決して一過性のものでないということが分かる。すなわち昭和59年を100とした指数では、60年98、61年94、62年81と数値が示すように、確実にマイナスの傾向を示しているからである。

従来、中種子の農業は「いも、きび農業」と言われてきた。今後もこの基本姿勢は、農家サイドにおいても容易に変わらないだろう。しかし、今農業情勢は

急変しつつあり「いも・きび」のうち、特にいもについては見通しが非常に暗い。内外状況の好転が期待できない反面、家計費の上昇は極めて急ピッチで、そのアンバランスは年々ともに拡大している。

「いも・きびに早急の検討を」。すでに農家は、何とかしなければという焦燥にかられている現状だと思っている。行政や関係機関の早急、かつ大胆にこの検討が試されることを期待して止まない。

さて、専作から複合へという展開を前に、当町の農業環境について、その概要を述べておこう。中種子町は、耕地条件、規模、土壌組成、気象的条件からみて、県下でもひげをとらない。また、農業従事者の高齢化も大きく社会問題化しているが、当町においても否定しないまでも県下においては若い方の上位にランクされている。

中種子町の農業多様化の道、それは開かれているのであるろうか。

特集

わたしはこう思う

岩下さんの提言は「中種子町農業多様化の論」をテーマに、果樹農業の機軸(びわ・パッションフルーツ)、施設型農業の機軸(アールスメロン、簡果用甘藷)、グルメ時代への対応(はませり、たらの芽、みょうが)、薬用植物ブームの先取りと続きます。市場動向や立地条件などと詳しいデータから、中種子町の有望性を指摘しています。紙面の都合上省かせていただきますが、岩下さんは最後にこう結んでいます。

農業を無視して

自治体はない

農業の崩壊は、地方自治体の崩壊に外ならない。何としても農業は存立させなければならぬのである。だが、それらを阻害する多様な要因が存在することとは否定できない。しかし、人間がいかに文明を獲得したとしても、人々が食物を採取し、代謝する基本節理を放棄することはない。その採る物が国内産か外国産かの違いはかない。国民は今、輸入品の安さ?と安全性を不安な眼差しで見つ

めている。やがて「やはり国内産だ」という方向に流れても、それまでに国内農業生産機能が崩壊していないかという懸念がある。

こうした高い次元での懸念を云々するまでもなく、当町にとつてさし迫った課題、それはたびたび指摘しているように、いも・きび専作でほかを顧みない農家の体質を改善することである。

いま私は、いも・きび以外の小回り農業の若干を述べたところだが、当町の基幹作物たるさとうきびをどうも疑うものではない。それが全てであってはならないと言いたいのである。私のささやかな提言が多少とも生かされれば幸いである。

野間中一年(現在二年)のみなさんも中種子の未来にいろんな希望を抱いています。

- 一日中遊べるような遊園地をつくってほしい。
- 文化ホールをつくってほしい。(スポーツは盛んだが文化行事が少ない。コンサートや演劇などたくさん)

始良町にお住まいの教員田畑盛嗣さんは、産業、教育、文化、観光、福祉にユニークなアイデアを寄せました。この中から観光について紹介いたします。

- 高速フェリー港を町内にも設置する。
- 不可能な場合、一市二町をセットした観光コースの見直し。
- 中種子町だけでしか体験できない目玉観光を再考。
- 塩田跡を再活用ー塩づくり体験ツアー(できた塩は後日、宅配でふるさと便として特産品といっしょに郵送する)

東京では種子島は知っていても中種子町を知っている人はほとんどいません。一市二町を併わせ、種子島市を結成してはどうでしょうか。

ものを観賞したい)

- 大きな図書館がほしい。(勉強できる落ち着いた感じの建物。気がるにたち寄れるもの。利用する人はたくさんいると思う)
- さとうきびのジュースをつくらせてほしい。
- リアモーターなど西之表市と南種子町をモノレールでつ

ないでほしい。

- 町内にひとつでいいから大きなデパートを。
- 道路沿いや街に木や花をたくさん植え、自由に歩ける所をつくる。
- 暗い場所が多いので、街灯をたくさん取り付けてほしい。
- きれいで楽しめる海岸を。

牧川の市町境付近を

○船あげ場の丸木舟と丸太小屋は、港湾管理上問題もあるがこのまま保存活用を希望したいものだ。

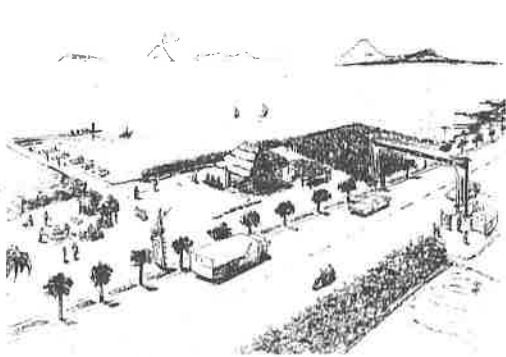
○市町境という地の利を生かし「閑所」をもうけ、通行手形で中種子村に入围するパロディーはどうか。

○老人クラブの協力で磯釣り、磯遊び道具の貸出し、ワラジなどの手芸品の販売、ゲートボールの交流はできないものか。

特集

わたしはこう思う PART2

ふるさとづくり自主研究会…役場職員



国道や街路は

○かつて大々的にヤシ並木、カンナ通り、ブーゲンビリアなどが植えられ、南国的イメージがもたれ、好評であった。近年道路拡張や台風災害などで回復されていないのが実態ではないだろうか。

長浜砂丘海岸を

○潮すじがネックで海水浴場に活用できないが、延々十二*尺の砂丘を活用しない手はない。

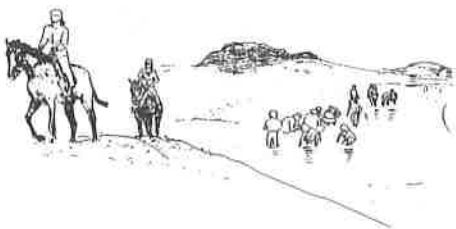
○「ハマグリ」を魅らせることはできないものか。

○昔の交通手段として使われていた馬を活用できないか。

○砂丘地の広大な空間を利用しての海洋・海浜スポーツ、レクリエーション施設を。

・夕日を眺めながら野外卓での磯（砂）遊びバーティー。

・早馬大会、ジョギング大会、サンドバギー大会、スカイパラシュート大会、サンドゴルフなど。



矢止め石 日本一の大ソテツを

○矢止め石の由来は碑に記されているが、一方でこの神社のご利益を強くアピールしたい。

○石碓周辺の公園を利用してミニの弓で放つ、いわゆる「矢止め石」のストーリーを体験させてはどうか。

○日本一の大ソテツと対称的にミニソテツとか、ソテツの実のみやげ品があってもいいのでは。

ふるさとづくりアイデア募集にご応募いただきありがとうございます。ありがとうございました。

町民や出郷者の方々が、21世紀の中種子町にさまざまな未来像を描いています。紙面では一部を紹介しましたが、ほかにもユニークなアイデアが多数寄せられています。これら貴重な提言は、今後、町行政を方向づける長期振興計画や、各種事業の推進に反映されていくこととなります。

お知らせ



ランド

危険住宅移転事業

この制度は
がけ地の崩壊、土石流、地すべり、津波、高潮、出水などにより、住民の生命に危険を及ぼすおそれのある区域内に建っている危険住宅を、安全な場所に移転を促進するため、国と地方公共団体が経費や補助金を交付する制度です。

- 補助金は
①危険住宅の撤去費用及び移転などに要する費用。(限度額六十六万円)
- ②新しい住宅の建設(購入も)のため、金融機関から融資を受けた場合、借入金の子相当額。(限度額四百八十五万円、土地の取得を要しない場合三百二十一万円)

予約受付中

・「鹿児島県統計年鑑」本県の人口、経済、社会、文化など各分野の基礎資料を年次別・市町村別に詳しく掲載。六千円。

・「鹿児島県勢要覧」県勢の概要を統計グラフ(カラー)などを用い、わかりやすく紹介したコンパクト版。千円。

・「かごしまのすがた」郷土鹿児島県の概要が一目でわかる多様な統計グラフと最新の全県地図で構成。各種会議などのパンフレット、ガイドマップとしても好適です。三百円。

▽お申込みは役場企画課統計係または、鹿児島県統計協会(県統計課内)

作品募集

鹿児島島のすぐれた自然環境をいつまでも大切に守っていくことと「自然保護月間」を8月1日から31日までの一か月間定めています。

自然保護に対する児童・生徒の理解を深め、あわせて県民の啓発に資するため県内の小・中・

高校生からポスター・標語及び作文を募集します。

○応募方法
①用紙は画用紙B3(304×515)を用い、ひとり一点とする。
②「自然保護」または「しぜんほご」以外の文字は入れないこと。
③裏面には学校名、学年、住所、氏名を記入し氏名にはふりがなをつける。
④標語はB5(182×257)を用い、ひとり一点とする。
⑤作文は四百字づつめ原稿用紙五枚以内とし、ひとり一点とする。
⑥作文には表紙をつけ、表紙に学校名、住所、氏名を記入する。
⑦学校単位の応募を原則とするが、個人で応募してもよい。

○しめきり期日 元年6月15日

○送り先 鹿児島市山下町14-50(〒892-152)鹿児島県保健環境部環境管理課自然保護係

○発表 七月下旬に新聞などで発表。(本人には学校経由で通知します)

電波法違反防止旬間

6月1日～10日

ルールに従わない違法無線機などから発射される電波は、ほ

かの通信に妨害を与えます。電波はテレビ、ラジオをはじめ、国民生活に重要な役割を果たしています。電波は免許を受けて正しく使いましょう。

電波に関するご相談は、九州電気通信監理局まで。〒862 熊本市健軍町小塚2614の2 ☎096-1368-16863

無料 交通事故相談

電話のご相談もお受けします ☎0992-152-3466(直通)

相談日…月曜から金曜午前9時半から午後4時40分まで。専門の相談員が親身になってご相談に応じます。

弁護士相談日…毎週水曜日午後1時から4時まで。(鹿児島自動車保険請求相談センター)

集中豪雨がやってくる

土地改良施設を
大切に使う
みんなの力で
まもりましょう。

サービス業基本調査 事業所統計調査を実施

七月一日現在で全国一斉に、サービス業基本調査と事業所統計調査が実施されます。

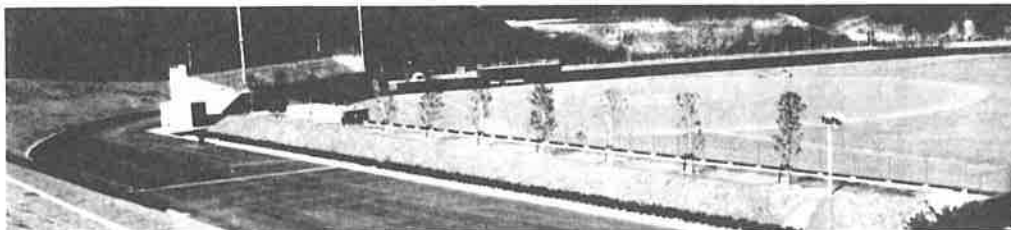
サービス業基本調査は、サービス業の活動の実態を明らかにするために、事業所の事業内容、規模等の項目について調査するものです。

また、事業所統計調査は、昭和六十一年度の前回調査時点から、三年経過しており、その後の変動状況を把握するために調査するものです。

いずれも国勢調査同様、国の基本調査の一つで、調査結果は国や地方公共団体の産業・経済政策等の基礎資料として、地域開発計画・都市計画・雇用対策等に利用されます。

六月下旬から七月上旬にかけて統計調査員が個別に事業所を訪問し、調査票を配付・回収することになっています。

皆さんのご協力をお願いします。



町営野球場が完成

盛大にこけら落とし

中種子町中央運動公園事業は昭和57年度から順調に進められています。

この事業では、野球場、陸上競技場、テニスコートなど数々の体育施設の建設が計画されていますが、このほど、第一番手として、野球場が完成しました。

この野球場は、総額三億六千三百万円をかけた本格的なもので、両翼92m、センター120m、スタンドには観客二千二百七十人を収容できます。

四月二十二日は、野球ファン待望のこけら落としが盛大に行われました。この日はあいにくの雨に見舞われましたが、記念式典会場の中央公民館では、大勢の関係者が出席し完成を祝いました。あいさつの中、松下町長は「町民スポーツの振興に大きく貢献するよう効率的な運営をはかりたい」と述べ、プロ野球のキャンプ地の誘致に向けても積極的に取り組む姿勢をうかがわれました。

式典の後、同会場では野球評論家金田正一さんの記念講演が行われ、会場にはおよそ千二百人の聴衆が詰めかけました。講演では、184年・85年の現役時代とほとんど変わらない大きな体で、国鉄時代や巨人軍入団の体験など、波乱万丈の野球人生に熱弁をふるっていました。金田さんは特に「私は、この五体を与えた両親に感謝している。一番重要なことは、自分の体は自



迫力あるジェスチャーと、マイク無用の大きな声で聴衆をひきつける金田さん

分で大切に養っていただく」と強調。聴衆を深く感銘させました。娘の正子さんと日掃りの予定で来島した金田さん。恵天候の



講演の後、町長室でくつろぐ金田さん親子

ため一泊を余儀なくされました。翌日、「お忙しい中、ご迷惑をかけた。少しでも長く留めたいと言おう町民の願いでしょう」と町長が切り出すと、「欠航じゃ仕方ないですよ。いやあいい思い出になりました。ゴルフ場ができたら遊びに来たいですね」といった金田さんでタラップに向いました。

完成記念試合 鹿商 VS 中高



二十二日講演終了後予定していた、鹿児島商業高校と中種子高校との記念試合も雨のため翌二十三日に延期されました。町長の始球式の後、高校生のはつらつとしたプレーにスタンドから声援が贈られました。

鹿児島商業は、甲子園に過去23回出場の実績をもつ野球の名門校。監督の塩瀬先生は、昭和53年から五年間中高で教鞭を執った経験があります。この日も教え子たちがスタンドで観戦しました。

試合は鹿商が圧勝しましたが町内外からの高校野球ファンを大いに楽しませました。

▲町長の始球式、左腕からのスコアボードはストライク

中央運動公園整備事業は現在四百坪トラックの陸上競技場を建設中です。完成は平成二年度を予定しています。



ブルベン前の鹿商ライン。左端は道瀬監督

使用者区分	社会人	学生・児童・生徒
練習の場合	2時間まで1,000円とし1時間を増すごとに、100円を加算する。	2時間まで300円とし1時間を増すごとに、50円を加算する。
	2時間まで2,000円とし、1時間を増すごとに200円を加算する。	2時間まで600円とし1時間を増すごとに、100円を加算する。
付属設備	スコアボード	1試合につき200円
	放送設備	1回につき500円

* 1.使用者が本町の住民でない場合は、使用料に5割を乗じて得た額を加算する。
2.使用時間に1時間未満の端数があるときは、その端数は1時間とみなす。

完成した町営野球場は、次の規定により使用できます。

①使用期間 1月5日から12月26日まで ②使用時間 午前8時半から午後6時まで。ただし11月から3月までは午後5時まで ③使用許可 野球場使用許可申請書を教育委員会社会教育課に提出する ④使用料の免除または減免 ⑤全額を免除、町または町の機関が主催または共催する行事・固または具が主催または共催する体育行事・町内小中学校で実施する教育活動及び体育連盟が主催する児童・生徒を対称とする体育行事 ⑥5割を減額し町または町の機関が後援して行うアマチュアスポーツ大会・町体育協会及びその加盟団体が主催して行うスポーツ大会・その他減額することが適当と認める場合 ⑦3割を減額し町体育協会の加盟団体が練習に使用するとき、その他減額することが適当と認める場合。

ランニング リポート

中種子に初めての歌碑

このほど中央公園入り口左側の小高い丘に、町内では初めて、歌碑が立てられました。

歌碑を立てたのは、同人社「南船」のなかたね支部（つまべに短歌会）で、同会主宰の曾木智さん67の功績をたたえたものです。

碑には、

標影と潮風
波状にけむらひつて
うすら陽ひきつ、
島を越えゆく
智

公園の木かげに立てられた歌碑



と刻まれ、種子島特有の真冬の厳しい季節風（西風）が、高波のしぶきを巻き上げ、丘を這い上がる潮風となつて、ぼーっと島全体を覆っている情景を詠んでいます。

曾木さんは、種子島に定住しておよそ25年。昭和56年からは本間アヤ子さん（静岡県在住）の後を受け、つまべに短歌会の育成、指導に努めています。二年前から、南船の撰者を務め、南船紙上でも大いに活躍しています。

自分の詠んだ歌が碑になるのはきまりが悪いと語る曾木さんですが、文化の気運の盛り上げに役立てば幸いですと、後進に期待をかけていました。

十二年前の昭和52年七月、本町で歌手細川たかしさんの公演が行われました。一流スターの公演に、島内各地からファンが詰めかけ、昼夜二回のステージはいずれも会場の町立体育館を満員にする盛況ぶりでした。

去る五月五日、テレビのトーク番組に、細川さんがゲストで出演しました。番組では細川さんの地方公演でのエピソードなどを紹介。細川さんは「中種子公演は特に印象に残っています。歌っている最中に停電になって大あわてでした」と、当時は懐

細川さんまた来てください



役場中庭で行われたVTRの取材。本番前の打ち合わせの後、いっせいに「細川さん また来てください」

ライターシリーズン
到来

「ソフトボール熱よ再び」と、このほど南風杯ナイターリーグ戦が、野間中グラウンドで町内七チームの参加で行われました。

この大会は、昨年、熊毛で初めて開催された県民体育大会で、地区代表で出場した南風ソフトボールクラブ監督の南寺次郎さん（48 深久保）が、ソフトボールを以前のように盛り上げたと呼びかけたもの。

五月八日は開会式。翌9日から二十二日まで、熱戦が繰り広げられました。



ランニング・リポート

少年少女合唱隊誕生

41人が入隊



新しい言葉を述べる久保田さん

本町に少年少女合唱隊が生まれました。これは演奏活動を通じて情操を養い、音楽水準を向上させること、また団体活動の規律、協力を通じ音楽を愛する心を培うことを目的に教育委員会が呼びかけたものです。

第一期生は、小学校四年生から中学校二年生までの41人が応募。五月七日は入隊式が行われました。

式では、隊長の浦邊教育長が「合唱隊が結成でき、たいへんうれしい。皆さんの歌声を町内に響かせてほしい」と歓迎の言葉を述べました。これに迎え、新入隊員を代表して野間小六年の久保田美鈴さん（中山）は「練習にはげみ、すばらしい合唱隊になるようがんばります」と誓いの言葉を述べました。

隊員は、中種子高校の大川内先生ら六人の先生方から週一回の定期練習や、夏休みの特別練習で指導を受けることになりました。

年一回定期演奏会も計画され、また各種の行事にも参加する予定です。清らかなハーモニーを奏しませることでしょう。

充実した活動に県表彰

阿高磯子ども会

阿高磯子ども会は、会長の永浜真琴君を中心に、五十八人の子どもたちが老人クラブ、婦人会など地域と一体になって積極的に活動しています。

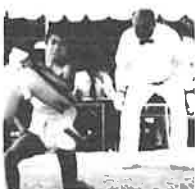
こうした日頃の活動が認めら

近畿中種子会（折戸秋男会長）が、五月六日吹田市千里市民センターで、出陣者三百人を集めて盛大に開かれました。

あいさつの中、折戸会長は来年度は町制施行50周年に当たる年。我々出陣者もふるさと中種子に何かご恩返しをしようではないか」と呼びかけました。

すもうで交流

星原小と住吉小



星原小（毛利私行校長 四十人）、隣の住吉小（鎌田浩敬校長 百三十五人）の恒例の仲よしすもう大会が、五月七日開かれました。

五十八回目を迎えるこの大会は、今年は住吉で、榎本修西之



久しぶりの出会い 話がはずみます



れ、このほど優良団体として県教育委員会などから表彰を受けました。

五月の青少年育成の日の二十日、グラウンドゴルフを楽しむ子どもたち

つまべに詠草

上昇の気流に乗りて舞ふ、時のとんびの首のたゆまぬ動き... 伏之前 竹野 昭



- 1日・水道週間 (~7日)
2日・自衛隊父兄会総会
3日・松くい虫航空防除

今回は、四月、米農士で給食センターに赴任した西川智美さんを訪ねました。
『新採といふことですが、今年三月、短大を卒業したばかりのかけだし者です。』

食へやすく、が第一だと思えます。週に一回以上は郷土の特産物を取り入れたメニューを組んでいます。
『町内一五〇食の献立で作りたいへんです。』

飼う業農家です。中学時代はバレーボールで全国大会出場。高校ではやり投げと、なかなかのスポーツマンです。
『ドライブ好きで、週末ともなると島内あちこちに遠乗りし、種子島の自然を満喫しているようです。好きな花はすみれ。種子島でよく見かける特攻花(大キンケイ菊)も美しいと語りま



三人兄弟の長女。二十歳。さわやかな笑顔ではりきる智美さんーセンター事務所ー

- 4日・備の衛生週間 (~10日)
5日・環境週間 (~11日)
6日・子牛せり市 (~7日)
11日・スポーツ少年団競技別交歓大会
20日・幼児読書学校開講式
21日・水稲航空防除
24日・コールなかなた定期演奏会
25日・スポーツ少年団ボランティア活動
27日・水田転作確認調査

訪問記 No.20 さわやか 給食センター 西川智美さん

土砂災害

種類と前触れを知ろう

現在の日本には、約十六万にのぼる土砂災害危険箇所があり、そこには、二百四十万戸、七百五十万人の人が住んでいます。
『土流で岩などが流れを止め、水がたまりつつあるため』



鹿兒島市で起きたがけ崩れ (昭和61年7月)

突然動きが速くなります。そうなる時、地面がそっくり動くわけですから、被害が広い範囲に及ぶこととなります。
『主な前兆』
『がけ崩れ』
『土砂災害の種類とその前兆』

【有段を目指して】 出題 本因坊 武宮正樹
(先月号の回答)
【詰将棋】 出題 八段 北村昌男

ガソリンスタンド 休日営業
6月4日 種子島石油 (田島)
6月11日 農協給油所 (伏之前)
6月18日 丸正石油 (浜津脇)
6月25日 まるい石油 (旭町)
7月2日 種子島石油 (旭町)
日曜在宅医
6月4日 鎌田医院
6月11日 南種子町診療所
6月18日 恒吉医院
6月25日 柏医院
7月2日 森越医院

あなたと町政をむすぶ

平成元年 7月7日発行 No.404

広報

NAKATANE KAGOSHIMA



なかつたね

元年 7月号

発行 鹿児島県中種子町役場
編集 企画課広報係
☎ 099-1111 (内線59)



いそがに ふなむし あめふらし
ふじつば やどかり いそぎんちゃく
いのちだね 生きてるね
あなたたちにはかなわない
ポケットに入れてきた 消化不良の
もろもろを ほうりなげ
かわりに快い疲れと しょっぱい
元気をつめ込んで
さあて そろそろ帰りましょうか

何億何千万年の砂や岩を踏み歩き
何億何千万年の生命の水に遊ぶ日は
体中の想いが すべて飛び出して
からっぽになる 軽くなる
押されて 引かれて 洗われて
ほこりやあかがとれていく
眠り込んでる魂が
波の時計に起こされる

おめでた

(ごんごには 赤ちゃん)

氏名 保護者 住所
 平山 淳也 保二市子 中田
 牧瀬 このみ 保一市子 元
 久保 裕貴 正昭 市子 上
 長深田 晃平 美佐男 美智子 坂元
 鎌田 紘寿 昭一 由紀子 塩屋
 塩屋 良 あけみ 郡原
 谷口 幹一 幹一郎 兼代 町山崎
 里 周平 幹春 清子 伏之前
 長浜 和希 浩一 登美子 池之平
 吉松 優香 健一 泰澤代 東之町
 米田 奈那 誠明 正美 本村

いつまでも
お幸せに

氏名 住所
 春次 秀夫 中之町
 平山 恵智子 町山崎

人口のごき

4月19日(5月15日受付け)

総人口	11,151人(-8)
男	5,319人(-1)
女	5,832人(-7)
世帯数	4,166戸(+11)
出生	8人 死亡 9人
転入	31人 転出 38人

() は先月との比較
6月1日現在

おこやみ

甲し上げます

故人	年齢	住所
故人 信哉	84歳	阿高磯
鎌田 辰雄	85歳	梶洞
折戸 ケサ	92歳	熊野
熊野 信一	92歳	二十番
徳永 サト	92歳	平元
笹川 トヨ	85歳	坂元
仲座 勤助	74歳	西之山
徳 トシキ	91歳	屋久津
徳 トシエ	65歳	砂中
美原 カン	89歳	美座

社協だより

次の方々が町社会福祉協議会へ、金一封を寄付されました。これらの善意に感謝するとともに、つつしんで故人のごめい福をお祈りします。

氏名	故人	住所
鎌田 シノ	信哉	阿高磯
岡本 清吉	信一	二十番
徳永 良盛	サト	坂元
笹川 明	トヨ	坂元
仲座 カマド	勤助	西之山
牧元 道夫	トシエ	西之山
徳 純夫	ツキ	屋久津
折戸 一夫	辰雄	梶洞

資料館だより

開拓記念碑(原尾)

碑文「戦後海外からの引揚者・戦災者等七〇数戸の者、此の地に開拓の礎をおろし原尾部落をつくる。以来三十年その間離農者あり、新たな入植者あり。幾多の変遷苦難をへて、今、安住の地となす。これを記念し部落民一同協力してこの碑を建つ。昭和五十年八月二十日」

原尾は、太平洋戦争後の引揚者によってつくられた集落である。

昭和二十一年六月、南洋群島パラオ諸島からの引揚者が入植。続いて満州・朝鮮・台湾からの引揚者・戦災者・現地除隊の軍人、開拓増産隊の人々等がつぎつぎに入植した。南種子長谷に九十世帯、中種子長谷が八十四世帯である。現在の原尾部落は、パラオ諸島からの引揚者が第一陣であったことからして「原尾」と命名され、八十四世帯全員

による部落組織ができた。入植当時は、戦後の混乱期であったが、飢えと寒さに耐えながらも明るい農村建設を目ざし、血のじむ思いで開墾等に励んだ。艱難辛苦のわがままな生活が、いあって今ようやく安住の地として定着したのである。毎年八月二十日にはこの碑を囲んで開拓祭を実施してきた。初めの頃は神事だけであったが、近年では踊り等も加え、酒宴の中で終日賑やかに行われている。

(潮)

特集

中種子の漁業は

(((((((海面漁業のすがたは)))))))))



“農業の町 中種子町”とよく言われる。しかし、一步踏み出せば、そこは果てしない大洋。高台に登ると太平洋と東シナ海が同時に見渡せる。この広大な大洋に浮かぶ種子島。海を相手に中種子の漁民はどう生きているのか。

いま



本町における昭和63年度の水産業の売上げは二十三億円。これは、農産の四十五億円に次ぐ大きな産業で、畜産の約二倍、産業全体の実に二十八割を占める。水産業は、ブリ、モジャコ漁などの海面漁業、うなぎ養殖などの内水面漁業、そして車えび、ヒラメなどの海水面養殖業に分けられる。今回は、農業とともに古くから町を支え、四方の海の産物を提供してきた海面漁業にスポットを当ててみた。

内水面養殖業及び内水面漁業
(黄鰺・シラス)
170,560 (7%)



昭和63年度水産業実績
(産振資料)
(単位:千円)



昭和63年度第一次産業実績
(産振資料)
(単位:千円)

東と西では漁業形態が 大きく違う

種子島で太平洋と東シナ海に二分されるように、漁業海域も大きく二つに分けられる。島内随一の漁港、熊野港を基地とした東方海域での一本釣りや、定置網漁を主とした操業と、浜津脇、屋久津を拠点とした刺網(磯たて網)による操業だ。

東方海域には黒潮が北東に流れている。流れの変動により、回遊魚の来遊に大きな影響を与える。また、夏から秋にかけての台風、東シナ海の冬期の北西の季節風は、操業を大きく左右する。

東も西も、それぞれの海域の資源の確保にとめながら、漁家は今日も沖をめざす。

漁業の振興策は

このような中、本町の海面漁業の振興は次のように講じられている。

漁船漁業については、漁業近代化資金などの制度資金により、漁船規模の拡大、装備の近代化を進め、漁獲生産量の増大と所得の向上をはかる。

生産基盤である漁港や荷さばき施設などの陸上機能の整備をはかる。

天然資源を保全拡大するため、ナガラメの放流事業などの栽培漁業や、魚礁、漁場の造成につとめる。

漁業者の高齢化が進む中、次代の水産振興の担い手である後継者の育成につとめる。先進地の視察、交流会、研修会も積極的に進め、漁具、漁法の改善につとめる。

以上のように漁業者の生産意欲の向上を目指したものがなっている。

漁家のほとんどは 農業を兼ねる

昭和63年の水揚げ額は三億七千万円。その内訳を漁業形態で見ると、一本釣りが五四億の二億円、定置網が三〇億の一億一千万円、残りは刺網漁の六千万円となっている。

専業漁家は全体の二十四％、第一種兼業漁家が二十五％、第二種は五十一％である。割合が高い第二種兼業漁家は、大部分が農業(特に普通作)との兼業である。

漁船数は全体で一七五隻。九〇％がプラスチック化されているが、三トン未満が全体の七八％を占める。一本釣り漁業では八〇％以上が三トンから五トン未満の船で、装備もロラン、魚探、無線など比較的進んでいる。刺網漁業は兼業も多いことから三トン未満の船がほとんどで、その中の八五％は船外機船である。



比較的近代化されている 一本釣り

一本釣り漁業は、種子島東方から南東海域で、おもに小タ類、チビキ、コマツ、タルメなどを釣り上げる。操業はほとんど日帰り、ひとりから三人乗り込んで集団操業する。四月から五月にはモジャコ巻網漁と組み合わせられている。

資源は減少きみだが、漁船の大型化、装備の近代化などで漁



熊野漁港の一本釣り船

特集 中種子の漁業はいま

時として大漁をもたらす 定置網

定置網は、現在東の海域に三か所張られているが、いずれも小型定置網である。

台風シーズンの夏から秋にかけては操業を休む。主な漁獲物

刺網は甲イカをねらう

刺網漁は沿岸の共同漁業権内で行われる。一本釣りのほか、五月から八月にかけてナガラメの兼釣り漁と組み合わせる漁業者もある。おもな漁獲物はシマアジ類、甲イカ、イセエビなど。シマアジは一〇％から三〇％の割合が多く、一〇％程度のもは繁殖用に回される。

甲イカは西の海域に産卵、回遊が多く、春先には重要な魚種である。ここ数年、イセエビの水揚げはさほど変動はないが、漁港や港湾のテトラポットなどに稚エビが多く目につく。この資源をいかに保護し、生産につなげるかが今後の課題といえる。

はブリとカツオ類である。一昨年の二月には、ひと網でブリ四二〇〇尾の大層の水揚げを記録している。

昭和63年度海面漁業の実績 (産振資料)

魚種	数量	金額	数量 kg	金額 千円	割合 %
魚類	441,337	287,232			77.6
水産動物類 (カニ、エビ、イカ、タコなど)	22,201	34,909			9.4
モジャコ貝類 (ナガラメなど)	2,227	44,230			11.9
計	1,210	3,928			1.1
	466,975	370,299			100

水産物の流通

市場は、浜津脇、熊野、屋久津港に開設されている。地元中種子をはじめ、西之表市、南種子町などからの三十七業者が入札を行う。

漁獲物のほとんどが島内消費され、残りはそれぞれの業者に引き取られ、西之表の市場や、鹿兒島の市場へ回すこともある。島外へ出荷されるのは、ホタル類、コマツ、チビキ、タルメとイセエビである。市場での取扱いは鮮魚だけだが、活魚の要望もあり、今年度は熊野漁港に蓄養施設が建設されることになった。活魚として流通が考えられるのは、シマアジ、カンパチなどである。



定置網に入ったブリ



網を手入れする浜津脇の漁民

俺は海に生きる

若き後継者たちは

操業日数を伸ばしたい

熊野港

川南 進さん

熊野は島内で唯一の一本釣りの港である。川南進さん(29歳新町)もそのひとり。中高を卒業後、自衛隊に入隊し、六年前にUターンした。その後、父秀雄さん(58)と漁業を営む、熊野でも中堅の漁家である。

四月いっぱいはいは、コマツ、ホタテ、チビキを二〇マイル東方の漁場で釣る。四月末から五月にかけてはモジャコ漁。漁場は種子屋久の東側七〇マイルだ。そして今はカンパチを獲る。カンパチの子は、水揚げこそモジャコの十分の一だが、だぶついているモジャコに比べカンパチは経費もかからないし、需要も多

い。七月からは再び一本釣りが続く。一月から三月にかけては夜はタルメ漁を行う。モジャコ漁には二、三人雇うが、一本釣りは秀雄さんと二人。進栄丸(四・九トン)の船(とも)で、水深二〇〇ほどに針を下ろす。十年ほど前から電動リールが普及し、労力が軽減された。しかし、ここ熊野でも水揚げは横

ばいが精いっぱいと言う。進さんを含めこの漁家はほとんどが専業である。「シケも多く、年間平均百五十日しか操業できないが、二百日は操業したい」と語る。港にやがてできる警備施設も待ち遠しいところだ。

「我々漁師の海は、我々で守り、子孫孫まで伝えたい」と海の浄化にも積極的だ。



川南さんと進栄丸

農業も続ける 冬は遊漁船も

屋久津港

八汐 重満さん

穏やかな屋久津港に、真新しい白い船が浮かぶ。第五若潮丸、八汐重満さん(40歳、屋久津)の愛船だ。若潮丸は昨年五月購入した四・八トンのプラスチック

製の新鋭船である。屋久津港の十二隻の漁船のうち専業漁家の船は二隻、残りは普通作との兼業である。屋久津に限らず西海岸地区では、農繁期が季節風で出漁の減る冬場にあたるため、普通作との組み合わせが一番合っているようだ。重満さんもオーギ、からいもで二畝、ほかに和牛二頭を置く。父の宗高さん(64)や妻の辰



八汐さんと若潮丸



美さん(37)も漁に加わることがあるが、ひとりでは出漁する日が多い。三月から七月頃までは甲イカ漁。四月の末頃からモジャコが加わる。モジャコ漁は年収の半分以上を占める貴重な収入源で、経営を大きく左右する。漁を求め、はるか竹島や硫黄島の近海まで足をのばす。夏は一本釣りや夜だきで、サバ、カツオ、アジなどを狙う。季節風に見舞われる冬は、出漁も減るが、釣客の足となる遊漁船で活躍する。「今年のモジャコはあまりよくなかった」と眉をひそめるが、イケスの中を覗きながら、これからのカンパチの子に期待をかけていた。

今後の経営については「今のやり方では一年一年水揚げが減っていく。これからは、はえ縄漁などにも取り組み、活魚で勝負した方がよいかも」と資源の減少の中にも活路を拓いていた。

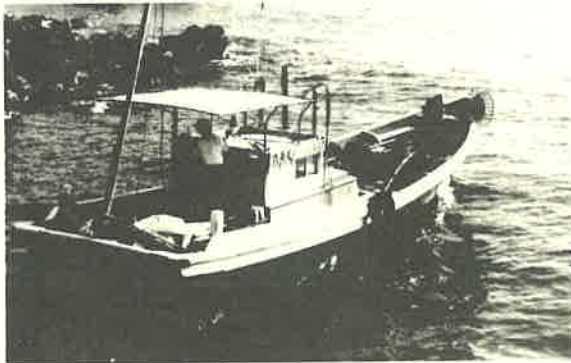
近海にヒラメを放流できないか

浜津脇港

竹野浩幸さん

エバ釣りの名人と言われるのは竹野浩幸さん(28歳、竹之川)だ。今年、星原の代表として、

漁協の理事にも選ばれた。幼い頃から海を眼下に育った。海への熱血あふれる青年である。「父の種養さん(55歳)もまだ若い。「そろそろ息子に全てをまかせよう」と語るが、四〇年間海で鍛え上げられた体からは引退は想像できない。浩幸さんは漁業歴四年と、まだ短い。漁への天性の勘は浦でも定評がある。網入れはまだ



養美丸で沖に向う竹野さん



投入される人工魚

まだ種養さんがうわ手だが、この釣りに関しては息子に一目置いている。

二月から九月と半年間は沿岸でイカ網を打ち、十月から四月頃までフリ網(大網)で、ブリ、シマアジを狙う、磯たて網専門の漁家である。

浜津脇港には木船が多い。スピードははるかにプラスチック船だが、風やシケに強い木船が網仕事に向いている。

普通作でもまとまった面積をこなしているが「いずれは漁業専門でやってみたい。はえ縄でアラヤ、アカジョーにも挑みた

い」と闘志をみせる。四月末頃からは、イカ漁は父にまかせ、浩幸さんは熊野港の千尋丸(中村正広さん所有)に乗り込みモジャコ漁に出る。たて網、モジャコ漁の合い間にはひとり沖に出る。この時は自分専用の船外機である。屋久津の沖にもしばしば足を伸ばす。エバには自信たっぷりだ。「モジャコ漁や一本釣り、警備施設と熊野港はるかに思まれているが、地元浜津脇でがんばりたい。できればヒラメを近海に放流し、安定した漁獲を上げたい」と意気を見せていた。





空手



剣道

競技を通じ 団員の交流

町スポーツ少年団競技別交歓大会

六月十一日、町内のスポーツ少年団員が一堂に集い、かねてのスポーツ活動の成果を発揮しようとして、競技別交歓大会が開かれました。

町内のスポーツ少年団数は十九、団員は三百五十人。団員らは、本部長の向田国太郎さん（66歳）をはじめ指導者六十四人と一丸となって活動しています。

開会式では、向田本部長が、「スポーツ活動を通じ気力、体力をつくり、団員相互の友好親善をはかろう」とあいさつを述べ、全団員により綱領が朗読されました。

競技は、サッカーを除く剣道、柔道、空手、バレーボールの四種目におたり行われ、詰めかけた父兄らは盛んな声援を贈りました。

成績は次のとおりです。

【剣道】

団体戦 Aクラス ①納官A ②野間A ③南界A ④油久A Bクラス ①野間B ②納官B ③野間C ④野間D 個人戦 四年以下女子 ①浜田幸恵 ②磯俣やよい ③光直子 ④鎌田奈津子 五、六年女子 ①長田香澄 ②藤聡美 ③林真香 ④赤坂まり子 三年男子 ①笹川寿文 ②石堂貴之 ③藤雄



柔道

策 四年男子 ①横山洋介 ②上門寅 ③酒匂敏行 五年男子 ①園中健治 ②池田健二 ③奥村誠 六年男子 ①遠藤智史 ②中村勝 ③大川智

【空手】

型の部 二年以下 ①元川真一 ②田中慎二 ③徳永潤 三、四年 ①小幡悟志 ②徳永大樹 ③梶屋誠之 五、六年 ①平田洋介 ②遠藤隆一 ③中村晃樹 女子 ①元川昌子 ②小幡梢枝 ③長深田瑞江 組手の部 二年以下 ①田中慎二 ②徳永潤 ③福武晃 三、四年 ①徳永大樹 ②田中達也 ③宮内慎哉 五、六年 ①平田洋介 ②遠藤隆一 ③中村晃樹 女子 ①小幡梢枝 ②元川昌子 ③長深

田瑞江 ③松下ますみ

【バレーボール】

①岩岡 ②増田 ③南界 ④油久 ⑤野間 A ⑤野間 B

【柔道】

団体戦 Aクラス ①増田A ②双葉A Bクラス ①増田B ②双葉B 個人戦 一、二年 ①堤康博 ②大津奈美 ③園中雄作 三年 ①梶屋拓朗 ②鎌田俊輔 ③日高央元 四年 ①園中良一 ②鎌田雄輔 ③岩崎英行 五年 ①日高喜次 ②森山貴憲 ③松原大輔 六年 ①長田豊 ②福英高 ③稲子良隆



バレーボール

特集 中種子の漁業はいま

昭和56年から取り組んでいるナガラメの放流事業は、浜津脇を皮切りに都原、屋久津、竹屋野、中山の海岸で行われてきた。59年と60年を除き、毎年十万余りが放流され、現在までの合計は実に七十五万個にのぼる。放流された稚魚は「たて磯」（禁漁区）で、二年ほど浦民から大切に守り育てられる。

瀬の繁茂、砂の移動などによりそれぞれの放流区で実績が異なるようだが、細々とした天然ものの水揚げに比べ、かなりの成果が上がっているようだ。

中山では二年前に五万個を放した。六月八日と九日は二日間待ちわびた「口あけ」の日だった。黒のウェットスーツの潜水手が次々と重くなったククリをおか上げる。浅い波打ち際では浦の婦人が石を起こす。水揚げされたナガラメはざっと三百匹。「数はあるが、思ったより大きくない」と浦長の

育てる漁業

資源を絶やさないために

ナガラメの放流



ククリをいっぱいしておか上がった中山の男たち

園田敏明さん（54）は首を傾げる。餌の藻の不足が原因らしい。しかし浦民は「難儀のかがあった」と満足した表情を見せていた。

難儀とは監視のことである。

放流したナガラメの密漁を防ぐため、潮ときのなごの日は海岸の入口で監視を行った。二人一組になり輪番制で、四月から十月までは昼、十一月から三月までは夜間、欠かさず続け、守り育ててきた。のべ動員数は五百人にも及ぶ。

町商工水産課では「資源の確保のためにも、この事業は続けたい。たて磯により、町民や観光客にご迷惑をかけることが、やむを得ないこととして協力を願いたい」と語っている。



浅いところのナガラメは婦人の手で

「今日はおてつきー食つるいけりやー」。おもわず囁もほろろ。

No	競技名	期日	時刻	会場
1	陸上	15日(土)	13:30	陸上競技場
2	バレーボール(男・女)	15日(土) 13:30 16日(日) 9:00		町立体育館
3	バドミントン(男・女)	15日(土) 13:30 16日(日) 9:00		中種子高校体育館
4	卓球(男・女)	15日(土) 13:30 16日(日) 9:00		中種子農産学校体育館
5	軟式庭球(男・女)	15日(土) 13:30 16日(日) 9:00		中種子町営庭球場
6	相撲(青年・一般)	15日(土)	13:30	中種子町相撲場
7	柔道	15日(土)	13:30	野間中学校体育館
8	剣道	15日(土)	13:30	野間小学校体育館
9	弓道	15日(土)	13:30	中種子高校弓道場
10	サッカー	15日(土) 13:30 16日(日) 9:00		中種子高校グラウンド
11	軟式野球	15日(土) 13:30 16日(日) 9:00		中種子町営野球場
12	ソフトボール	成年男子	15日(土) 13:30	町営富田グラウンド(西側)
		成年女子	16日(日) 9:00	
13	銃剣道	15日(土)	13:30	野間中学校体育館
14	ゲートボール	15日(土)	13:30	野間小学校校庭
15	テニス	15日(土)	13:30	中種子町営庭球場

競技日程と会場

昨春秋、県民体育大会が初めて熊毛で開かれ、熊毛チームが大健闘を果たしました。今年度は鹿児島市で開かれます。

県体
熊毛地区大会
今年中は種子で

この県体の本大会を前に、第30回県体熊毛地区大会が7月15日から二日間、地元中種子で開催されます。

五年に一度の地元開催とあって、町では審判員の養成、宿泊施設、環境美化など、着々と準備を進めています。熊毛各市町の役員、選手団が気持ちよくプレイできるように、暖かく迎えます。



ジェットfoil
1988年 7月21日より就航
時速83km 定員265人

7:30発	鹿児島	17:10着
↓ 9:00発	種子島	15:40着
↓ 9:15発	種子島	15:25着
↓ 10:00発	屋久島	14:40着
↓ 10:15発	屋久島	14:25着
↓ 12:05発	鹿児島	12:35着

お知らせ
ランド

なまえば
トッピー



全席予約制 (1カ月前から)
鹿児島商船種子島営業所
☎2-1224



サマージャンボ
宝くじの発売

○「サマージャンボ宝くじ」(別称 市町村振興宝くじ)が発売されます。
一等、六、〇〇〇円(一六五半)
二等、三、〇〇〇円
三等、一、〇〇〇円
四等、五〇〇円
五等、二〇〇円
六等、一〇〇円
七等、五十円
八等、二十円
九等、十円
○七月十七日(日)から予約受付
○この宝くじの収益金は市町村の災害対策と明るく住みよい街づくり等に使われます。
○申込み方法など、詳しいことは七月十七日(日)の新聞紙上に発表されます。

介護者教室開講

南界園のデイサービスセンターがオープンして五か月になります。毎日虚弱老人の方々が多数利用しています。
さて、センターではこのたび家庭介護者教室を開講することになりました。これは在宅の寝たきり老人や、痴呆性老人を介護している家族等を対象に、広

夏の青少年を育てる運動

7月1日から8月31日まで「夏の青少年を育てる運動(月間)」です。
この運動は、青少年を非行から守る全国強調月間を受けて、非行が多発する夏休み期間を中心に展開します。
県民一人ひとりに、青少年の健全育成に理解を深めてもらい明日を担う心身ともにたくましい青少年を育てようとするものです。

水の事故に注意を

水泳など水に親しむ季節になりましたが、毎年7、8月は水の事故が多発しています。昨年度内では43人が水の犠牲者となっており、注意を要します。

自衛官の募集

○応募資格 採用予定月の一日現在で、18歳以上25歳未満の日本国籍を有するもので、中学卒業程度以上の学力を有し自衛隊法に定める欠格条項に該当しない者。
○試験科目 筆試試験(国語、数学、社会)、身体検査、適性検査及び口述試験とする。
○募集期間 男子1平成元年7月1日から9月30日まで。
女子1平成元年9月1日から9月30日まで。
詳しいことは役場総務課まで

参議院議員通常選挙

投票日は7月23日、必ず投票しましょう。

社会を明るくする運動

7月は、「社会を明るくする運動」月間です。この運動は、すべての国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更正に理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。地域活動などを通じ、犯罪防止と更正への援助に努めましょう。

職員異動

六月一日付(一)は旧任です。
▽松原元幸 選挙管理委員会事務局長(税務課主幹兼町民税係長)▽塩浦義夫 税務課主幹兼町民税係長(企画課主幹兼地籍調査係長)▽岩一徳 企画課地籍調査係長(税務課財産係長)▽梶原正洋 税務課財産係長(水道課施設係長)▽野角勲(水道課主幹兼施設係長(建設課失業対策事業副監督)
退職者
▽林慶次郎(選挙管理委員会事務局長)▽山田恵理子(あかつき学園)

六月定例議会
補正予算など
全議案が可決

平成元年度第二回(六月)定例議会は、6月20日から22日までの三日間開かれました。
本会議は20、22日の両日開かれ、一般会計補正予算など議案二十三件が可決、陳情二件が採択されました。
一般質問は馬場清則議員が「ゴルフ場建設による河川の環境保全について」、提議議員が「さとうきび作の振興について」川下三葉議員が「農家の経営悪化高揚対策について」など、それぞれ行われ、町長の答弁を求めました。

今回の議案のほとんどは、消費税の導入による公共施設、設備の使用料改正でした。また、一般会計をはじめ、各特別会計の補正予算もすべて可決されました。
(一般質問の内容などについては、後日「議会だより」で詳しくお知らせします)
一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ八千五百七十七万八千円を追加し、五

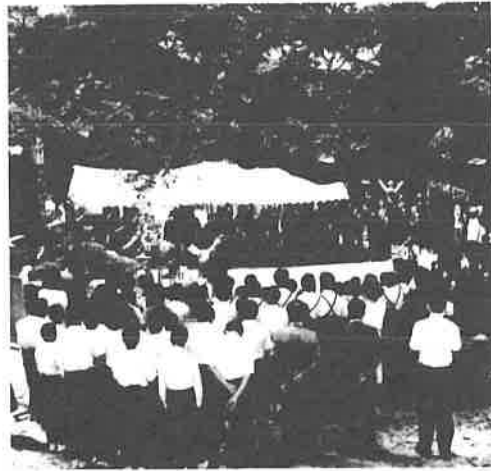


傍聴者の多かった6月議会

十三億四千五百八十四万八千円にしました。
歳入の主なもの、町民税が六千六百八十五万五千円の増額、県補助金の二千三百七十一万一千円の増額など。
歳出の主なもの、あかつき学園整備にかかわる児童福祉費の二千六百二十三万二千円の増額、県道農道等整備事業の農業費が一千万四千二百八十九万九千円の増額、南界小学校体育倉庫新築工事を含む小学校費の二千三百九十五万五千円の増額などです。
採択された陳情は「米軍の水爆搭載機水没事故対策に関する陳情」と「わが国農業・農村の将来展望と米穀政策・価格対策の確立に関する陳情」の二件でした。

岩岡小も100歳

創立100周年記念式典



おこなわれた記念碑の除幕式

岩岡小学校（田之上正人校長 児童五十六人）が創立百周年を迎え、六月四日、盛大に記念式典が行われました。

岩岡小は、明治二十二年坂井簡易科小学校屋久津分校として発足。先人の「郷土の発展にはび基礎教育を」という願いが実を結び、今日の岩岡小の礎を固めることができました。以来百年、今日まで千六百七十八人を輩出しています。

式典では記念碑の除幕が、永森次則君（六年）ら三人の児童



勇壮な「北の町」

によって行われました。実行委員長森山栄一郎さんは「百年の歴史は極めて重い。私たちは先人の苦勞を忘れてはならない。岩岡の子として誇りをもつてほしい」とあいさつしました。

田之上校長は「りっぱな記念碑の建立や、式典の開催に感謝している。これからも創業者と努力を積み重ねていきたい」とお礼を述べました。

午後からは児童らによる太鼓をはじめ、阿高磯、屋久津、梶淵、衣之平の各部落からそれぞれ郷土芸能が披露されました。なかでも阿高磯の「北の町」はこの日のハイライト。同校体育館の落成以来七年ぶりに踊られるとあって、大勢の校区民が詰めかけました。



完成した平成館と向田さん

このほど、野間中正門前に、多目的研修施設と武道場を兼ねた「平成館」が完成しました。

平成館を建てたのは、今年三月中種子郵便局長を定年退職した向田国太郎さん（66歳 上方）で、在職中の町民への感謝と、武道を通じ青少年の育成に寄与したいという長年の夢を、私費を投じて実現したものです。

平成館は、木造平屋建ての六十四坪で総工費は一千百万円。十三彩四方の道場をはじめ、舞台、シャワー室、更衣室などを備えています。

向田さんは、昭和十二年から五十二年間種子郵便局に勤め、昭和三十五年からは局長として長い開町民から親しまれてきました。

また剣道界では、小学四年生から始めたとあって、今や教士七段のベテラン。県剣道連盟理事、地区理事長、町体育協合理事長、町スポーツ少年団本部長など数々の要職を務め、後進の指導にあたっています。

完成した平成館は、当面研究会等の会場に、また剣道、銃剣道の道場として無料で開放されます。

長年の夢実現 向田さん「平成館」を建設

国際交流 原点は種子島

NHKが琉球人踊りを取材



こっけいな踊りの「琉球人踊り」

先日、NHKのテレビ番組「かしま歴史紀行」で町山崎に古くから伝わる「琉球人踊り」が紹介されました。

これは「種子島が古代から文化や産業のクロスポイントであった」をテーマに、国際交流に果たした種子島を取り上げたもので、琉球人踊りは「南方文化の伝来」の中で紹介されました。

町内では町山崎をはじめ、平鍋、古房などにも伝承されているこの琉球人踊りは、かつて、種子島の人が琉球で覚え、種子島に持ち帰って伝えられたと言われています。

熊野海水浴場の砂浜で行われた撮影では、大久保俊秋さん（69）ら五人の方が、前に扇を振り、こっけいな表情で踊りました。

リポーターで鹿児島大学の原口泉さんは「種子島は南方文化の北限、そして北方文化の吹きだまりになっている。米もからいも南からこの島に伝わり、本土に広がっていった。弥生時代の埋葬遺跡、広田遺跡から出土したウテツ文字「山」や、島内各地に面影を残す製鉄技術も、中国の江南地方から伝わったものと考えられる。このように種子島は古くから国際交流の原点であったと考えられる。まさに文化のクロスポイントだ」と語っています。

番組ではほかにも、鉄砲伝来、ドラムエルタン号のインギー砲、カシミア号の漂着などに由来する交流が紹介されました。

この島は、私たちの想像以上に国際的な文化の交流に大きな役割を果たしてきたようです。



秋田園長から花束を贈られるサタばあさん

サタばあさん 満100歳

本町の最高齢者、内藤サタさん（福寿園）が、六月十四日、満百歳を迎えました。

百歳を祝う誕生会には、町長、議長も出席し「ひと口に百歳と言っても、これを生き抜くことは容易なことではありません。本町の誇りです。もっともっと長生きしてください」とお祝いの言葉を贈りました。

サタさんは明治二十二年（一八八九年）生まれ。同じ年岩岡小学校も設置されました。また、町村制が敷かれ、熊毛郡を北種子村、中種子村、南種子村の三村に編成した年でもあります。

半世紀後の昭和十五年には町制が施行。サタさんが五十一歳で経験した中種子町の誕生でした。百歳を迎えることができるのは、十万人にひとりと言われて、本町では昭和四十九年に百歳でじくなった園田ミヨさん（新町）以来です。

サタさんは百歳とは思えないほどかくしゃくとしています。「どんなことが楽しみですか」と尋ねると「楽しみはないが、身の回りのことは何でも自分でできることがうれしい」と、しっかりとした口調で語りました。

つまべに詠草

らつきよの酔漬け塩漬け整へて夏の柿番の娘をまつゆとり 平鍋 笹川 ふみ
 妹の曙れの門出に歌ふ兄弟のつまれば従兄弟らが和す 伏之前 葛 いわ子
 をさな日の楽しきことのみ語りある成人の子の去り行きしより 高峯 中水イサ子
 縛どけしばかりに眠れば農繁の疲る五体崩れゆくがに 浜津脇 橋口 俊
 唐突に大はえたつる留守宅は蕃藪にほれて庭に紅軟く 牧川 松下 シズ
 寒暖の定まらぬ日々を鬼百合の花は季節を知りて咲き初む 原之里 春田ハツミ

夕暮れて帰れば留守居の犬が待ち切るるばかりに尾を振り廻る 中山 馬場 サツ
 連休終へ孫ら発ちゆく庭先に小さく並ぶ別れの靴は 町山崎 石堂 京子
 歌友らの日毎の農に励む歌感動しつつ例会に読む 田島 鎌田 スエ
 枝張りし荔枝は荒西風よううしく草抜く背に花ふり看す 中山 松原 ウメ
 病篤き母を看るとはらかなる寄り小室のひと日長かり 上方 向田 正子
 時草を刈りつつあれは田に落ちる水音昨年と変らざりけり 原尾 都 樹実生



今回は、中央公園と中山神社に錦鯉を寄贈された石堂安雄さんを訪ねました。
 長年手塩にかけて育てた錦鯉をせんぶ手放したそうです。
 ママ、八年ほど前になりましたが、20〜30センチ程度のものを数十匹買って育ててきたんです。何匹か死んだりして、残ったのは十三匹でした。
 60〜70センチはあるりっぱな鯉に成長していますね。この広い庭の木々や、池に映えたと思っんですが、急に寂しくなってきたんじゃないですか。
 確かに池は寂しくなりました。

たが、何分私の体調が悪く、よちよちう家を留守にして鹿児島県の病院に行く予定です。その間、水管理がうまくいかず、特に夏場になると酸欠のため死なすことがあるんです。それよりは、大切に面倒みてくれる所で育ててもらった方が鯉のためにもいいと思っまして、手放すことに決めました。



「煩惱があるだけに」といつたことですね。
 中央公園の鯉は、アヒルとのまぐ共存し、遠足の園児や、公園を訪れる人を楽しませている



7月の主な行事予定 (中公は中央公民館)

- 1日 ●社会を明るくする運動(〜31日)
- 河川愛護月間(〜31日)
- 海開き(午前11時半から 熊野海水浴場)
- 2日 ●県少年スポーツ大会熊毛地区大会(西之表市)
- 下目三カ部落ゲートボール大会(午前8時半から 聖理公民館)
- 4日 ●青少年健全育成全体協議会(午後3時から 中公)
- 5日 ●園芸振興会総会(午後1時半から 農協)
- 7日 ●熊毛地区母子寡婦福祉大会(午前10時から 中公)
- 精業振興会総会(午前10時から 種子島共済組合)
- 9日 ●県体熊毛地区大会リハーサル(町宮陸上競技場)
- 10日 ●地区婦人団体研究大会(午前9時から 西之表市民会館)
- 15日 ●第30回県体熊毛地区大会(中種子町 16日まで)
- 19日 ●16ミリ映写機操作技術講習会(午後7時から 中公)
- 20日 ●海の記念日
- 小・中学校終業式
- 21日 ●水難事故防止運動強調期間(県下全域 8月31日まで)
- 24日 ●縄文土器づくり教室(午前9時から 中公)
- 30日 ●青少年ふるさと美化活動(町内一円)

心と体を休める、リラックするところから一歩進めて、積極的な健康づくりをするのも、余暇の効用の一つです。現代社会の特徴として、人間が以前に比べて長生きするようになったことが挙げられます。これからの人生は、五十年とか六十年という道のりです。しかし今では、人生八十年も普通のこととなり、九十年もそう珍しいことではなくなりつつあります。そこで、考えなくてはならないのが、健康の問題です。

余暇の効用 健康づくりで老後に備える

若いときからの健康づくりがとて大事になってきます。がむしやりに働くだけの毎日では、長い人生の途中で、くたびれ果てないとも限りません。そのあげく、病気がち、あるいは不健康な老後を余儀なくされるのでは、たまつたものではありません。最近では、ゆとり、潤いといった言葉がよく使われるようになりまし。若いときから、ゆとりをもつて働き、余暇を楽しむ生活パターンが多くなつた人たちの関心が高まっています。



健康づくりは昔から、運動、栄養、休養のバランスが大切。動かす習慣を。健康づくりは昔から、運動、栄養、休養のバランスが大切。動かす習慣を。健康づくりは昔から、運動、栄養、休養のバランスが大切。動かす習慣を。

ガソリンスタンド 休日営業

- 7月2日 種子島石油 (旭町)
- 7月9日 中種子石油 (旭町)
- 7月16日 種子島石油 (栄町)
- 7月23日 種子島石油 (田島)
- 7月30日 農協給油所 (伏之前)
- 8月6日 丸正石油店 (浜津脇)

日曜在宅医

- 7月2日 森越医院 (南種子町) ☎6-0212
- 7月9日 高岡医院 (中種子町) ☎7-3100
- 7月16日 鎌田医院 (中種子町) ☎7-0325
- 7月23日 南種子町診療所 (南種子町) ☎6-1230
- 7月30日 恒吉医院 (中種子町) ☎7-0047
- 8月6日 柏医院 (中種子町) ☎7-0033

【有段を目指して】

(先月号の回答)

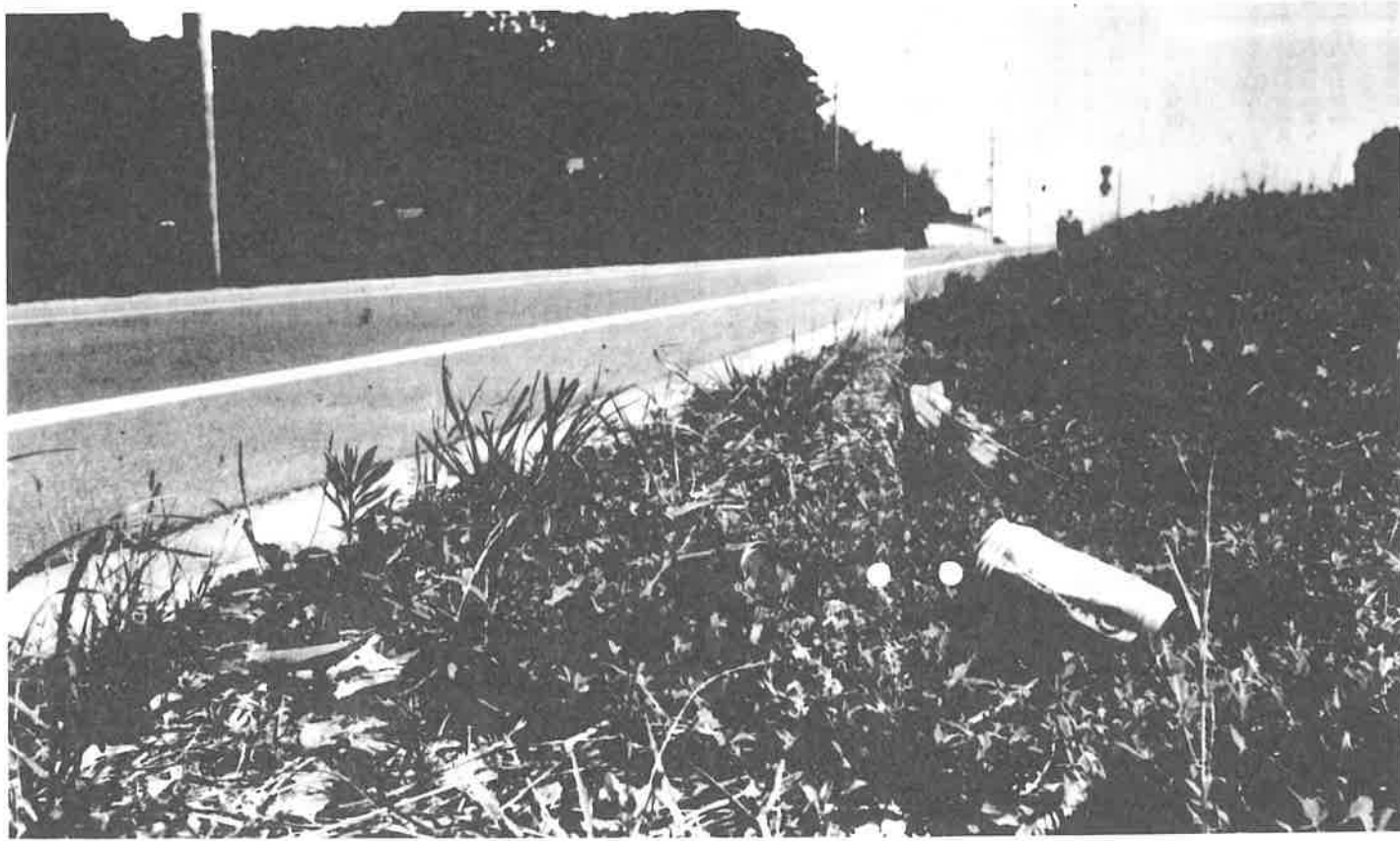
出題 本因坊 武宮正樹
 黒先勝・5手まで
 ヒント 三急がば回れ
 3分まで1級、1分まで有段者。

出題 八段 北村昌男
 ヒント 駒の逃げ道は上
 の方面
 6分まで2級、3分まで初段以上
 持駒 金九

特集



なぜ 散乱ゴミは なくならないのか



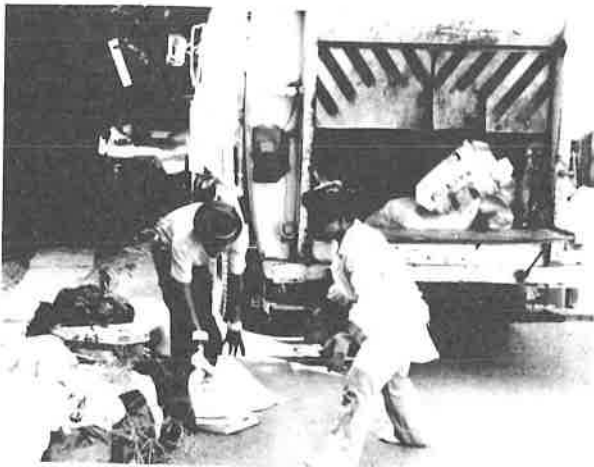
わたしたちが抱えるさまざまな環境公害の中でも、市街地の道路や公園、海岸や河川、観光地などを汚す散乱ゴミは、一番目につきやすいものだ。ところが残念なことに、ゴミの目立つ所ほど、住民が誇りに感じている「地域の顔」である場合が多い。

このような散乱ゴミは「青少年ふるさと美化活動」などを中心にボランティアのみなさんの清掃活動によって、収集されているが、ボランティアの活動にも限界がある。

では、散乱ゴミを減らす「特效薬」はあるのだろうか。散乱ゴミの現状をみながら、環境美化の進め方を考えてみよう。

町内で一日にできるゴミは

町内全域で、一日に収集されるゴミの量はいったいどのくらいになるのか……。答えは約七トン。清掃車二百分の量である。これを一世帯当たりで換算してみると、実に一・七キログラムのゴミを毎日出し続けていることになる。いかにゴミの量が多いかが分かるが、ここで問題なのは、ゴミの量よりも、その捨てられ方―街や観光地、道路を汚す「散乱ゴミ」にある。



清掃車は毎日フル回転



徳永さん

散乱ゴミはどうして出るのか

わたしたちの住んでいる周辺を見渡してみると、道端にビニール袋や紙袋、たばこの吸い殻やアキ缶などが投げ捨てられているのが目につく。これが「散乱ゴミ」である。これらは、道を歩いていて捨てられた物や、車の窓から捨てられたものがほとんど。

このように散乱ゴミが目につくようになったのは、持ち帰りのできる手軽な食品や加工食品の普及とともに、気軽に野外や車の中で食事をするようになったからだと言われている。食べ物を手軽に持ち運べる便利さはいいのだが、食べ終わったリ、飲み終わったリしたときに持ち帰らないで捨ててしまふ。これらのゴミは一つ一つの量はさほど多くないことから、持ち帰って後で捨てるよりは「早く速ぎたい」という意識が働くようだ。そして、つい「これぐらいはいいだろ」という甘い気持ちから、ポイ捨てとなることが少なくない。

町内はもとより、遠く住吉から島間にかけて、ポラシティアで国道、県道の清掃作業を続けている沖成繁次さん(58 阿保)は

最近、アキ缶に限らず、何でも捨てていますよ。弁当の空箱、バック類、果物の皮などさまざまです。校区や部落の皆さんが、道路端にドラム缶などのゴミ箱を置いてはいるんですが、これを目

特集 なぜ散乱ゴミはなくなるのか

目立つアキ缶のポイ捨て

ポイ捨ての散乱ゴミの中でも、とりわけ目立つのがアキ缶。ビールやコーヒー飲料、炭酸飲料や果実飲料などの缶を、走っている車の中から放ったり、駐車車中にドアを開けて路上に放置したりしている人が少なくない。



道路端のアキ缶を拾う沖成さん



それと、発泡スチロール製のバック類もこまったものです。冬場の季節風や、夏の台風に吹き飛ばされて数十四方に広がっていますからね。あつさり、ドラム缶のようなゴミ箱はなくそうすれば、おのずと家庭に持

ち帰るのではないのでしょうか。私が、町や県に雇われて働いているとも思うのでしょうか。私の目の前に、車から平気で投げ捨てる人もいます。どんな人が乗っているのか、あきれてしまいますね。

国道、県道の土木作業班のみなさんは

島内、どこも国道、県道でもいっしょですね。アキ缶やアキ瓶は、自動販売機から半径一キロほどが最も多く捨てられています。飲んだ後、ボンと投げけるのでしょうか。

そう言えば、最近、今ばやりの紙オムツを目にします。モラルのない母親がいるんですね。刈払い機を使うんですが、ジユースのアキ缶が払い機の油に

当たり、それが足を直撃し、ケガした同僚もいます。アキ缶より恐いのが清涼飲料などのアキ瓶です。これが払い機に当たったら「パシュー」と粉々に割れますからね。非常に神経を使います。以前県道沿いの野原を焼いたんですがね。あるあるわ、恐らく数百個はありましたね。作業班一同「よくまあ、こんなに飲んだもんだ」とあつげに取られましたよ。



国道の草を払う作業班のみなさん。すでに数個のアキ缶を手に入れている

―美産付近―



アキ缶を回収する藤さん

中央公園の管理者藤政吉さん(80 横町)は

公園のいたる所に回収用のドラム缶や網カゴを準備しているせいか、ポイ捨てはないようです。ただ、時々ジユース缶のキヤップは目にするところがありますね。きれいな公園というイメージを保つためにも、私たちが常に気をつけています。訪れる人もきれいでいることを期待していますから当然でしょう。と、公園はまず安心と言ったところであるが、「しかし」と藤さんは続けた。

公園までの道路は最近きれい整備されて、街路樹もみごとなんです。植え込みの中にアキ缶を目にすることがよくあります。「公園以外だから」という心が働くのでしょうか、情けないですね。

特集 なぜ散乱ゴミはなくなるのか

散乱ゴミは地域にとって マイナスイメージ!

こうした散乱ゴミを減らし、なくしていくには、一人一人が「ゴミ捨て場以外には、ゴミを捨てない」という意識をもち、実行していくことしかないのではないかと。

そこで、まずできることは、地域ぐるみの運動である。自分たちの住んでいる地域が、ほかの地域の人からみて「汚い」というイメージをもたれたら、「よい気持ちはしない」ということを実行したいものだ。むしろ、「ゴミが落ちていたら拾って」「ゴミ箱などに捨てるといった積極的な美化活動が、住民の習慣になって根付けば、地域のイメージはさらに上がることになる。



いっせに行われるふるさと美化活動

美化運動も展開 されているのだが

教育委員会と子ども会育成連綿協議会では、毎年「青少年ふさと美化活動」を実施している。町内の青少年や地域住民が、いっせいに美化活動に参加することにより、連帯感あふれる明る

私たちの海は 私たちの手で

熊野漁協婦人部（部長浜崎照子さん、二十一人）では、毎月



清掃作業に励む婦人部と青年部のみなさん

い地域づくりを進めようという目的である。

この活動は毎年七月下旬の日曜日に行っているが、昨年は、子ども会と百四十六団体から二百人が参加した。町民の五人にひとりとは加わったことになる。「連帯感も増われ、地域の美化意識も高まった」と委員会では評価している。

第二日曜日の早朝、港周辺のクリーン作戦を展開している。「夫らの働く海を、すこしでもきれいに」と、妻たちの気持ちは込められている。

ゴミを入れるドラム缶やPRRの看板は青年部（部長浜山正文さん）が作った。また、海上の汚染を防ごうと各船にはゴミ箱も設置。小さなゴミひとつも、海には投げ込まないよう義務づけた。

浜崎さんは「組合員には、海を汚す人はいないようだが、磯遊びや釣りに来る人たちが汚しています。エサのオキアミがそのまま岩場に放置して、悪臭を放っていることもよくあります」と、レジヤラー室のマナーを強調していた。

個人の道徳心に 訴えるしかない

子ども会によっては、日曜日ごとに実施しているところもあり、ほかの地域へのひろがりも期待されている。



田中安一社会教育課長は「汚した所をきれいにするというより、汚さないようにすることが一番です。このことは個人個人の心の持ち方にかかっています。公民館活動を通して定着している所もいくらかあります。阿高磯などはその典型でしょう。自分たちの部落から校区へ、校区から町へと広がってほしいです」と、今後の町民のモラルに望みをかけていた。

「未来のまち」は



審査員賞 南界小1年半渡直毅君の作品

先ごろ種子島宇宙センターでは、科学技術週間行事の一環として、絵画コンクールを行いました。テーマは「未来のまち」。島内の各小学校から千五十七点の応募があり、中種子からもたくさん作品が入賞しました。

- 小六年 鮫島まゆみ
- 〔金賞〕
- ▽星原小一年 榎本強▽増田小三年 大脇真一郎▽星原小四年 深田幹雄▽納官小四年 春田康博▽納官小五年 光伸也▽星原小六年 松下豊久
- 〔銀賞〕
- ▽納官小一年 磯保まこと▽南界小一年 山口大輔▽納官小三年 笹川慶介▽星原小四年 尾方徳司▽増田小五年 中嶋好和▽納官小五年 春田悟▽増田小六年 豊真由輝▽納官小六年 遠藤敏浩
- 〔銅賞〕
- ▽星原小一年 松下達也▽南界小一年 黒木徹▽納官小一年 遠藤亜優美▽星原小二年 徳永久幸▽星原小二年 徳永健吾▽星原小二年 桑原一欽▽南界小二年 園田清春▽増田小三年 野辺準人▽増田小三年 豊さつき▽納官小四年 酒匂敏行▽納官小四年 春田尚子▽納官小四年 浜田真樹▽増田小四年 遠藤祐輝▽星原小四年 田中亜希子▽増田小五年 宇都正和▽増田小五年 馬場美和子▽南界小五年 古市裕美▽星原小五年 春田奈穂子▽納官小六年 中村久美



審査員賞 星原小6年鮫島まゆみさんの作品

審査にあたった野間中の橋口先生らは「テーマにとらわれすぎて、ロケットや宇宙を描いている作品が多かった。もっと身近なところにも未来はあるのだ」と感想を述べていました。入賞作品のうち銀賞以上は、八月の第二週に宇宙開発展示館に展示されます。

本町からの入賞者は次のとおりです。（敬称は省略）
〔審査員賞〕
▽南界小一年 半渡直毅▽星原

ふじのきやせう



私たちの国は、欧米各国に比べ緑が極めて少ないと言われています。環境庁では「緑の少ない地域に樹木を植えよう」と、環境週間に定め、植樹運動を展開。本町にも、子どもたちに「みどり」の環境の重要性を認識してもらおうと、ソメイヨシノ五十本が贈られました。

少年団員十五人は、環境庁から配布された記念バッジを胸に、この事業に参加しました。植え付け場所を中央保育所に選び、心を込め、一本一本丁寧に植えました。中央保育所の子どもたちは「早く大きくなるように水をいっぱいやりませう」と、成長を楽しみにしています。



植樹を終えた星原小のみなさん

お知らせ



ランド

旅客の多い時期は 第二屋久島丸も就航

鹿児島商船では、7月21日からジェットフォイル「トッピー」を就航させ、第二屋久島丸を自動車航送貨物定期船(旅客定員12人)として運航させています。が、地元の利用をはかするため、旅客の多い時期には次のように第二屋久島丸が客船として運航します。

運航期間

- 夏のお盆時期のころー8月8日から8月20日まで
○年末年始のころー12月25日から1月6日まで
○ゴールデンウィークー4月29日から5月6日まで
※期間中、日曜日等の関係で前後することがあります。期

間中の旅客定員40人。
○そのほか、トッピーの定期トックの期間。

運航体系
従来どおり隔日運航となりま

Table with columns: 乗船指定日, ダイヤ, 船名, 乗船券の所, 発売日及び発売時間. It lists ferry routes between Kagoshima and Oshima with specific dates and times.

お盆時期の乗船切符発売

特別児童扶養手当 児童扶養手当

八月は、児童扶養手当、特別児童扶養手当の現況届を提出する月です。

これは、受給者の方が前年の所得、養育の状況などの必要事項を、現在住んでいる市町村に提出していただく手続きです。

手当の内容は次のとおりです。
○特別児童扶養手当
この手当は、精神または身体に障害を有する児童(二十歳未満)を養育している者に支給されます。

児童一人につき二万七千五百円(ただし一級の人は一萬四千三百円)
○児童扶養手当
この手当は、父と生計を同じくしていない児童(十八歳未満)が育成される世帯に支給されます。

親戚が扶養する児童は、父母が婚姻を解消した児童、父が死亡した児童、父が障害者である児童、父の生死が明らかでない児童、父が引き続き一年以上遺棄している児童、父が法令により引き続き一年以上拘禁されている児童、母が婚姻によらないで懐胎した児童などです。

ただし、年金等を受給している人や父と生計を同じくしているときは受給できません。(手当額)

児童一人の場合は月額三万四千円。児童二人の場合は三万九千円。(三人目以降は一人につき二千円追加です)

就学義務猶予免除者の中学校卒業程度認定試験

題目やむを得ない事由のために、義務教育学校に就学することができず、保護者が就学させる義務を猶予、または免除された者に対し、中学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかについて認定試験を行い、合格者に高等学校入学資格を与えるものです。

行政書士試験

資格 平成2年3月31日までに満15歳以上になる者で、就学義務を猶予もしくは免除されている者。
○願書受付期間 8月7日から9月6日まで
○受験期日 11月10日(金)
受験の手続きや試験場など詳しいことは教育委員会におたずねください。

試験の期日 平成元年10月22日午後1時半から

○場所 鹿児島市

○受験資格 (1)高等学校を卒業した者、(2)他大学に入学する資格を有する者(2)国または地方公共団体の公務員として行政事務を担当した期間が通算して3年以上となる者(3)知事が前号に掲げる者と同等以上の知識、および能力を有すると認める者

ゆくえ不明者をさがす運動

県警では、8月中を例年「ゆくえ不明者をさがす運動」の月間として取り組んでいます。この運動は、ゆくえ不明者の所在を確認するとともに、不幸にして亡くなられた知らない土地でさびしく埋葬されている無縁仏の身元を確認して、「遺族にお知らせすることを目的としています。

そこで県警では、月間中各警察署に「ゆくえ不明者をさがす相談所」を開設し、家出人や、ゆくえがわからなくなっている人に関する相談に応ずることにしています。ゆくえ不明者のご家族、その他の関係者の皆さん、積極的にご利用ください。

東京消防庁消防官採用試験(三類・高校卒業程度)

○受験資格 昭和37年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた男子。なお、大学卒業業者及び大学卒業見込者は受験できません。
○受験申込書の請求 東京消防庁人事課採用係 〒1

第三次長期振興計画にともなう作文・絵画の募集

私たちの中種子町は、平成2年から始まる新たな町づくり(平成2年度から11年までの10か年)の計画を進めています。そこで、町では愛着と誇りをもてる豊かで活力に満ちた未来の中種子町をめざすため、町内の小・中・高校生の皆さんから作文と絵画を募集します。

○対象 町内の小・中・高校生(養護学校を含む)
○テーマ 「未来の中種子町」
○応募方法 (1)作文ー400字詰め原稿用紙5枚以内とし、一人1点とする(2)絵画ーB3(364×515mm)の画用紙を用い、一人1点とする。

町職員採用試験

○しめきり 平成元年9月15日まで
○送り先 役場企画課
○表彰 小・中・高校ごとに特選1点、入選2点、副賞として表彰者全員を種子島上空の「遊覧飛行」へ招待します。
○発表 11月の広報紙に記載

空港駐車場の利用について

空港駐車場は飛行機利用者送迎用のためのものです。
○飛行機利用者にはできるだけ送迎してもらい、長期駐車をしないようにしましょう。
○夏の帰省期を迎え、駐車場がいっぱいになることが予想されますが、臨時駐車場もご利用ください。
○駐車は白線内にきちんと正しく駐車しましょう。



第30回県体熊毛地区大会

5年ぶりの地元開催

球技がもう一歩

サッカーは連続V

熊毛一市四町から千八百人の選手役員が集い、第30回県体熊毛地区大会が、七月十五、十六の両日地元中種子町で開催されました。

メイン会場の陸上競技場では開会式を前に、園児、中学生、婦人会による集団演技が披露され、式典を盛り上げました。

開会式では、町ゲートボール協会長の宇都友三郎さんから体育



陸上1500メートル、先頭は1位でゴールした松嶋修一君

功労者七人の表彰がありました。このあと、地元の下村茂幸さんが力強く選手宣誓を行い、二日間の大会の幕を開けました。

競技は、オープン参加のテニスを含め十五種目。各市町選手団は盛んな声援を受け熱戦を展開しました。

本町選手団は、五年に一度の地元開催ということもあり、総合優勝の意気込みで臨みました。

が、もう一歩のところまで優勝をのがした種目が多く、昨年の屋久町大会を下回る成績に終わりました。

お家芸の柔道、剣道は予想通り優勝を果たし、陸上、サッカーも昨年と同じく連続優勝を挙げましたが、昨年、県大会で優勝した軟式野球は四位に終わりました。

総合優勝は八種目に優勝した

大会成績表 ()は前回成績

競技種目	市町名	西之表市		中種子町		南種子町		上屋久町		屋久町	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
1 陸上	男子	2 (2)	4	1 (1)	6	3 (3)	3	5 (5)	1	4 (4)	2
	女子	1 (1)	6	2 (3)	4	3 (2)	3	4 (5)	2	5 (4)	1
2 バレーボール	男子	1 (1)	6	2 (3)	3	2 (2)	4	1 (1)	6	4 (4)	2
	女子	1 (1)	6	3 (4)	3	2 (2)	4		4 (3)	2	
3 卓球	男子	1 (2)	6	2 (3)	4	3 (1)	3	5 (5)	1	4 (4)	2
	女子	1 (1)	6	3 (4)	3	2 (2)	4		4 (3)	2	
4 軟式庭球	男子	3 (2)	3	2 (4)	4	4 (3)	2	5 (5)	1	1 (1)	6
	女子	2 (4)	4	3 (3)	3	4 (2)	2	1 (1)	6	5 (5)	1
5 相撲	一般	1 (1)	6	3 (4)	3	2 (2)	4	4 (3)	2		
	青年	1 (1)	6	2 (4)	4	3 (3)	3	4 (2)	2		
6 剣道	男子	2 (2)	4	1 (1)	6	3 (3)	3	5 (5)	1	4 (4)	2
	女子	2 (2)	4	1 (1)	6	3 (3)	3			4 (4)	
7 柔道	男子	3 (4)	3	4 (2)	2	5 (5)	1	1 (3)	6	2 (1)	4
	女子	3 (3)	3	4 (1)	2	5 (5)	1	2 (2)	4	1 (3)	6
10 ソフトボール	男子	3 (3)	3	5 (1)	1	4 (5)	2	1 (3)	6	2 (2)	4
	女子	1 (1)	6	5 (3)	1	4 (5)	2	3 (3)	3	2 (2)	4
11 競輪	男子	1 (1)	6	4 (2)	2	2 (4)	4	3 (5)	3		
	女子	3 (1)	3	4 (4)	2	2 (3)	4	1 (2)	6	5 (5)	1
13 サッカー	男子	5 (1)	1	1 (1)	6	2 (3)	4	4 (3)	2	3 (2)	3
	女子	1 (2)	6	3 (5)	3	4 (1)	2	2 (3)	4	5 (4)	1
14 バドミントン	男子	4 (4)	2	2 (5)	4	5 (2)	1	1 (1)	6	3 (3)	3
	女子	4 (4)	2	2 (5)	4	5 (2)	1	1 (1)	6	3 (3)	3
15 テニス (オープン)	男子	3		2		1					
	女子	3		2		1					
合計		83	80	80	80	55	83	62	64	44	88

※ソフトボールは昨年是一般と混成に分かれていました。

西之表市が十年連続の栄冠を獲得し、以下中種子、上屋久、南種子、屋久の順でした。

大会を振り返って教育委員会では「トーナメントの組み合わせなどにより、イマの組み合わせが伸びなかったようだが、選手は精一杯がんばってくれた」と評価しています。また、開催地としての運営については「開会式をはじめ熊毛大会の名に恥じない運営ができたと思う。本町に迎えた選手、役員団も気持ちよくプレイできたと思う。特に旭町通り会では歩行者天国などを実施していただき、たいへん感謝している。また、接待に協力してもらった婦人会や青年団、そして各競技運営にあたった役員の方々に心からお礼を述べたい」と大会の成功に満足していました。



大海原をひとつとび

トッピー就航

超高速船ジェットフォイル「トッピー」が種子屋久航路に就航しました。鹿児島・種子島間をわずか90分で結ぶ夢の快速船の登場に、島民の大きな期待が寄せられています。

しかし、第二屋久丸を貨物専用船にするという条件で、折田、九州の両船会社が了承したため、いっきにジェットフォイルの就航が実現する運びとなりました。

七月十七日は西之表市においてトッピーの就航を祝うレセプションが開かれ、岩崎福三岩崎産業社長は「九州初のジェットフォイルの就航で種子島も様変わりするだろう。島民の要望に応え、島の発展に寄与したい。運航実績いかんでは二隻目の投入や、大型高速フェリーの就航も考えたい」と述べました。

しかし近年、航路の改善が取りざたされ協議されてきました。航路権の問題など各船会社間の折り合いがつかず、妥協策を見い出せない状況でした。

このあと試乗会が行われ、二

百五十人の招待客は、佐多岬までの住復一時間のジェットフォイルの船旅を初体験しました。下船したあと「快速の一言に尽きる。船内は大型ジェット機のようなが揺れはまったく感じなかった。音も静かで見界もたいへんいい」と口々に感想を述べていました。

ジェットフォイルは、アメリカのボーイング社が開発した超高速船で、最新の航空技術とエレクトロニクスを駆使しています。性能は、波高三・五メートルは時速八十キロ以上で航行でき、高速での旋回半径も二百五十メートル、緊急停止距離は八十五メートルで、車の急停車距離とほとんど変わらない性能です。

百トンの自重を一・五分に持ち上げ飛走させるのは、二基のガスタービンエンジン。一基三千八百馬力の強力な回転でウォーターポンプを回し、毎分八十トンの海水を吸入、噴射します。航路は速々十キロも尾を引き、青い海原に白く美しいパノラマを奏しませます。

この新鋭船、前入気も非常に高く、すでに、ひと月後まで予約でいっぱいという事です。

32年ぶりの企業誘致

縫製会社サン・メンズ進出

岐阜県各務原市(かかみがはら)の合資会社三光縫製が、紳士服縫製会社を本町に設立することになり、七月十七日防災センターで立地協定が結ばれました。

本町では、昭和32年の新光糖業以来の誘致企業であり、地域の経済浮揚と活性化を推進するものと大きく期待されています。

新たに設立される会社は、株式会社サン・メンズで、中央保育所西側の三千四百四十六平方

事の着工は九月一日、十二月一日には操業を始める予定。操業開始時は、男女合計五十人の雇用を予定し、月産千二千着、千二百万円の出荷体制で臨みます。さらに一年後には雇用も二倍に増やし、月産五千着、三千万円の出荷を見込んでいます。

協定の締結には、上田様社長、松下町長、小園企業誘致対策室長が臨み、調印後は固い握手を交わし、当地の発展に寄与することを約束しました。



協定後、固い握手をかわしました



ランニング・レポート

多彩なメニューで 演奏会 コールなかたね



熱唱するコールなかたねのみなさん

お母さんコーラスグループ「コールなかたね」(代表 櫻原温恵さん 上方)が、六月二十四日、定期演奏会を開きました。今回は、今年五月に結成されたばかりの町少年少女合唱隊、西之表市の「コールわかさ」、野間校区青年団のミュージカル、そして池田博幸さんのフルート演奏なども加わり、会場の中央公民館は、町内外の音楽愛好家でいっぱいにあふれました。



静かに古曲を奏でる池田さん

コールなかたねがお母さんコーラスとして発足したのは昭和55年、今年で九年になります。57年にはお母さんコーラス連盟に加入し、県の合唱祭にも参加。定期演奏会も今回で五回目です。

演奏会では、まずコールなかたねが大川内國雄さんの指揮、久保田美智代さんの伴奏で「深き川」など七曲を美しいハーモニーで熱唱。つづいて今回が初舞台の少年少女合唱隊が二曲、清らかな歌声を響かせ、男性二

人を含むコールわかさの混成合唱は「海の賛歌」など三曲を披露しました。野間校区青年団は「11びきのネコ」を歌でコミカルに表現し、会場を沸かせました。最後は、池田博幸さんのフルート演奏で、「七つの子」など古くから日本人に親しまれている曲、八曲を情感豊かに奏でました。池田さんは、鹿兒島市の出身で、長年西ドイツの音楽院に学び、現在も数多くの演奏会で活躍する一流のフルート奏者です。郷愁を誘う美しい音色に、会場から惜しめない拍手が贈られました。

今回の演奏会は、主催者の予想をはるかに上回る盛況でしたが、演奏中の雑談、赤ちゃんの泣き声、会場を走り回る子どもたちが多く、演奏者に不愉快な思いをさせたようです。

文化の気運もいよいよ盛り上がりつつある中種子町ですが、芸術を観賞する態度はまだまだ遅れているようです。演奏中は会場に入らない、ぜったいに音を出さないという基本的なマナーだけは守りたいものです。静かに熱心に聴いている人のためにも。



水遊び交流は九月月上旬まで十回ほど行われます。

仲よく水しぶき

水遊びを通して、仲よくなれるようにと養護学校と油久小の子どもたちが、今年夏から水遊び交流を行っています。養護学校は、油久小にプールができるまでは、星原小や野間小を利用していましたが、距離や人数の関係で今年から油久小で交流することになりました。養護学校の小・中学部二十人と、油久小三、四年生二十一人は、昨年対面式を済ませすでに顔なじみ。しかし、実際にプールで遊ぶのは初めてです。

第一回は六月二十一日に行われました。グループごとに列をつかってアーチをくぐるゲームなど仲よく水しぶきを上げ、楽しいひとときを過ごしました。水遊び交流は九月月上旬まで十回ほど行われます。



ランニング レポート

熊野海水浴場 海開き



1年ぶりの海水浴、大はしゃぎする園児

海の季節がやってきた

夏の真っ盛りを前に七月一日、熊野海水浴場の海開きが行われました。

浜では神事が行われ、関係者らが水の事故が起きないようにと安全を祈願しました。このあと中央保育所の園児三十二人がいっせいに海に走り出し、水しぶきと歓声をあげました。

同海水浴場は、訪れる海水浴客に少しでも満足してもらおうと緑化など日々整備を進めています。昨年は天候が悪く、少々落ち込みましたが、キャンプ場を含め年平均七千人ほどが利用しています。

町では、「見る観光だけでなく、自らも参加する観光を」と四年前から地びき網漁も行っています。商工水産課では「台風だけが心配です。天気さえ良ければ、種子島の夏を十分満喫してもらえよう」と期待しています。

'89ミス種子島

中種子からは

園田美智代さん

認定 ミス種子島 種子島観光連絡協議会



左から砂藤さん、園田さん、長野さん

「ルールに積極的にがんばってほしい」とひとり一人に認定証を手渡しました。

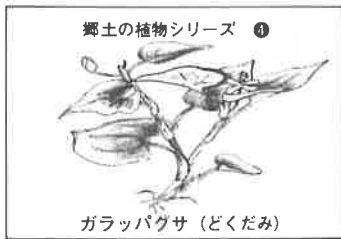
このあと、新旧ミスの引き継ぎが行われ、旧ミスから新ミスへタスキと花束が贈られました。園田さんからは「二人力を合わせて一生懸命がんばります」と抱負を述べました。旧ミスの古一さん(中種子)は「一年間力不足で十分応えられなかったが、たいへんいい経験させてもらいました」とお礼を述べました。

新ミス種子島のプロフィール
西之表市長野桐子さん22歳。園上。種子島実業高校卒業後、鹿兒島相互信用金庫種子島支店に勤務。163㌘50㌘。上から81・58・84。
中種子町園田美智代さん21歳。中山。中種子高校卒業後、鹿兒島女子短大へ、昨年四月から町教育委員会勤務。158㌘48㌘。上から83・60・85。
南種子町砂藤美由紀さん20歳。星永。南種子高校卒業後、コスセテックに勤務。159㌘50㌘。上から85・60・87。

つまべに詠草

昭和道と思はぬ人も道かしてあじあみの
花道辺に香る 島田 曾木 知子
「父の日」に送る送らせしプレゼントが夢
も空しく届く初七日 中山 西川ナツミ
ちらちらと舗道にもゆる陽炎をまぶしく追ひ
てバイク走らす 中山 日高百々代
夏土へのみやげばなしと老い言ひのつく
雨の大橋渡る 女洲 野口フサ子
テープ切るマラソンランナーの吐く息と涙と
汗が一気に噴き出す 牧川 松下みづえ
古希迎え濡れたる紫陽花みつめるわが生れ
し日も雨とききみし 上方 石堂ミヨ

キビ切りのわれにまつはる揚羽蝶エプロンの
花に感はさるるや 満足山 平山 妙子
いつしらの母の生ききし齡こえ青磁の花器に
面輪重ぬる 栄町 西田 睦枝
佛壇に酒なみなみと注ぎたり彼岸に届けよ今
日は父の日 旭町 中間 綾子
細ら波刻めることき風紋の丘に花をそよぐひ
るがほ 伏之前 竹野 昭
生涯を歌に賭けたる美空ひばり五十二才を惜
しまれて逝く 原之里 古市 ノリ
防虫網にかかり動けぬマガエル妻ははつし
て野に放らたり 高峯 石橋 寿栄



< 8月の主な行事予定 > (中公は中央公民館)

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1日・観光週間(～7日) | 11日 縄文土器露天焼(午前9時から町山崎公民館) |
| ・水の日・水の週間(～7日) | 15日 全国戦没者追悼式 |
| ・道路を守る月間(～31日) | 16日 夏祭り(～17日) |
| 7日・食品衛生週間(～13日) | 19日 青少年育成の日 |
| ・町「少年の船」(10日まで霧島青年の家) | 23日 路傍300種学習会(午前9時半から中公) |
| 8日 子牛せり市(～9日) | 27日 親子球技大会(午前8時半から町営グラウンド) |
| 9日 子ども会大会(午後1時から南界小) | 30日 防災週間(～9月5日) |

今回は、先ごろ行われた県
体熊毛地区大会で連続20回目
の優勝を果たした柔道チーム
の監督、蓮子信二さんを訪ね
ました。
—熊毛地区大会は今年で30
回ですが、ほやどと勝ってい
る感じがします。
—「まさか私が県体に初めて出
場したのが昭和42年、十九歳
の時だったと思います。当時
二回ほど南種子に負け、二位
になったことはあるんです。
しかし、それ以前にも何度が
優勝していましたからね。
—まさに柔道王国中種子と
言ったことですね。



△自分で言っても何ですが、過
去、優勝を含め県体では何度が
上位入賞を取っていますから、
県下でも強豪と言われるチーム
になっていると思います。
—この不動の強さは、
△いい指導者に恵まれている、
と言うことですね。指導者が徹
底して中学生、高校生を強化し
ていますから優秀な選手が育つ
とながら、三十五歳までは毎回
マ今年はいいですよ。昨年より
戦力もアップしています。十分
上位を狙えると思います。
■監督としての力量もさあか
りながら、三十五歳までは毎回

レギュラー選手で、小兵なが
ら左からの体活かしは定評が
ありました。役場収入役室勤
務。妻よし子さん(40)と娘三人
息子一人の六人家族。四十歳。



離島青年会議で 思うこと



▲現在土地改良区に勤務している
鎌田良治

「農業従事者が町全体、島全体
のほとんどを占め、漁業もまだ
多かった頃、若者たちは毎日忙
しく、なかなか同年齢の者たち
と接触がとれなかつた。青年
団活動といえ、久しぶりに気
の合う友と出合い、話に花を咲
かせ、知らない間でも人間関係
の輪が広がったものだ。」と、昔
役員をつとめた父から聞く。
それだけに団員が一致団結し、
総勢千数百人という大組織を作
りあげた。リーダーの苦勞もあ
つたろうが、さぞ情熱的な活動
ができたろうと羨ましい限りだ。
なぜ、今団員不足なのか。難
しい問題だが、地元にも魅力ある
職場がない、ということも言え
る。では、魅力ある職場という
のはどういうものか。
都会には魅力ある職場が多い
と言ふ。自分も都会に憧れた一
人である。そこには若者も多く
活気にあふれていて、全てが魅
力的にみえるかもしれない。
しかし、島内であっても自分の
「これだ」と思うものが見つ
けられれば根を下ろすのではな
かるうか。
町連合青年団長
鎌田良治(24)

団員不足の問題のほかにも離
島ではいろんな悩みを抱えてい
た。
団員減少はおろか、島の過疎
化で観光産業にさえ影響がでて
いる沖永良部島や奄美大島。
地区の青年団の半数以上が夫
婦で、男性だけで連合青年会を
発足した三島村。
青年団活動の立て直しをはか
ろうと、消防青年部を発足させ
た下飯島の鹿島村。などいろん
な事例がでた。
しかし、どの島の若者も自分
の住んでいる島を心から愛し、
真剣に島の将来を考えている。
島の産業を自分の生活設計とし
てみつめている姿勢に驚かされ
た。
いずれにせよ、会議で学ぶこ
とは多かつた。
若者は都会を目指し、親たち
の住む町は高齢化が進んでいる
ことは事実だ。
若者よ、ともにもう一度じつ
くり考えてみてはどうか。我々
のふるさとをの将来を。

(先月号の回答)

【有段を目指して】

出題 本因坊 武宮正樹
黒先コウ・7手まで
●ヒントはまず眼形の心所。
3分・1輪、1分・有段者。

詰将棋
出題 八段 北村昌男
●ヒントは玉を3筋から4筋へ
追ってほは絶望です。
10分・2輪、5分・初段以上。
持駒 金銀桂

<詰将棋正解>
黒1とサガルのがけよりのコウを防ぐ
好手で、あとは簡単。

<詰将棋正解> 2 香、同飛、3 銀
成、1 王、3 三馬、同飛、2 金
まで7手詰め。
<解説> 初手に3 馬では1 王、ま
た3 銀成では2 王まで詰みません。
2 香が好打で、同玉なら3 三馬以下
詰み。香の打ち場が2 四では同飛で詰
みません。

ガソリンスタンド 休日営業

8月6日	丸正石油店	(浜津脇)
8月13日	まるい石油	(旭町)
8月20日	種子島石油	(旭町)
8月27日	中種子石油	(旭町)
9月3日	種子島石油	(栄町)

日曜在宅医

8月6日	柏 医 院	(中種子町 ☎7-0033)
8月13日	森 越 医 院	(南種子町 ☎6-0212)
8月20日	高 岡 医 院	(中種子町 ☎7-3100)
8月27日	鎌 田 医 院	(中種子町 ☎7-0325)
9月3日	南種子町診療所	(南種子町 ☎6-1230)

平成元年 9月5日発行 No.406

広報

NAKATANE KAGOSHIMA

なかつたね

元年 9月号

発行 鹿児島県中種子町役場
編集 企画課広報係
☎ ⑦-1111(内線59)



この夏もまた子どもたちは 祖父母のもとで過した成長した孫たちに、幼い日の私が重なるのか……似なくても、いい所まで似ている……母は言うにぎやかで、楽しい、ハハハ……と父は笑う

夏祭りでのかえる飛び競争
元気のいい蛙を探すのはなかなかだった
昔は多かつたんだけどね
農業のせいかな……と父は言う
おかげで地元の子を押えて決勝戦に出場
見事三位に入ったと電話での弾んだ声
おじいちゃんの蛙のおかげだね

おばあちゃんの話し方は、お母さんそっくりだよ
えっ……やっぱりね……そうなのかもしれない
父や母が接してくれたように、話してくれたように
似てくるのかもしれない

この次の節目に父は暮寿を迎える
今も毎朝体操をしているのだろう
季節の草花をいつも部屋に飾っている母は三つ連日
孫たちの便りがそろそろ届くころです

—人口のうごき—
総人口…11,163人(+6)
男 …5,323人(+3)
女 …5,840人(+3)
世帯数…4,166戸(+2)
出生…8人 死亡…8人
転入…27人 転出…21人
()は先月との比較
—8月1日現在—

6月19日〜7月18日受付
おめでた
(こんには) 赤ちゃん
氏名 保護者 住所
橋口 博樹 敬成・ひとみ 伏之前
新里明日香 誠・美佐緒 伏之前
竹野 裕香 真実・久美子 原之里
浦邊 成月 健・政子 西之町
山成 潤 昇・みゆき 西之町
石堂 愛鈴 有史・さとみ 上方
井伊 梨那 和久・真希子 西之町
渡邊みなみ 孝雄・ひふみ 旭町
木下 翔児 健・康子 高峯
榎園 健 実大・浩子 屋久津
大町拓也 信夫・房子 大牟礼

おくやみ 申上げます
故人 氏名 年齢 住所
提 ヨシ 70歳 中田
日高 邦弘 67歳 浜津脇
昇 辰雄 72歳 二十番
石寺 ケサ 84歳 南界園
永浜すみ子 31歳 阿高磯
鳩崎 正俊 48歳 中田
春田 ヨシ 95歳 梶渦
榎田 辰男 84歳 下田
下田 興市 86歳 平野
鐵田 サト 88歳 竹屋野
岡上 ハル 95歳 向町
今門 貞志 88歳 伏之前

(古市 義和 南種子町
山田 恵理子 中田
田原 勝 鹿兒島市
遠藤ひとみ 中之町
向井 寧 熊野
稻子 千笑 熊野

社協だより
次の方々が町社会福祉協議会へ、金一封を寄付されました。これらの善意に感謝するとともに、つつしんで故人のごい福をお祈りします。

編集後記
伍ジュース類は、年を追うごとに増えている。国民一人当たり、年間で百七十五本を消費している計算になる。これらの缶類は、回収された後は、新たな資源として再利用されている。現在再生されるのは約四〇%。大部分を輸入に頼っている日本の現状を考えると、ポイポイ道端に捨てていく気にもなれないと思うのだが。



氏名 故人 住所
提 光典 ヨシ 中田
日高 クミコ 邦弘 浜津脇
昇 スエ 辰雄 二十番
鳩崎 信子 政俊 中田
永浜フサ子 すき 阿高磯
塩浦カズエ ヨシ 梶渦
春田美智子 辰男 平野
下田シズミ 興一 下田
鐵田 二郎 サト 竹屋野

町内の神社やお寺で、旧暦の六月に行われている六月灯の由来について、種子島家の御家年中行事付録の中から熊野神社関係を抜き出してみた。六月十五日の事

一、熊野権現宮祭礼御代参の事。御番頭輪番にて御代参(島主名代)御費銀(その外の事正月、五月、九月十五日祭礼御代参御仕向同じ。今度の御祭礼には本源寺より役僧老人換僧をして下向有之。(換僧下向は三月三日、六月十五日の両度なり)中略

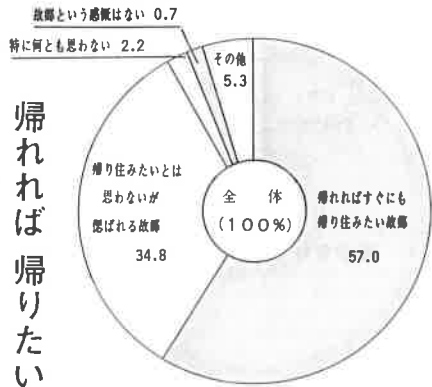
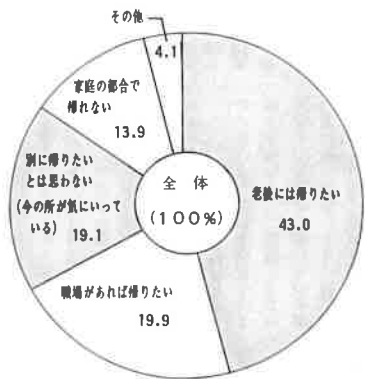
右の通りにて御祭礼相済み、御代参御経頂戴。次に坂井村役目御経頂戴。御三寸御饌米各々給之。(註 御幣のことか)「私、言う。(註 種子島時望付記)今日御祭礼の訳御日記に知れず。(古い記録に残っていない)考うるに、正・五・九月は忌月の故なるべ。今日の御祭礼は六月灯の意ならんか。又、世に諸仏諸神社六月灯あり。この子細を知らず。法門の僧侶に尋ね聞くに、年中寒暑四季の難あり、中には暑気の難至つて重し、然れば暑氣中六月灯とて祭礼を催さば神仏の意を慰め、刺暑邪の苦痛に耐えかねたる一統の衆生も賑やかしき。六月灯に参詣しぬれば、自然と神仏の恵みにて極難の暑邪をも免れるなり。是六月灯の趣意なりとぞ」

註 種子島時望は旧島主の子孫、男爵、昭29没47歳 (潮)

資料館だより 125
「熊野神社六月灯」の事

[将来中種子に帰ってきたいと思いませんか]

[あなたにとって中種子は]



帰れば帰りたい

都会生活には不満も
大阪府 32歳 男性

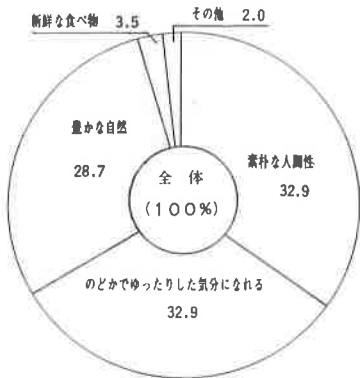
私も高校を卒業すると都会へのあこがれが強かったため、中種子を離れたのですが、その都会生活にも慣れてくると、不自然さと憤りを感じ、帰りたいと思いました。しかし、帰っても働く職場がなかったため、思いどまらず現在にいたっています。同郷の友人も「帰りたい」と会う度ごとに話していました。

郷里に働けるところを
埼玉県 49歳 男性

当時の私たち三、四男坊は、卒業しても郷里に就職する職場がなく、止むなく出郷しました。が、中央に出て特に恵まれた職場はありませんでした。最近就職者には、企業からの受入れ体制万全で、若者は不自由なく悠悠と都会生活をエンジョイしています。

今後、過疎化防止のため大企業などを誘致し、高校、大学卒業者を郷里に就職させることが町の発展につながると思います。甘い考えかもしれませんが、私たちが働ける場所があればすぐにでも帰りたいと思います。

[あなたの住んでいる所に比べ、中種子のどんなところが良いか]



近隣地方の出発者の多くが利用する大阪直行便。ふるさとと結ぶ重要なパイプ役になっています。お盆には増便され往復便で帰郷者らを迎えた。



特集

わたしはこう思う

…出郷者アンケート調査から…

五月号、六月号とシリーズでお伝えしてきた特集「わたしはこう思う」、最終回の今回は、出郷者アンケート調査の結果をご紹介します。

このアンケート調査は、全国各地で活躍されている出郷者百八十人を対象に行いました。このうち回答があったのは七十二名の百三十一人でした。

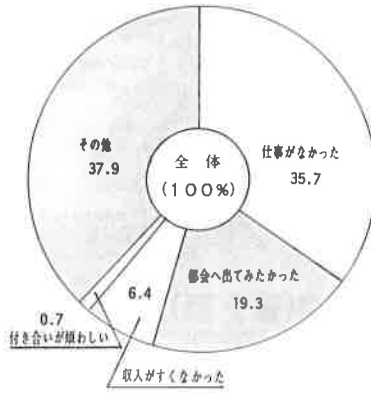
職業では、公務員が二十九%の三十八人で最も多く、つづいて製造業、建設業の順となっています。居住年数は二十年以上が半分以上を占め、回答者は五十代後半から六十代にかけてが最も多かったです。

質問の項目は二十三、最後は「町政に対して何を希望しますか」と、ご意見、ご要望を伺いました。

紙面の都合上、この中からいくらかを抜粋して掲載いたします。

中種子を離れたのは 仕事が多かったから

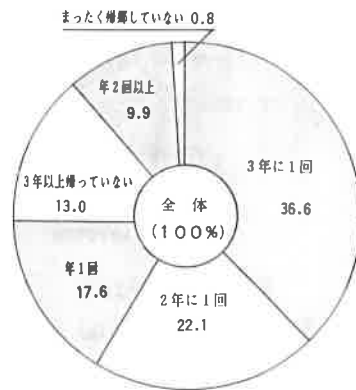
[中種子を離れたわけは]



[帰郷できないわけは]



[どのくらい帰郷しますか]



特集「わたしは思う」

「種子島は知っているが、行ったことがない、行く機会がない」という声を耳にします。一度は行ってみたいと思う人はごまんといえるはずです。

例えば、種子島―宮崎間に航空路を開設し、宮崎から南下しながら窓から日南海岸、都井岬を眺め、種子島に誘う。そこで種子島、屋久島の観光ルートに乗せる。

また、必ずやってくる高齢化社会に対応して、海岸線の風景の良い所にシルバゾーンを造成し、団地、遊戯場、浴場、ゲートボール場、ゴルフ場、さらに釣り場を設ける。都会のわずらわしさからのがれたい高齢者は多いはずです。長生きの楽園として売りこんだらいかがでしょうか。

「最も身近に行ける豊かな島種子島」屋久をキャッチフレーズとしてPRすれば、これからの観光開発はすこぶる希望がもてると思います。有識者に種子島観光開発プランを分析してもらい具体的プロジェクトを作成してみるのも有効ではないでしょうか。

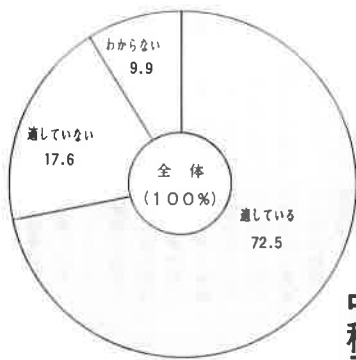
マリリゾート計画を
大阪府 47歳 男性

今後の日本経済の発展、週休二日制などの実施にともしない日本人の余暇の多様化、高度化が期待されています。

方策の一つとして、地の利を生かし、マリリゾートについての構想を検討してみたいです。マリンスポーツエリアを中心として、ヨットハーバー、青少年海洋センターなどを核に海洋スポーツ、レクリエーション基盤を整備する。

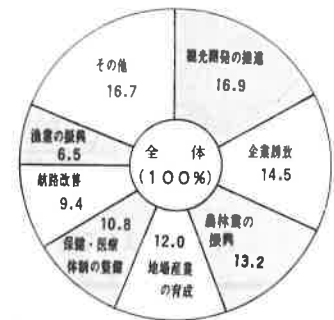
ヨットハーバーは熊野周辺に、浜津脇、納官間の海辺地域を軸として海洋レクリエーションエ

〔中種子はリゾート地として適しているか〕



中種子はどう進むべきか

〔何に最も力を入れる必要があるか〕



- 観光についての要望
- せっかくの自然をPRしてほしい
 - 海洋レジャー施設の充実
 - ホテル、旅館の充実
 - 観光地を整備し、案内板をたてる
 - 道路の整備

島内のまとまりが大切
西之養市 33歳 女性

中種子町の現在の活動はある程度活発であると思います。しかし、町民のセンスはかたなり低いと思います。商業においては昔ながらの感じで近代的な感覚がなく、農業にしても島内一恵まれた耕地を活かしていないような気がします。

これは、西之養、南種子でも言えることです。島民はもっと大きな心で未来を見て協力し合わなければなりません。ロケットマラソンにする、もっと種子島の一大イベントとして島をあげてPRすることが大切です。全島で四万人程度。一市二町

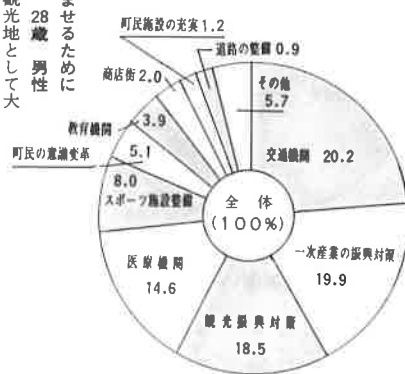
でなく種子島市の気持ちで一つにならねば。小さな心ではまともりません。

第一次産業の振興と後継者
茨城県 72歳 男性

町政が最も力を入れねばならないのは、農林水産業の振興と後継者育成に重点を置いた青少年の健全育成、学校教育施設の整備であると思います。

第一次産業の振興は、中種子町のおかれている暖地生態系（暖地帯に位置し、黒潮に囲まれた温暖な気候条件の下、照葉樹林を極相とする標高の低い丘陵地に恵まれて）の利活用（保全）と緊密に結びついた施策

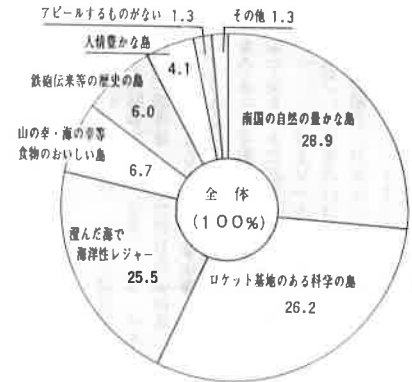
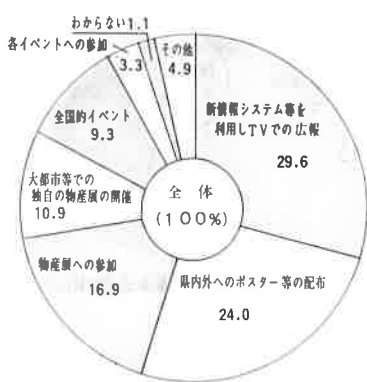
〔町を良くするために改善しなければならないことは〕



まず交通機関の整備を

- 交通機関についての要望
- 飛行機のジェット化
 - 定期路線バスや観光バスの本数が少ない
 - 車の無い人や観光客が不便、もっと回数を多く
 - 東京方面からの飛行機の直行便がほしい
 - 帰省のおり、時間と経費がかかりすぎる

中種子(種子島)は何をアピールすべきか



〔どんな方法が効果的か〕

種子島をシルバゾーンに
宮崎県 51歳 男性

これからは種子島は屋久島とタイアップした観光に重点を置く必要があるのではないかと。海外旅行、沖縄観光の次は、となると、一泊二泊のひざ元の観光が多くなるのではないだろうか。

〔島外へアピールする場合何を強調すべきか〕

観光でアピール
大阪府 35歳 男性

観光開発の推進にも努力する必要があります。大阪で旅行代理店に立寄っても、種子島のことを紹介したポスターやパンフレットなどはほとんど見かけたことはなく、また、テレビで見たり聞いたりしたこともありません。

職場で種子島の話が話題になっても、鉄砲伝来の地とか、ロケットセンターの島とかで、旅行したいとまで答える人は少ないです。その理由は、遠くて不便な感じがする、旅費が高すぎる、見物したり遊んだりするところが少ない、いい宿泊施設がないなどと思いついているからだと思います。

となりの屋久島に負けず、観光種子島をもっとアピールすべきだと思っています。

参院選 本町の結果

開票結果

選挙区

鎌田 要人……………3,386票
 久保 亘……………2,465票
 太佐 順……………78票
 げじま 奉文……………201票

比例代表区

得票数	政 党	得票数	政 党
15	ちきゆうクラブ	5	太陽新党
1	世界浄霊会	19	老人福祉党
4	社会主義労働者党	2	道州制推進会議
27	税金労働者党	10	MPD・平和と民主運動
7	大行社政治連盟	5	緑の党
2,065	日本社会党	4	教育党
86	スポーツ平和党	4	日本青年社
234	日本共産党	2,616	自由民主党
72	年金労働者党	19	福祉社党
15	人間党	32	サラリーマン新党
24	太陽の会	8	原発いらない人びと
12	じよぶ	34	第二院クラブ
18	新政クラブ	398	公明党
0	日本誠流社	1	雑民党
1	主権在民党	111	民社党
25	新自由クラブ	16	国会議員を半分減らす会
13	新自由党	2	日本世直し党
4	全歩会	3	政治公団太平会
31	進歩党	1	環境党
12	みどりといのちのネットワーク	0	日本国民権利擁護連盟

部落別投票率

部落名	(%)	部落名	(%)
中山	77.18	二池	85.37
大平	63.03	十番	74.07
池之向	75.36	秋佐	65.45
伏之前	64.54	戸畑	93.75
松原	56.06	向井	66.00
上方	65.74	中町	81.82
横町	73.95	都原	73.05
旭町	64.03	古房	79.35
桑田	71.79	広ヶ野	74.07
轟田	68.60	東之町	87.65
町山崎	72.27	東女	90.48
阿野	70.59	向野	69.07
竹屋	74.40	今野	76.19
大久保	100.00	西之町	76.85
高塚	69.57	美座	70.92
大牟礼	54.13	能野	83.58
伊原	80.68	新町	93.46
下田	70.91	塩屋	87.90
満山	83.94	田島	81.25
阿保	64.29	東本	68.75
福丸	79.59	目村	70.27
あかつき	0	南界	93.88
牧川	81.05	中園	76.88
浜津	77.82	長谷	67.27
上之元	80.00	原久	73.40
竹之川	67.85	尾津	66.44
広野	75.00	腕海	75.49
深久	64.00	衣之平	73.36
砂中	90.74	西野	87.25
宝来	93.33	輪野	80.82
平之	86.16	阿高	79.50
原里	80.11		
春田	86.21	合 計	74.29

夏祭り

大いににぎわう

恒例の夏祭りは十六日の前夜祭、十七日の本祭り、盛大に行われ、町民や帰省者を大いに楽しませました。
 十六日は子どもたちが主役。昼はうなぎのつかみ取り大会、夜はカラオケ大会と、多数の父兄らの声援を受け元気いっぱいがんばりました。
 十七日の午後からは祭りも本

番。みこし、道中踊りがいっせいに繰り出し、沿道の水しぶきを浴びながら市街を一巡しました。今年は自衛隊の音楽隊も参加し、祭りに大きな華を添えました。
 夜の納涼大会では、美しい花火の下、青年団、婦人会の踊り、芸能歌謡ショーなどバラエティに富んだ催しが行われました。



婦人による道中踊り



うなぎのつかみ取り大会



野間校区青年団のアッチャメ



ずぶぬれになってのみこし



祭りの草、ミス種子島

がんばってます！

私たちは近畿中種子ゴルフ会。結成して早や一年が過ぎました。現在会員数約四十人ほどですが回を増すごとに増員されています。年に三回コンペを行っています。近い将来ふるさとにゴルフ場がオープンしましたらコンペでお伺いしたいと思います。とりあえず近畿の仲間たちへ。九月十六〜十七日ー親睦旅行会 十月十五日ー第四回ゴルフ大会 十月末日ー名簿作成しめ切り ふるってご参加を！

近畿中種子ゴルフ会 浜脇光司 藤上憲一



近畿中種子ゴルフ会

パソコンをプレゼント

このほど大山組(大山隆行社長)と熊野建設(熊野修社長)から、町内各小学校にパソコンが贈られました。大山さんらの「未来を担う子どもたちの情報教育に役立ててほしい」という願いがこめられています。



助役から感謝状を贈られる熊野富美枝さんと大山隆行さん



ランニング・レポート



やったぞ、柔道日本一 全国大会で 牧瀬君優勝!

八月二十一日島根県で行われた全国中学校柔道大会で、牧瀬純郎君（野間中三年 中山）が個人戦軽中量級でみごと日本一の栄冠を手に入れた。

もちろん町柔道会史上初めての快挙。県内でも同級では初めて、全階級でも二人目ということです。

二十二日は祝賀会が開かれ、牧瀬君をはじめ県大会に出場した野間中の部員らは盛んな祝福を受けました。

牧瀬君は、七月下旬に行われた県中学総体、八月十日の九州大会でそれぞれ優勝し、今回の全国大会に臨みました。全国大会では決勝までの六試合をすべて一本や優勝勝ち。「予戦リッ

ン」で、監督の坂口純弘先生は「負けん気が強く、スタミナ抜群の選手だ。休みなく技をしかけ積極的に試合を展開したことが良かった」と満足の表情をみせていました。

牧瀬君が柔道を始めたのは小学校三年。双葉スポーツ少年団でめきめき力をつけ、中学一年で、県大会のレギュラーに選ばれるほどになりました。今年二月には、県新人柔道大会で団体戦優勝に大きく貢献しています。

軽中量級は体重55kg、65kgで、



君の父一郎さんと母弘子さん

クの第一試合では緊張し、思うように動けなかったが、二試合目からは調子を取り戻した」と振り返っていました。また「べつに苦戦するような手強い相手はあまりいなかった」と頼もしい言葉も返ってきました。

町技連会の主催で、バイオテクノロジーノロジーの研修会が町農協、新光糖業など各機関から約六十人が参加して開かれました。

講師は東京電機大学教授の権田金治氏。氏はバイオなど生物物理学の権威で、科学技術庁や環境庁など国の機関の要職を務め、全国各界で活躍しています。

最近新聞紙上等でバイオテクノロジーが大きくクローズアップされていますが、本町でも今後、積極的に取り組む姿勢です。さし当たりふるさと創生金一億円の半分、五千万円を優良種苗供給バイオ人材育成基金として充て、バイオに精通した技術者の養成と技術研修に役立てる計画です。

すでにオーキについては、美座の種苗管理センターで無病苗



防災センターで行われた研修会

の供給にバイオを応用していますが、これからは町でも本格的に園芸作物や花きなどにバイオを生かす農業の振興をはかる予定です。

今回の研修会はそのための第一段階。バイオの意義や実用性、さらに今後の開発について熱心に学びました。

バイオで農業振興を

牧瀬君はぎりぎりの64kg。身長も66cmと小柄ですが、右からの背負い投げは定評があります。

兄の洋人君（高二）も中高の柔道部のレギュラー。先日福岡で行われた金鯱大会の団体戦で好成績をおさめるなど、兄弟そろって有望視されています。

中種子からこの全国大会に出場したのは現在東海大学で活躍している柳田勝浩君ただひとり、六年前重量級三位の好成績を残しています。



ランニング レポート



ゴルフ場 いよいよ着工

岩崎産業（岩崎福三社長）が増田に建設を予定していたゴルフ場の起工式が七月二十九日、現地秋佐野で行われました。

平成三年四月のオープンを目指し、いよいよ建設工事が始まります。

全国的に大型リゾート構想が打ち出され、各地で開発が計画される中、種子島にも観光レジャー産業をと、ゴルフ場の建設計画が持ち上がったのは昭和五十九年。許認可申請などに四五年ほどを費し、昨年ようやく認可が下り建設のめどが立ちました。

その後、種子島ゴルフ株式会社を設立し着工に向けて準備を進める一方、約百畝の広大な用地の買収も百三十五人の地権者の

島ゴルフ場新設工事起



祝賀会に先立ち、ミス種子島 園田さんから岩崎福三社長に花束が贈られました

協力を得、滞りなく終えることができました。

設計はアメリカのカールリッテン氏。現地調査で「必ずりっぱなゴルフ場になる」と太鼓判を押しただけであって、県内でも有数のゴルフ場と期待されています。

建設予定地は、標高百〜百六十mのゆるやかな丘陵で、東に太平洋、南に宇宙センターを臨むことができます。計画では九十九万九千平方メートルの十八ホール、全長六千三百四十一メートルの本格的なコースを備えます。

起工式には岩崎社長、松下町長、施工業者の関組九州支店長ら百人余りが出席し、無事故で工事が進捗するよう祈願しました。

工事安全を祈り玉串を捧げる町長

オープンが待たれる種子島ゴルフクラブ（仮称）には、県内外から観光と併せたゴルフファンが多数訪れると見ており、観光レジャー産業の大きな担い手になるものと期待されています。

また、ゴルフクラブでは、フロント、事務員、キャディーなど計三十九人の地元雇用も予定しており、地域の活性化にも貢献することでしょう。

松下町長は「待ち望んだ起工式にやっとうき喜びたい。今後は新種子島空港の建設を早急に実施させ、海と空のジェット化でゴルフ場とつないでいきたい」と今後の構想にも大きな意欲を見せていました。

つまべに詠草

梅漬けの赤く染みたるころあびと蓋を開くれ
ば紫蘇の香がし 平 編 笹川 小み
うら上げし火花は星空に消えゆきぬ見上ぐる
子らの想ひは何ぞ 中 山 野角 清子
願ひごとは「虹のプランコに乗りたい」と七
夕に小さな夢もつ女童 町山崎 石堂 京子
日盛りを木陰に翹へば葦取りにかぶりし帽子
の汗がにはへり 中 山 石堂 スミ
中空に白きカーテン引かれをり独り住む娘の
マンション五階 満足山 日高 タエ
ほどぼりの残る庭辺にひまはりの疲れしどば
かりうな垂れてゐる 決津脇 橋口 俊子

西瓜割れば汗によごれし作業衣に日やけの顔
が眼はふ木陰 満足山 横山美津絵
軒先にのうせんかぶら垂れて咲き橙色に夏を
彩る 中 山 馬場 サツ
三階の窓を開くればあき籠て霧島の裾野は湾
のごとしも 田 島 鎌田 スエ
体格のよき羨兒なれば振持つ人の足元乱れつ
つゆく 高 峯 中水イサ子
八月は何をか語るべききたまたまた焼かれは
てし月還りくる月 原 尾 都 樹実生
花の上になす墨色の火山灰降らす鹿兒島青ら
の幼の絵はも 牧 川 有留よし子

郷土の植物シリーズ ⑥



おおしまぐさ (ムラサキカタバミ)

(9月の行事予定)

- 1日・防災の日
 - 健康増進普及月間 (~30日)
 - がん征圧月間 (~30日)
 - 精神薄弱者愛護月間 (~30日)
 - 障害者雇用促進月間 (~30日)
- 2日 第38回県青年大会 (~3日 鹿児島市)
- 8日 小学校水泳記録会 (午前10時から野間小)
- 9日・教急の日・壮年ソフトボール大会(午後12時半から増田追跡所グラウンド)
- 10日 野間校区運動会 (午前9時から畠田グラウンド)
- 13日 町作文審査会
- 15日 敬老の日-敬老会-
- 16日 青少年育成の日
- 17日・中学校体育大会
 - 商工会ゲートボール大会 (午前9時から畠田グラウンド)
- 20日 動物愛護週間 (~26日)
- 21日 秋の全国交通安全運動 (~30日)
- 23日・秋分の日
- 24日 環境衛生週間 (~10月1日)
- 結核予防週間 (~30日)
- 26日 第3回定例議会
- 28日 福寿大学奉仕作業 (午前10時から陸上競技場)

今回は、八月十八日夜、百
を越えるみな月下美人を
咲かせた美原節子さんを訪
ねました。
— それにしてもおめでたに咲
きだしましたね。
— 「お花を一度に咲くのは初
めです。」
— 今夜、こんな夜に咲くのは
分かっていたんですか。
— はい。タビ三十個ほど咲い
て、ほかはほとんど咲いて
ました。お花も今夜はもうな
あ、と手馴れていました。
— 何時ごろから咲いたんで
すか。
— 十七時ごろです。今はこんな



美原節子さん

にきれいに開いていますが、十
一時ごろには全部しぼんでしま
います。
— わずか二、三時間の一度き
りの晴れ姿をいつとみすね。
— 親戚や友人を呼びいっしょに夜
の花見を楽しんでいます。
— 楽しみですね。
— 顔を近づけるとあまり感じな
いんですが、庭の曲りや家の中

にほのかな香りを運んでいます。
— 「月下美人のように美しくけれ
ばいいのですが」と苦笑する美
原さんは、石橋建設のプラント
勤務。夫の安志さん60、高二の
四人家族。



美穂さん、中二の雅美さんの四人家族。



宇宙環境への適応を診る訓練

2年後に迫る 日本人初の宇宙飛行

平成三年六月、日本人が初めて宇宙に
飛び出します。NASA(アメリカ航空
宇宙局)の協力を得て、宇宙でいろいろな
実験を行うためです。
すでに三人の宇宙飛行士(日本人搭乗
科学者)が、昭和六十年八月に選ばれ、
現在は宇宙科学や宇宙工学などの 般訓
練を受けています。
**無重力の影響を
調べる実験**
日本人宇宙飛行士が行う実験に
は、大きく分けて二つの種類があります。
一つは材料実験と呼ばれるもので、例
えば無重力状態で半導体の結晶を作ると
どういう特徴が表れるかを調べたりする
ものです。

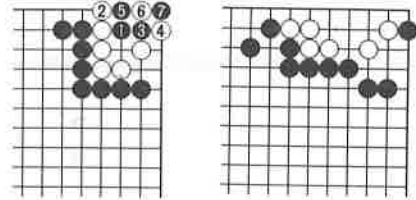


訓練に余念のない 日本人宇宙飛行士たち

もう一つは、宇宙空間が生物にどんな
影響を与えるのかを調べるなどの、ライ
フサイエンスについての実験です。
**訓練の六割が
実験の手順を繰り返すこと**
ところで、宇宙飛行士の訓練というこ
と皆さんはどんなことを思い浮かべるでし
ょうか。打ち上げのときの加速度に耐え
たり、無重力で動き回ったりするための
訓練でしょうか。
しかし、これらは、訓練というよりは
宇宙という特殊な環境に適応できるかど
うかを診る、医学的な検査の意味合いが
強いのです。

訓練のほぼ六割を占めるのは、目的を
遂行するために実験の手順を繰り返すこ
とです。また、変わったところでは、英
語の勉強があります。これは、アメリカ
人宇宙飛行士とのコミュニケーションや
地上との交信を支援なく行うためです。
日本人初の宇宙飛行—ぜひ成功させ
てもらいたいものです。

(先月号の回答) 【有段を目指して】



【詰碁正解】
まず黒1のツケ、白も2の受けが好手
で以下互いに手筋を繰り返して黒7ま
でコウが止解。
【詰碁解答】2：銀、同桂、1：飛
成、同玉、2四桂、2：玉、1：歩成、
同玉、1：二金まで9手詰め。
【解説】初手1：飛成が有力ですか同
玉、2四桂、2：玉と成って詰みませ
ん。初手に銀を2三に捨て、この地点
を埋めておくのが要点です。

出題 本因坊 武宮正樹
●先白死・9手まで
●セント：3手目が好手、難問
5分で3段、3分で高段者。

出題 八段 北村昌男
●セント：3：銀が動くとき玉が
上部に出てきます。5分です。
10分で2級、5分です。

ガソリンスタンド 休日営業

- 9月3日 種子島石油 (栄町)
- 9月10日 種子島石油 (田島)
- 9月15日 農協給油所 (伏之前)
- 9月17日 丸正石油 (浜津脇)
- 9月24日 まるい石油 (旭町)
- (9月23日は全店営業)

日曜在宅医

- 9月3日 南種子町診療所 (南種子町 ☎6-1230)
- 9月10日 恒吉医院 (中種子町 ☎7-0047)
- 9月17日 柏医院 (中種子町 ☎7-0033)
- 9月24日 森越医院 (南種子町 ☎6-0212)
- 10月1日 高岡医院 (中種子町 ☎7-3100)
- (9月15日・23日は休診です)

特集

ふるさと創生

1億円は

こう使われる

竹下元閣が「政治改革とともに内政の柱」と行った「ふるさと創生」。その目玉とも言える「ふるさと創生一億円事業」がスタートして八カ月が過ぎた。全国の市町村に一律一億円を交付する「これが刺激となって全国で地域おこしの熱が急速に高まっている。」

本町でも、アイデア募集など懸命にその使途の模索を続けてきたが、この八月ようやく方針が固まり、具体的な事業計画が決まった。

自主的な盛り上がりを目指す

政府も、この一億円を「自ら考え自ら行う地域づくり」の起爆剤と位置づけ、自主的、主体的な地域づくりの盛り上がりを目指している。

一億円の交付は前年度と今年度の二回に分けられ、一回目が二千万円、二回目が八千万円である。使途については「市町村自ら知恵を出してもらいたい」としているだけで、特に制限は設けていない。が、あえて例をあげれば、人材の育成、むらおこし、地域間交流、国際交流、伝統文化の伝承、特産品の開発、地域産業の育成、イベントの開催、福祉サービスの充実、健康づく

全国のほとんどの市町村は歓迎ムードだが「過激なもの」に終わらせないようアイデアを絞り出しているようだ。当初、急な話に戸惑いがあったが、しだいに各市町村の動きが本格化してきている。

住民のアイデアを生かそう

地域の特性を生かし、自主的な地域づくりのためには、なんといつても住民の声が反映されなければならない。広く住民参加のもとに地域の知恵と情報を結集し、町をあげてこの事業に取り組んで実りある成果をあげることが必要である。

このようなことを踏まえ本町では、一月にふるさとづくりア

町民や出郷者から寄せられた多数のアンケートや提言



今年一月二十九日に行われたふるさとづくり講演会



昭和十五年に町政を施行し、今年で四十九年目を迎えた中種子町。

「愛着と誇りをもてる豊かなふるさと創生」を基本理念に町民一丸となって歩んできた。

来年は五十周年の大きな節目の年。ふるさと創生事業の推進や、長期振興計画の策定など、21世紀に向け、大きく変わろうとしている。



ドバイサー四人を迎え「ふるさとづくり講演会」を行った。また、一月から三月にかけては町民意識調査、出郷者アンケート調査、そしてふるさとづくりアイデア募集を行った。

これらのデータは、過疎対策問題懇話会や企画委員会などに貴重な資料として提出され、ふるさと創生事業のみならず、長期振興計画にも反映されている。

さて 本町では一億円をどう使うのか

今日のパンより明日の木として

町長 松下道男

「愛着と誇りをもてる豊かなふるさと創造」をキャッチフレーズに町政を進めているが、わが中種子は来年町制施行50周年という節目を迎えようとしている。この記念すべき年に、21世紀へつなぐ第三次の新たな長期振興計画がスタートする重要な時期にさしかかっている。

八割の方が「住みよい町だ」、「町行政に関心をもっている」、「農業の振興が一番」と答えている。一方、不満足は「農業の振興対策」がトップ。提言の中では「恵まれた耕地条件など特性を生かせ」、「やる気、意識

改革が一番だ」、雇用の場の確保」などがあつた。出郷者も迷わず「第一次産業の振興」、次いで「観光振興対策をあげ」など望郷の念いつぱいの提言が多く、粉骨砕身、それこそ「やるしかない」と痛感した。

ところで本町は今日、そして将来とも第一次産業の振興を主軸に、中でも農業の振興が一番である。目先の変わった対策はともかくも、農業を中心に捉えてこそまっとうな、わがふるさと創造である。

基幹作物のさとうきび、甘藷に併わせ、野菜、花きについて産地確立をはかり、平成二年度から建設が期待される新種子島空港のジェット化により希望もてるフライト農業を自ざしたい。今こそ、産業としての農業の体質改善をはかり、農業中種子の基盤維持を進めながら、他産業へ運動させていく考えである。

時あたかも竹下元内閣は全国の自治体に、一律一億円、いわゆるふるさと創生資金の配分を決めた。その良し悪しは別として、今回の創生資金は、政策フロンティアを開発するきっかけ資金と位置づけ「今日のパンより、明日の木を植える」発想に立って、白紙の状態から今、わが町にとって中長期的な政策として、何が最も必要であるかという点を改めて考えさせられた。

このような中、住民の声を反



一億円はこう使われる

ふるさと創生一億円に、まず二百五十万円の助買をつけ、計一億二百五十万円で、次のような事業を推進する方針である。

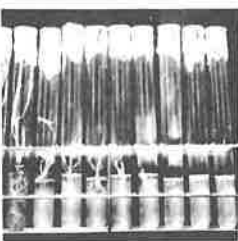
優良種苗供給パイオ

人材育成基金

事業費 五千万円

目的 調整作物(甘藷、米など)の代替作物である花き、園芸、果樹、薬草をパイオ栽培し、農家の所得向上をはかる。

このために、パイオに精通した技術者の養成と研修をするための基金を設置し、基金から生



パイオテクノロジーを利用し、さとうきびの無病苗を生産する(種苗管理センター)

ずる基金でこれらに対処する。長期的にはタネのあるまづくり(中種子)構想へ展開する。

事業内容 ハード：補助事業でパイオ育苗供給施設を建設する。ソフト：管理面については基金の益金により人材の研修などを実施する。

町制施行50周年

ふるさと再発見事業

事業費 三千万円

目的 平成二年度は町制施行50周年の年である。ふり返る50年

これからの50年の節目にイベントなど各種の事業を行う。また出郷者をふるさとへ帰す運動を展開し、ふるさとの良さを見直すことによつて二世、三世の都市在住者と交流をはかりむらおこし運動につなげる。

事業内容

観光の振興

事業費 二千万円

目的 空港の整備、ゴルフ場の建設、高速船の就航とあいまつて、週休二日制が導入され、快適で、参加する観光が要求される。

このために自然を生かした観光地を整備するとともに、島外客をあたたく迎えるためソフト面を重視し、自然と人情あふれる豊かなふるさとづくりに努める。

事業内容

- 歓迎サインタワーの設置
- 町境：牧川、長谷、熊野、犬城 空港、商店街など
- 防波堤の緑化による魚釣り公園の設置(増集化の促進)

- 50年のあゆみ
- 記念誌とビデオ制作
- 記念イベント

里帰りツアー(近畿、関東中種子空)。里帰りフェスティバル。空港感謝祭(デモフライト)。

- 運動公園シンボルモニュメント
- 記念碑建立(大規模事業)

海外派遣事業

事業費 二百五十万円

目的 若年層の流出、高齢化の進行など、まだ過疎化は進行している。高卒者の大半が島外へ去り、帰島する人が少ない現状である。

事業内容

- ハイテク産業：モントレー地方(アメリカ)に二人。
- 花き園芸振興：サリナス地方(アメリカ)に一人。



アンケートや提言の集計結果は、過疎対策問題懇話会などに outcomes、ふるさと創生事業計画などに反映された



中小企業で働くみなさんに 低金利融資のご案内

中小企業や商店などで働くみなさんに超低金利の融資を受け付けています。また、教育ローンなど各種ローンはいつでも取り扱っています。お気軽にご利用ください。

●融資を受けられる人
中小企業や商店などで働いている方で、同じ職場に一年以上勤めている人

●制度のあらまし
融資限度額—最高二百万円
返済期間—五年以内 融資金利—年六・八割 用途—多目的に利用できますが、裏付書類が必要 受付期間—平成元年10月31日まで、お申し込み・お問い合わせ—鹿児島県労働金庫種子島支店 ☎0832

農業用動力運搬車は 乗車禁止

県では、農業機械作業の事故防止をはかるため広く安全確保を呼びかけています。

しかし、最近の事故をみると死亡者の高齢化、また作業機種では動力運搬車による事故の増加がめだっています。

万一事故が発生した場合、当事者や被害者への損害ははかり知れないものがあります。

法的にも動力運搬車の道路での乗車は禁止されています。農作業の安全からこのことを必ず守るようにしましょう。

法律相談所開設

民事、家事に関する紛争でお困りの方は、ご相談に応じます。

日時 10月16日～10月21日
午前10時～午後5時(ただし土曜日は12時まで)
場所 種子島簡易裁判所
主催 種子島調停協会
詳しくは種子島簡易裁判所まで ☎2101550

秋の行政相談

十月十五日から二十一日までの一週間は行政相談週間です。

この一環として本町でも、行政相談員の松島吉さんが左記の日程で相談所を開設します。行政に関する苦情、意見、そのほか相談ごとなどがありましたら、ぜひこの機会をご利用ください。相談は無料、秘密は厳守します。

日	時	期	設 場 所	部 署 名
10/12	午後2時～2時	伏之前	伏之前 公民館	浦之向、松原、伏之前
10/13	10時～2時	二十番	二十番 公民館	浦之平、秋佐野、二十番
10/14	10時～2時	中之町	中之町 公民館	向井町、藤原、古房、中之町
10/16	10時～2時	原之里	原之里 公民館	宝来、平嶋、春田、原之里
10/17	10時～2時	漁民センター	漁民センター	牧川、新津島、上之嶋、飯元、広野、深久館
10/18	10時～2時	中山	中山 公民館	大平、中山
10/19	10時～2時	牧場防災センター	牧場防災センター	野間校区

町制施行50周年に向け あなたの知恵と 写真を拝借

来年は町制施行50周年の年で、町ではこの記念すべき年に、過ぎ去った半世紀を振り返り、

先人の偉業に感謝し、来るべき21世紀へつなぐ新しい中種子町の創造に向けて町民総参加の各種事業を計画しています。

そこで今後の事業を進めるに当たり広く町民のみなさんから作品や資料を提供いただければと考えています。みなさんのご協力をお願いします。

応募作品

●50周年記念事業のキツヤチフレーズ (例:火山と未来のフェスティバル—サザンビア21)

●50周年記念シンボルマーク
●運動公園の愛称
●優秀賞は各一点で、一泊二日の屋久島旅行にご招待します。また、入選は各二点とし、五千円の図書券が贈られます。

写真の募集

過去50年を振り返る時、私たちの中種子町も、歴史の営みの中で、幾多の変遷を重ねてきました。出征、空襲、終戦、そし

て戦後の馬耕試験やさとうすめなど当時が懐しく憶ばれることでしょう。

この50年の歩みの中、人々のくらしや産業など写真に記録し大切に保存している人はいないでしょうか。

記念誌の作成にあたりしばらくお借りいただければと思います。ネガでもプリントでも結構です。提供いただいた方には、もれなく粗品を差し上げます。しめきり、どちらも平成元年十二月十二日までとします。規格は問いません。

第三次自衛官募集

○応募資格 採用予定月の一日現在で十八歳以上二十五歳未満の者で中学卒業程度の学力を有し、自衛隊法に定める欠格事項に該当しない者。

○募集期間 平成元年十月一日から十二月三十一日まで。
○試験期日 随時
○試験場 自衛隊鹿児島地方連絡部種子島駐在員事務所(熊毛支庁内)
○応募手続き 役場総務課まで

椋先生の思い出はありませんか

二年前、八十二歳で亡くなった児童文学者で元県立図書館長の椋鳩十さんの文学記念館が、加治木町に建てられることになりました。

開館にあたり、同館の建設運営委員会では椋さんの生前の資料を広く県内外から集めています。

椋さんは昭和五年三月に法政大学を卒業後、代用教員として中種子高等小学校に三カ月間勤務されました。このころ、越中ふんどし授業(で上司のお叱りを受け辞職(昭和五年七月)さ

れた逸話もあります。

当時の高等科一、二年生は、十四～十五歳にあたり、現在七十三～七十四歳とされています。児童文学者で有名になるにつれ「あつ、あの先生か」と思われ出しておられる方々もいらっしゃるのではないのでしょうか。

椋さんにもつわる話題や思い出をお待ちの方、ぜひお聞かせください。

連絡先 野間小教頭黒岩和宏 ☎⑦二九一 できれば十一月末日までお願いします。

「ごんじですか 建設業関係の皆さん

建設業を営む方々や建設現場で働く皆さん、国が作った「建設業退職金共済制度」をご存じですか。

この制度は、昭和三十九年に中小企業退職金共済法により作られた制度です。

この制度の特色は、一般の退職金のように労働者が事業所をやめた時支払われる退職金ではなく、建設業というひとつの業種の中で働く限り、事業所に雇用された期間全部を通算して退職金を支払うという、いわば建設業界ごみの退職金制度です。

退職金は国の制度ですから、確実、安全であり、極めて有利な回りりで計算されています。この制度についての詳しいことは建設業退職金共済事業鹿児島支部まで。〒890 鹿児島市鴨池新町6-10鹿児島建設センター内 ☎0992⑨211

職員異動

9月5日付、()は旧任です。

- ▽秋田安之 総務課参事(福寿園園長)▽笹川憲昭 企画課参事(町民課長)▽田中安一 給食センター所長(社会教育課長)▽長田徳行 社会教育課長(あかつき学園園長)▽浜脇末守 町民課長(中央保育所所長)▽日高美良 農地整備課長(農業委員会局長)▽田中賢次 農業委員会局長(企画課電算係長)▽日高有一 あかつき学園園長(総務課交通消防兼管財係長)▽日高健治 中央保育所所長(中央公民館公民館係長)▽石堂英夫 福寿園園長(総務課庶務係長)▽熊野郁夫 総務課庶務係長(建設課管理係長)▽石堂純一郎 保健衛生課係長(商工水産課商工係長)▽石堂一 商工水産課商工係長(農政課農政係長)▽川原弘美 中央公民館公民館係長(福寿園事務係長)▽松下久男 総務課消防交通係長兼管財係長(農業委員会振興係長)▽古野信義 農政課農政係長(農政課農業構造改善事業係長)
- ▽日高正二 建設課管理係長(保健衛生課係長)▽遠藤幸穂 農政課農業構造改善事業係長(水道課庶務係長)▽遠藤明 水道課庶務係長(建設課失業対策事業係長)▽岐島善三 建設課失業対策事業係長(福寿園)▽野崎健 建設課空港管理事務係長(建設課)▽平山永久 農業委員会振興係長(農地整備課)▽塩浦寿一 企画課電算係長(企画課)▽牧瀬正一 福寿園事務係長(町民課)▽松原孝三 町民課(保健衛生課)▽森山辰郎 保健衛生課(農政課)▽日高久子 保健衛生課(農政課)▽熊野里美 農政課(保健衛生課)▽藤山昭市 農政課(建設課)▽日高むつ子 あかつき学園(福寿園)▽長田認 福寿園(農地整備課)▽上浦和子 福寿園(あかつき学園)▽稲子さゆり 中央保育所(保健衛生課)▽池端みどり あかつき学園(福寿園)▽牧瀬洋子 福寿園(あかつき学園)▽昇ゆかり 町民課(中央保育所)▽雨田奈津紀 保健衛生課(町民課)▽立切直美 福寿園(選挙管理委員会)▽前平智明 建設課(新採)



発育・系統ともに向上

町畜産共進会



肉用牛の部

町内から肉用牛八十八頭、乳用牛三十一頭、種豚十一頭が出品され、九月八日町畜産共進会が行われました。

最近の畜産の好景気を繁栄してか、会場には大ぜいの生産者が詰めかけ、出品される一頭一頭をつぶさに観察していました。

審査長で熊毛支庁の山路技術主査は「発育・系統ともに昨年より大きく向上しているし、つぶぞりも申し分ない。牛にしる豚にしる当地の層の厚さが感じとれた。今後は優秀な系統を

できるだけ長く活用するため、強い母体の育成に努めてほしい」と講評を述べました。また、一年半後に迫った牛肉の輸入自由化については「厳しいことが予想されるが、これに打ち勝つためには何と言っても低コストだ。少しでも多くの収入が上がるよう努力が必要」と生産者を力づけました。

審査の結果、肉用牛十九頭、乳用牛十三頭、種豚三頭が最優秀賞を獲得し、熊毛地区の共進会に臨むことになりました。

最優秀賞は次の方々です。

- ▽肉用牛1部
 - ①野角健二(横町) ②長田政文(池之平) ③野角健二(馬場政盛(中之町)▽同2部 ①野角健二(織部屋保(池之平) ③山下次男(池之平) ④石堂実彦(上方)▽同3部 ①織部卓保②長田政文③中馬幸人(竹屋野) ④柳田惣一郎(竹屋野)▽同4部(系統牛) 山下次男 ▽同5部(父系群) ①徳永利雄(田島) ②細山勉(田島) ③中崎和行(池之平▽乳用牛1部 ①野辺益夫(古房) ②久木原俊典(古房)▽同2部 ①田平孝毅(大牟礼) ②太田正清(平鍋) ▽同3部 ①牧瀬洋雄(古房) ②牧瀬志農(古房) ▽同4部 ①牧瀬敏則(古房) ②野辺益夫 ▽同5部 ①山口誠(古房) ②徳永芳博(田島) ▽同6部 ①牧瀬正明(古房) ②牧瀬英美(古房) ▽同7部 興勝幸(古房)
- ▽種豚の部 ①田崎操(満足山) ②中実(原之里) ③赤坂良秋(西之山)
- (団体戦成績)
 - ▽肉用牛の部 ①増田②野間
 - ▽乳用牛の部 ①増田②南界
 - ▽種豚の部 ①野間②油久



鉄入れを行う巖田助役

精薄者も受け入れ

あかつき学園新園舎起工

あかつき学園園舎の新築工事の起工式が八月二十九日行われました。

新しく建設される園舎は、鉄筋コンクリート平屋建てで、延べ床面積は一九四四・八平方メートル、精神薄弱児の施設が来年四月、精神薄弱者の施設が同十一月にオープンします。

現在のおかつき学園は、昭和四十三年四月に開設されましたが、コンクリートブロック造りど老朽化が目立っていました。



起工式後、急ピッチで進められる建築工事

また、二十歳以上の精薄者のための更生施設は島内の既存のものでは対応できず、島外の施設への入所を余儀なくされ、「島内に精薄者の更生施設を」と、要望も多数寄せられていました。

そこで、双方の要望に応えようとして、精薄児と者の施設を併設し、一貫した児、者の保護、更生訓練に臨むことになりました。

新しくできる施設の定員は精薄児、者とも三十人。指導員や保母も増員され、町立では県下随一の施設となります。

多彩に長寿祝う

各地で敬老会

これまで多年にわたって社会に貢献してこられたお年寄りを敬愛し、長寿を祝おうと、九月十五日町内各地で恒例の敬老会が行われました。

伊原公民館では伊原、下田、大牟礼の三部落が一室に集まり、十九年ぶりに合同の敬老会を行いました。各部落からは、この日のために練習してきた数々の出し物が披露され、お年寄ら

を楽しませました。本町の六十五歳以上のお年寄りは一、〇三六人で総人口の八割を占めています。こうした背景の下に、町ではこれまでも増して老人福祉対策を推し進めていかなければならないことはもちろんですが、それと同時に、町民一人ひとりがこの問題に自分のもので真剣に受けとめ、老人福祉対策の推進に協



伊原・下田・大牟礼の3部落による合同敬老会



福寿園 伊藤繁実さん



福寿園 羽生管市さん



島田 藤田ヤエ子さん



横町 加島直里さん



田島 巖田ヨシ子さん



田島 有川静雄さん



南界園 塩瀬ムメ子さん



南界園 遠藤ツギさん



美座 嶋田義雄さん



福寿園 古市スミ子さん



思い出の敬老会

昭和三十一年康之里



新町 西水イマさん



中田 池山清志さん



本村 向井シゲさん

力していくことが何よりも必要なことです。

最高齢者は六月十四日で百歳を迎えた内園サタさん(福寿園)です。また九十歳以上のお年寄りは、男性十三人、女性二十八人の五十一人です。

今年満九十歳を迎えたお年寄り、町内に十四人ですが、本町の古市カヨさんが不在のため十三人の方を紹介します。



昭和十四年野間小学校卒業生同窓会

卒業50周年

これからも大樹とともに

昭和十四年の野間小の卒業生六十二人が、卒業50周年を記念して地元で同窓会を開くことになり、これを期に母校に恩返しを記念樹を植えました。また福祉に役立ててと、町社会福祉協議会に十万円寄付されました。集まった今年六十三歳のみなさんは、町制が施行される一年前野間尋常高等小学校を卒業。当時は今のよう男女共学ではなく、卒業後も男性と女性とは別々に同窓会を開いていました。十三年前に男女いっしょにという話があがり実現されて以来、合同の同窓会を開くのは今回が二度目。

三分の一以上は島外に住んでいることもあり、全員が集まることはなかなかでしたが、今回は50周年ということもあり、遠くは東京などからたくさんの方々が集まりました。

母校に集まった卒業生の中には数十年前ぶりに再会した仲間もあり、涙を浮かべ握手を交わし、当時を懐かしんでいました。

母校に贈られた記念樹は根回り一・三メートルの大きなヒトツバ。子どもたちを末長く見守ってほしいと願いを込め、玄関横に植えられました。



黒んぼ 32種目に力泳

小学校水泳記録会



第4回町小学校水泳記録会が九月九日野間小プールで行われました。町内七校の五、六年生二百七十六人が三十二種目にタイムを競いました。

成績は次のとおりです。
〔五年男子〕▽五〇自由形
①園田不二男(南界) 42秒68
②神秀幸(油久) ③浦元正和(星原) ④山平泳ぎ
59秒17 ⑤園田不男 ⑥上妻正輝(南界) ⑦五〇背泳ぎ ①森山貴憲(野間) 1分1秒46 ②平野信耶(野間) ③稲子勝(南界) ④五〇バタフライ ①浦元正和(星原) 1分13秒99 ②黒木健三(南界) ③天津祐幸(野間) (六年男子) ④五〇自由形

①中村勝(油久) 38秒56 ②長田豊(増田) ③稲子良隆(南界) ④五〇背泳ぎ ①遠藤智史(納宮) 51秒59 ②長田豊 ③山口宏樹(南界) ④五〇背泳ぎ ①古市清孝(南界) 58秒46 ②福英高(野間) ③中島廣宏(星原) ④五〇バタフライ ①福英高 1分4秒14 ②百目自由形 ①山口宏樹 1分35秒16 ②中島廣宏 ③古市清孝 ④百目平泳ぎ ①遠藤智史 1分55秒78 ②中村勝 ③坂下孝継(星原) 男子自由種目▽二百目個人メドレー ①中村勝 5分21秒99 ②百目リレー ①南界(稲子、山口、園田、熊野) 2分46秒58 ②野間(馬場、木下、岩崎、牧瀬) ③増田(長田、蓮子、馬場、久木原) ④百目メドレーリレー ①野間(馬場、岩崎、木下、牧瀬) 3分40秒02 ②星原(種本、中島、坂下、浦元) ③野間(宇都、奥村、福、小幡)



〔男子二百目種目〕▽五年自由形 ①上妻正輝(南界) 22秒55 ②川原信也(野間) ③日高俊春(南界) ④五年平泳ぎ ①保村秀一(増田) 28秒92 ②池田健二(野間) ③向賢三(油久) ④六年自由形 ①豊真由揮(増田) 19秒30 ②園田正人(野間) ③橋野浩継(増田) ④六年平泳ぎ ①園田正人 25秒76 ②山元達也(野間) ③馬場義広(増田) (五年女子) ④馬場自由形 ①居川由希子(野間) 46秒36 ②河野理恵(南界) ③横山圭子(油久) ④五〇背泳ぎ ①赤坂まり子(油久) 59秒52 ②坂口恭子(南界) ③日高幸代(南界) ④五〇背泳ぎ ①山口めぐみ(南界) 1分5秒27 ②黒岩聡子(野間) ③春田奈穂子(星原) (六年女子) ④五〇自由形 ①徳永知香(南界) 41秒18 ②馬場明子(増田) ③戸畑智子(増田) ④五〇背泳ぎ ①町永里香(油久) 52秒65 ②徳永知香 ③日高由美(野間) ④五〇背泳ぎ ①山越しのぶ(星原) 55秒97 ②椎葉梢(野間) ③徳美佐子(野間) ④五〇バタフライ ①山越しのぶ 1分7秒67 ②泊やよい(野間) ③徳美佐子 ④百目自由形 ①戸畑智子 1分



51秒93 ②泊やよい ③尾方淑子(星原) ④百目平泳ぎ ①町永里香 1分54秒76 ②日高由美 ③浦島清沙(油久) (女子自由種目) ④二百目リレー ①増田(戸畑、馬場、馬場、馬場) 3分9秒99 ②野間(豊崎、椎葉、日高、泊) ③南界(徳水、古市、八沙、河野) ④二百目メドレーリレー ①野間(椎葉、日高、徳、豊崎) 4分1秒16 ②油久(浦島、町、長田、横山) ③星原(松下、尾方、春田、山越) (女子二百目種目) ④五年自由形 ①坂口恭子(南界) 22秒91 ②柳田美幸(南界) ③山口やよい(油久) ④五年平泳ぎ ①馬場美和子(増田) 28秒32 ②山口めぐみ(南界) ③西田千春(油久) ④六年自由形 ①馬場梢(増田) 20秒80 ②古市秋子(南界) ③馬場かずみ(増田) ④六年平泳ぎ ①馬場明子(増田) 27秒25 ②梶屋五百子(野間) ③小城友美(野間)

守備は10人

力いっぱい打って

久保田校長先生は「私たちの先輩方も、私たちがいつまでも導いてくれているんだと、子ども

必ず五十歳以上が四人は出場していること。盗塁やバントはできません。投手は五十歳代とシスローボールを投げることに。

以上のような条件をつけ、壮年ソフトボール大会が増田追跡所グラウンドで行われました。参加したのは十二チーム。中には女子チームもサン・レディースの特別参加もありました。

珍プレーの続出する打撃戦の結果中山が優勝、次いで野間下、三位は伏之前と納宮でした。

表彰される優勝した中山チームの代表



広報

NAKATANE KAGOSHIMA

なかつたね

平成元年11月7日発行
No. 408

元年11月号

発行 鹿児島県中種子町役場
編集 企画課広報係
☎ ⑦-1111(内線59)



一本の綱に、いったいどれだけの力が加わっているのだろう

「一本の綱に、いったいどれだけの力が加わっているのだろう」

「綱引きやあ点数が太かどじゃから、たのむからなあ」

「じゃんろう、はじめのタイミングじゃあ」

「腰を落てえちえ死にいきで引かんばじゃらう」

「綱引きやあ点数が太かどじゃから、たのむからなあ」

それでも綱を握りしめた瞬間からきつと頭の中には言葉はないだろう

一人ひとりの呼吸が重なって

一人ひとりの力が重なって

一本の綱が生命を見せしてくれる

迷いも、いさかきも、愛いも忘れ

満身の力を込めて引きあう

終わったあとの満面の笑み！

綱は、またもとの位置にもどされる

おめでた

8月19日〜9月18日受付

赤ちゃん

（こんにちは）

氏名 保護者 住所

瀬口勇二郎 勇・まり子能野

中村彩乃 俊広・文子伊原

徳永匠 孝・悦子伏之前

沖田美奈子 正宏・三代坂元

牧瀬遥 博幸・次代中田

駿河友里 齊・美恵子米町

沼口周平 憲治・三代田島

石堂秀二 秋男・八代春田

山越京 明・千秋満足山

お幸せに

氏名 住 所

石澤博治 栄 栄

鶴留雅代 町 町

一人人口のうごき

総人口…11,162人(+6)

男…5,322人(+1)

女…5,840人(+5)

世帯数…4,173戸(+6)

出生…8人 死亡…11人

転入…36人 転出…27人

()は先月との比較

10月1日現在

おくやみ 申し上げます

故人	年齢	住所
遠藤 静馬	83歳	原之里
沖 光雄	72歳	福寿園
牧瀬 國廣	66歳	塩屋
馬場 直	74歳	中山
新開 スエ	75歳	横町
坂元 俊雄	75歳	旭町
榎本 キク	74歳	浜津脇
平田 茂二	70歳	大平
平山 由也	84歳	大牟礼

社協だより

次の方々が町社会福祉協議会へ、金一封を寄付されました。これらの善意に感謝するとともに、つつしんで故人のごい福をお祈りします。

氏名 故人 住所

遠藤孝行 静馬 原之里

沖 ハル 光雄 宝来

牧瀬チツ 國廣 塩屋

馬場アキ 直 中山

新開一 スエ 横町

榎本常市 キク 浜津脇

平田マサ 茂二 大平

九月十五日、どの部落でも年間の最大行事として敬老会が行われた。

招待されるお年寄りは層に合わせ、六十五歳以上や七十歳以上に行っている。

お年寄りを楽しませようとゲートボールをはじめ、運動会や踊りなどバラエティに富んだ催しを計画する部落も多い。

しかし、はたして主役の後お年寄りは十分楽しんでいるのだろうか。さぶとんの上のお年寄りはいつしかつんぼさじき。やがて一人、二人と家路を急ぐ。テントの中では主役不在の宴が続く。

国民的行事として定められた敬老の日、かねて接する機会の少ない老若がじっくり触れ合いをもてる一日にしたものだ。

中山の一寸川

終戦当時の混乱期にも鯉を盗む人はいなかった。大水で川下に流されると、後には誰かが必ず補充してくれた。

野菜洗い、洗濯、女たちの井戸端会議を聞きながら、二尺余りの真鯉は、石けんの泡の中から背びれを出してゆつたりと泳いでいた。子供たちは、木製の重いタンゴを両肩に荷なって、あえぎながら水運んだ。今、この泉を使用する人はいない。それでも石の間からは、清水がこんこんと湧いている。

中山神社裏側のシエー川は、岩の間から湧き出ている。昔から中山の人は、海にシエー川に行けない時はこの水を使ってきた。

道路下の一寸川(村ン川とも呼ぶ)は、中山中をまかなうほどの水量があり(飲料水)、石囲い、風呂水、石囲い、水汲み場、下は野菜洗い場、洗濯場と分れていて、尺余の鯉が五、六匹悠々と泳いでいる。

松原市郎氏(七五歳)が「物心づいてから三回干ばつがあり、水が枯れかかった時、鯉は別の場所に移した」と話してくれた。

昭和三五年町水道が引かれるまで、中山の人はこの水を利用しながら、神聖な場所とし、また生命の泉として大事に守ってきた。子供会の日曜日の早起き作業は、神社と会舎(公民館)そしてこの泉の掃除で、常に清潔を保ってきた。





▲最優秀賞 星原中三年松村敏光君の作品

わたしたちは
こんな

絵画の部



▲最優秀賞 星原小五年 春田奈穂子さんの作品

評 未来を、科学の発展という
ことではなく、視点を身近なも
のに置いている。自然や、親の
生活をよく見つめているので、
生活に密着したもの中から夢
がにじみ出ている。
斜めに走る濁りのない川や、
澄みきった海に囲まれた中種子
の農業を盛んにしようという気
持ちで懸命に描いている。
わずかな色採でまとめられ、
味のある作品である。

楽しかった遊覧飛行

遊覧飛行当日の十月二十二日は秋晴れに恵まれました。
招待されたのは絵画、作文の優秀賞以上を獲得した十八
人。空港では遊覧飛行を前に表彰式があり、父母ら出席
者の祝福を受けました。
飛行機は、種子・屋久間に就航している朝日航空のア
イランダー（双発、乗客九人）。この日は天気は良かった
ものの霧がかかっており、高度を五百メートルほどに下げて
飛行しました。空港を飛び発ったあと、まず浜津島上空
へ、そして増田、熊野、宇宙センターへ向かいました。
最後は野間市街地上空をゆっくり眺めるといって三十分間
の飛行でした。
初めての経験に、わくわくしながら乗り込んだ子ども
たちは、飛行を終えたあと「ちよっと怖かったけど、と
ってもすばらしいでした。」と大満足の様子でした。



飛行機に乗り込んだ子どもたち、ちよっと不安かな

中種子を 夢見ています

第3次長期振興計画策定にも ひと役

町では現在、平成二年度から向こう十カ年間の21世紀
へつなぐ新たな長期振興計画づくりを進めています。
そこで今回、愛着と誇りのもてる豊かで活力に満ちた
未来の中種子町をめざすため、町内の小・中学校の皆さ
んから絵画と作文を募集しました。
テーマは「未来の中種子町」。しめきりの九月十五日
まで応募があったのは、絵画が四百二十七点(小学校三
百八十五点、中学校四十二点)、作文が九十六点(小学
校七十八点、中学校十八点)でした。
審査は十月七日行われ、五十九人が入賞しました。こ
のうち優秀賞以上の十八人は十月二十二日種子島空港で
表彰され、副賞として種子島上空の遊覧飛行に招待され
ました。
入賞者の作品は十月二十五日から十一月九日まで中央
公民館に展示されています。

- 入賞者は次のとおりです。
(絵画の部) 小学校
▽最優秀賞 春田奈穂子(星原三年) 坂下綾(同四年) さきがわかな(納官一年) ひだかさお(同一年) 遠藤慎也(同二年) 子さゆり(増田五年) えのもとつよし(同一年) 深田幹雄(星原四年) 藤川透(納官一年) 日高けいと(同二年) 山口洋平(同四年) 平山秀美(同五年) 徳美佐子(同六年) 日高由佳(同六年) 久木原教雄(増田三年) 久木原教浩(同五年) 馬場美和子(同五年) 橋野浩継(同六年) 長田香澄(同五年) 中野英臣(同二年) 光あい子(同二年) 梶原幸代(同三年) 春田康博(同四年) 川畑忠理桂(油久四年) 横山圭子(同五年) 長田香澄(同六年) 中学校
たなかつよし(星原一年) 徳永良平(同三年) 鮫島さゆり(同三年) 坂下綾(同四年) さきがわかな(納官一年) ひだかさお(同一年) 遠藤慎也(同二年) 中野英臣(同二年) 光あい子(同二年) 梶原幸代(同三年) 春田康博(同四年) 川畑忠理桂(油久四年) 横山圭子(同五年) 長田香澄(同六年) 中学校



遊覧飛行に招待された優秀賞以上の18人

- 川辺美穂子(野間二年) 中島志穂(同二年) 橋野節美(同二年) 長野勝喜(増田一年) 松下譲(星原二年) 徳永智美(同三年) (作文の部) 小学校
▽最優秀賞 平田洋介(野間六年) 濱平夏子(野間三年) 遠藤敏浩(納官六年) 浦元正和(星原五年) 入選 黒岩聡子(野間五年) 大町田和美(同五年) 山元達也(同六年) 桑原一欽(星原二年) 榎本庄夫(同三年) 深田幹雄(同四年) えんどうあゆみ(納官一年) 藤川透(同二年) 遠藤浩一(同三年) 春田康博(同四年) 春田真理(同六年) 山口理恵(南界四) 中学校
▽最優秀賞 牧瀬伊久美(増田三年) 猪鹿野康洋(野間二年) 横山菊江(増田二年) 入選 三原由美(増田一年) 橋野徹(同一年)



11月は雇用保険受給 防止啓発月間です

○雇用保険は、離職し働く意志と能力がありながら、まだ仕事が見つからないという人の再就職のお手伝いをするために支給されます。制度の趣旨をよく理解し、正しく活用しましょう。

○雇用保険を受給している人は ※失業給付を受けるためのルールを守りましょう。

就職した場合(パート、アルバイト)および試用期間等を含む)や就労した場合は日数の多少にかかわらず必ず申告しましょう。

○事業主の方は 自営業を始めた時はその日付を申告しましょう。

※労働者を雇用した時は、期限までに雇用保険資格取得届を提出してください。試用期間等がある場合は、その最初の日から資格取得をする必要があります。

熊毛公共職業安定所 09972②1318

学生募集 県立農業大学校

本大学校は、次代の農業および農村を担う優れた農業後継者や農村地域の指導者を養成する。

○募集人員等 畜産第一学部(肉用牛科)40人、畜産第二学部(酪農科、養豚科)20人、園芸学部(野菜園芸科、花き園芸科)50人、茶業学部(茶業科)15人、果樹学部(果樹科)10人

○試験 受験期間 平成元年12月15日～平成元年12月28日 試験日 平成2年1月23日

24日 〇問い合わせ先 鹿児島県立農業大学校教務指導課 千899・66 始良郡牧園町高千穂3598・4 09955⑦2814 または中種子高校へ。

体験入学生案内

中種子養護学校では、精神発達の違いのある児童生徒を対象に、深い愛情と理解をもって適切な教育を行い、障害を克服して社会生活に適應できる強く明るい子どもを育てることに努力しています。

本年度も心身に障害を持つと思われる3歳以上の子どもとその保護者を対象に、学校見学、授業への参加、教育相談等を盛り込んだ親子いっしょの「体験入学」の機会を設け、養護学校の教育に対する認識や理解を深めていただくことになりました。

〇対象 3歳以上の幼児および小・中学校に在学している次のような児童生徒です。 ・知恵やことが遅れている

と思われる子供 指示に従えず、自分の思うままに行動する子ども ・不安や緊張が極度に強い子ども ・そのほか、心身に問題があると思われる子ども

〇日時 平成元年11月29日午前9時から午後3時まで

〇内容 日程説明 学習参加(教科授業・ふれあいタイムなど) 給食 学校見学 教育相談

〇申込み先 鹿児島県立中種子養護学校体験入学係宛 中種子町野間6584・4 09972⑦2818

交通事故にあつたら まず、相談を!

交通事故について、交通事故相談員や弁護士が無料で相談に応じています。お気軽にご利用ください。

〇相談内容 ・自動車損害賠償責任保険等の請求方法 ・損害賠償額の計算方法 ・示談の進め方、生活相談

〇相談方法は 交通事故、さき、おどしなどの犯罪の被害にあい、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を起訴してくれない。

ごぞんじですか 検察審査会

このように不満をお持ちの方のために検察審査会があります。お気軽にご相談ください。費用は無料で、秘密は固く守られます。

〇お問い合わせは、鹿児島市山下町13・47 鹿児島地方裁判所内 鹿児島検察審査会事務局 0992②7121

個人事業税(二期分)の納付は十一月末日までに

11月は、個人事業税の第二期の納期です。個人事業税納付通知書を受け取られた方は、11月30日(木)までに最寄りの銀行・郵便局・農協等又は県の各総務事務所・県税事務所・各支庁で納めてください。

〇問い合わせ先 各総務事務所 県税事務所、各支庁財務課又は県税務課(☎0992③873 4)

本人はもちろん、家族、雇主知人でも結構です。なお相談の内容については秘密を固く守ります。

〇相談場所 役場防災センター 〇日時 平成元年11月29日 午前9時半から午後4時まで

宇宙開発事業団 創立20周年のついで

〇開催日時 平成元年11月27日 午後1時半

〇場所 南種子町福祉センター 〇日程 午後1時半開会 2時映画上映「翔べ宇宙へ」II(ロケット) 2時20分講演 3時50分閉会

許しません白い粉

「麻薬・覚せい剤等の撲滅に「協力」を」 平和な家庭生活を破壊し、心身をもしばむ恐ろしい覚せい剤など、「白い粉」は、外国からいろいろの方法で密輸入されています。

遊漁船業を営む方は 必ず届出を!

平成元年10月1日に、「遊漁船業の適正化に関する法律」が施行されたことに伴い、遊漁船業(法第二条に規定)を営もうとする方は、その営業所毎に県知事に届出書を提出することになりました。

〇問い合わせ先 最寄りの漁協、市町村又は県庁水産振興課漁業調整係(☎0992③8111 内線2821)

十一月は、「全国青少年健全育成強調月間」

県では11月を、「青少年の夢と希望をはぐくむ運動月間」として、県下一斉に「育てよう若い芽を、地域で、家庭で、学校で」をスローガンに青少年の健全育成をすすめます。

県民の皆さん、家庭や学校、地域ぐるみで、「愛の声かけ」や「環境浄化」など、青少年育成のよい気風づくりをすすめましょう。

狩猟事故を 防止しましょう

まもなく狩猟シーズンに入ります。忘れてならない事は、獲物よりも「狩猟事故の防止」。

今年も次の事を必ず守り、狩猟事故絶滅を達成しましょう。

▽銃口は絶対に人のいる方向に向けない。これさえ守れば人身事故は防げます。日頃から習慣をつけておくことが大切です。

▽安全装置を過信しないで。銃を倒したり、落としたりして撃鉄が落ちることがあります。安全装置をかけたから絶対大丈夫という過信は危険です。

▽危険な地形のところでは必ず脱包する。転倒、転落して、その衝撃で暴発する例も多くあり

犬の放し飼いは やめましょう

自分の犬は人を咬まないから、と平気で放し飼いをしている人の迷惑を考えない人がいます。

犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。

▽猟友、仲間、仲間の位置を確かめ、撃ち急ぎをしない。お互いに声をかけ合い、周囲の安全をよく確かめましょう。

▽水平撃ちを避ける。目の前に現われた獲物ばかりに気をとられ、その奥にいる人影を見落とさないこと。

自分の犬は人を咬まないから、と平気で放し飼いをしている人の迷惑を考えない人がいます。

犬の放し飼いは やめましょう

犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。

犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。

犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。

犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。

犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。

犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。

犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。

犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。

犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。犬の好きな人ばかりではありません。



納宮校区選手役員団の入場

第二十三回町民体育大会が体育の日の十月十日町営陸上競技場で開かれました。
この日は「午後から雨」という天気予報に、プログラムの進行を早めたにもかかわらず、午後三時頃から本降りとなり、十種目を残して中止するという、大会史上初めての事態になりました。
閉会式もグラウンドではできず本部席で雨を避けて行いました。総合成績の発表は、実施された種目だけで行われましたが、あきらめきれない各校区の役員、選手も多かったようです。



体育功労者で表彰されたゲートボール協会会長の宇都友三郎さん

実施した種目の成績は次のとおりです。

- ▽総合成績 ①南界 ②野間上 ③岩岡 ④星原 ⑤野間下 ⑥油久 ⑦増田 ⑧納宮 マシ、高校男子 ①南界 ②南界 ③4分50秒 ⑦稲子隆博 (岩岡) ③岡山三 (野間上) ④ナキロ 青年一般 ①田上晃 (野上) 33分53秒 ②浜脇英次 (野下) ③塩釜進太郎 (岩岡) ④百小五男子 ①田崎直人 (野下) ④14秒 ②野口聡 (油久) ①園田二男 (南界) ②同女子 ①河野理枝 (南界) ②15秒 ②中野優子 (野上) ③遠藤朝香 (野下) ④同小六男子 ①木下雄介 (野下) ④14秒 ②山口宏樹 (南界) ③豊真由揮 (増田) ④同女子 ①石堂歩 (野上) ④14秒 ②日高由佳 (野下) ③八沙琴美 (南界) ④同中一男子 ①提吾吾 (野下) ④12秒 ⑤伊牟田悟 (南界) ③前田達郎 (増田) ④同女子 ①日高佐登理 (野下) ④14秒 ②日高ふじ子 (南界) ③浦元志保理 (星原) ④同中一男子 ①榎本厚志 (星原) ④12秒 ④福龍太郎 (野上) ③長田英幸 (油久) ④同女子 ①奥村さつき (南界) ④13秒 ②山口香理 (油久) ③平野奈美江 (星原) ④同中三男子 ①野村達也 (岩岡) ②山小田守 (野上) ④立道俊 (

町体 南界が二連覇



疾走する100メートル走

- 納宮) ④同女子 ①徳永夏子 (南界) ④14秒 ⑥奥田夕子 (野上) ③遠藤初望 (納宮) ④百小六女子 ①石堂歩 2分42秒 ⑨野上 ②浜川めぐみ (野下) ③町永里香 (油久) ④同中学共通女子 ①日高百恵 (南界) ②分41秒 ②松嶋紀子 (野上) ③松尾愛子 (油久) ④同小八男子 ①川内田義文 (岩岡) ③分25秒 ⑤牧瀬拓二 (野上) ③遠藤智史 (納宮) ④同五百人中一男子 ①永浜純治 (岩岡) ④分48秒 ⑤嶋崎信也 (南界) ③日高幸一 (南界) ④同二百人中二男子 ①知念和博 (油久) ⑥分30秒 ⑤高磯真樹 (岩岡) ③小山田勇二 (南界) ④同三千二百三男子 ①塩浦正男 (岩岡) ⑨

- 分55秒 ⑨嶋崎和彦 (南界) ③永浜真琴 (岩岡) ④百小高枚男子 ①町田順一 (星原) ④11秒 ②日高幸徳 (納宮) ③古市和博 (油久) ④同女子 ①日高涼子 (野上) ④13秒 ②廣牟田沙織 (野下) ③松尾美智子 (南界) ④同青年男子 ①松岡和則 (星原) ④11秒 ⑤鎌田良治 (野下) ③森山豊 (野上) ④同女子 ①重佐登子 (星原) ④13秒 ②原田節子 (南界) ③柳田みゆき (野上) ④同二千代男子 ①鎌田通弘 (野下) ④11秒 ⑦前田浩二 (岩岡) ③有留昭洋 (星原) ④同三十代男子 ①西田光義 (油久) ④11秒 ⑨中野不二夫 (増田) ③小山田弘幸 (南界) ④同四十代男子 ①徳永良一 (南界) ④12秒 ⑦松岡義則 (星原) ③日高太 (野上) ④同五十代男子 ①三原清夫 (野下) ④13秒 ④佐岡軍男 (野上) ③日高健治 (増田) ④百小五男子 ①南界 ①分4秒 ⑦油久 ③野下 ④同小六男子 ①野下 ①分0秒 ⑨岩岡 ③南界 ④同中学共通女子 ①南界 ⑤7秒 ④野上 ③野下 ④同八百小中学共通男子 ①野上 ①分50秒 ②星原 ③納宮 ④重量運依り ①岩岡 ①分19秒 ②南界 ③納宮 ④ゲート通し ①増田 ②野上 ③油久 ④納宮



真剣な表情のお手玉競争

- 官 ③野下、南界 ④走り幅とび ①山田和春 (野下) ⑦14秒 ②松岡享也 (星原) ③永浜嘉喜 (岩岡) ④走り高とび ①山田和春 ①85秒 ②浜田秀樹 (星原) ③八沙喜美男 (野上) ④砲丸投げ ①久保田清正 (南界) ④13分15秒 ②川下敦嘉 (岩岡) ③春田功 (納宮) ④お手玉競争 ①南界 ②岩岡 ③星原、増田 ④玉入れ競争 ①星原 ②油久 ③納宮

悪天候で途中とりやめ

さて、四月にオープンした野球場を皮切りに、中央運動公園事業も着々と進んでいます。今建設を急いでいる新陸上競技場は、平成三年三月の完成を目指しています。来年の町体までは未完成ですが、町制施行50周年記念ということもあり、新競技

場で開催する計画です。

長年私たちが「小牧原頭」と親しんできた現競技場の町体も、今年が最後の開催でした。雨によるあいにくの中止。なごりを惜しむかのように、空も涙を流したのでしょうか。

おもいで町体

現陸上競技場ができる前の町体のようす、美しい松が名物でした 一昭和36年頃一



四億円を増額

九月議会

平成元年度第三回(九月)議会は、九月二十六日から二十八日までの三日間開かれました。本会議は二十六、二十八日の両日開かれ、平成元年度一般会計補正予算(二号)をはじめ、計補正予算(二号)をはじめ、議案七件、請願一件、陳情五件、認定二件、同意一件、発議五件が審議されました。

この結果、議案七件と発議二件はすべて可決、また請願、同意も採択されました。陳情五件のうち三件は採択されたものの、一件は継続審査、残りの一件は不採択になりました。昭和六十三年度歳入歳出決算など認定二件については閉会中に継続審査されることになりました。

一般質問は二十六日、五人の議員によって行われました。西田勲議員は「長期振興計画について」、川下三業議員は「選挙広報に関する条例の制定について」、山野一郎議員は「陳情で採択された町道及び農道について」、永浜三義議員は「観光開発について」、柳田光宏議員は「台風11、22号による災害につ

いて」など、それぞれ町長の答弁を求めました。

可決された主な議案
平成元年度一般会計補正予算(二号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四億一千九百九十九万一千円を追加し、総額を五十七億五千七百八十三万九千円としました。

歳入の主なもの、地方交付税の増額が約二億九千万円、県補助金の約九千六百万円の増額など。

歳出の主なもの、積立金の約一億九千三百万円の増額、農林水産施設災害復旧費の約八千二百万円の増額などです。

知事賞に鳩崎君(南界中)

先ごろ県内の小・中学生を対象に行われた国民健康保険「健康増進月間」作品募集で、次のみなさんがボスターの部で入賞しました。いずれも南界中学校三年生のみなさんです。

▽知事賞(特選) 鳩崎一彦
▽入選 八汐和彦
▽佳作 上浦和英 池亀祐輝

年一回の酪農家の集い、町酪農民大会が九月二十一日島田グラウンドで行われました。例年、この大会では郡の代表として県ホルスタイン共進会に出場する農家の壮行会を兼ねて行われます。

秋の一日 酪農家が骨休め

今年本町から県共進会に出場するのは丁部(10ヵ月以上14ヵ月未満)で郡一を獲得した野辺益夫さん(古房)で、会場から盛んな祝福と激励を受けました。

アッチャメを熱演

養護学校

県立中種子養護学校(中水照夫校長)の運動会が十月二十一日、住吉小、野間小のスポーツ少年団員多数が参加して盛大に行われました。

この日は三週前から新田幸代先生らの指導で毎日練習してきたという中学部のアッチャメも披露され、子どもたちの熱演に観衆から惜しみない拍手が贈られました。



交通事故ナシよ!



交通安全中種子支部では、今年も交通安全ナシ戦を展開。交通安全指導員ら五十人が車を止め、ドライバークラスを贈り安全運転を呼びかけました。



会長の田平さん

町内の酪農家は七十戸。このうち育成農家が四十一戸となっています。育成農家が、子牛から二年間育てた出産前の成牛を搾乳農家に供給し、搾乳農家はそれを引き継いで牛乳を生産して行くシステムになっています。

野辺さんのように育成から搾乳まで自家保有牛で一貫経営する酪農家も多いですが、優秀牛への更新や補充のためこの二種の酪農家は緊密なつながりを保っています。

この日、田平孝義振興会長をはじめ酪農家の家族らは、日々

村に活気を 各地で青壮年が活躍



手作りの憩いの場 西之山

西之山青壮年部(赤坂良秋部長 39)の手により、当地の玄関口にあたる御神田の池が装いも新たに生まれかわりました。案内板の製作、危険防止の柵

東之町では 親子のふれあい活動

の設備、木かけの白いベンチなど静かな公園のたぐいまれいを見せています。

ここは田島嶺と阿高磯嶺の分岐点にあたり、池を眺めながら休憩をとるドライバークラスも多く、安全運転にも一役かっているようです。

部長以下十三人の部員の平均年齢は三十三歳。独身八人を含み、町内で最も後継者率が高く、活気あふれた地域です。「青壮年部がまとまっているので将来が安心です」と、部落民も大きな期待を寄せています。

また赤坂部長は「我々の良いところは、一度声をかければ、パッと集まることです。みんなが集まれば何でもできます」と部員の積極性を評価。同部では、議員と語る会など今後も計画的に活動を続けていきます。

東之町青壮年会(会長、秋田安雄さん43)では、親子のふれあいと体力づくりを、月に一度スポーツ・レクリエーション活動を始めました。

地区内に居住する油久小の先生や、青壮年会のメンバーが「とにかくやってみよう」と、第一回目を九月の第二土曜日の夜に実施。ところが意外にもほとんど全員が参加。気を良くした会員で

部落会長の日高喜欽さん(80)も「たいへんいい計画だ。今後は部落民全員に呼びかけていこう」と意気込んでいます。

活動は午後七時からで、部落内の小・高校生のほか、幼児も参加。父母がバレーボールに熱中している時は、小学生がビデオテープなどをみせ、幼児の面影をみている。まさに部落参加のふれあい活動といえるでしょう。



お母さんと子どもたちのドッジボール



ランニング・レポート



強風の中、乗組員を一人ずつ救助する海上保安庁のヘリコプター

パナマ船座礁 町では懸命の対応

【写真提供は菟川二成さん（平鍋）】

九月十九日午後二時すぎ、納宮海岸沖約三百メートル、パナマ船籍の貨物船「マンション・トレジャー」号（三四二四トン）が高波により座礁し、船体が二つに割れました。

第十管区海上保安本部では、同日午後六時からヘリコプターによる救助作業を開始、約一時間後に韓国入船長ら乗組員全員を無事救出し、種子島空港に運びました。

同船は石炭五千三百トンを積んでインドネシアから大分に向かっていましたが、時速五〇キロに速度を速めて東シナ海を北上した台風22号に追いつかれ、この直撃を受けました。

台風22号はこの日の昼すぎには種子島測候所で六〇キロの最大瞬間風速を記録。猛烈な吹き返しによる高波が西海岸を襲いました。同船は、12、13層の高波で船体にひびが入り、高波を避けようとしているうちに座礁しました。

台風通過後の夕方にも強風が吹き荒れていましたが、地元の人たちが見守る中、救助を待つ乗組員は一人ひとりヘリコプターに引き上げられました。

空港から老人福祉センターに

九月十九日午後二時すぎ、納宮海岸沖約三百メートル、パナマ船籍の貨物船「マンション・トレジャー」号（三四二四トン）が高波により座礁し、船体が二つに割れました。

同日午後六時からヘリコプターによる救助作業を開始、約一時間後に韓国入船長ら乗組員全員を無事救出し、種子島空港に運びました。

同船は石炭五千三百トンを積んでインドネシアから大分に向かっていましたが、時速五〇キロに速度を速めて東シナ海を北上した台風22号に追いつかれ、この直撃を受けました。

台風22号はこの日の昼すぎには種子島測候所で六〇キロの最大瞬間風速を記録。猛烈な吹き返しによる高波が西海岸を襲いました。同船は、12、13層の高波で船体にひびが入り、高波を避けようとしているうちに座礁しました。

台風通過後の夕方にも強風が吹き荒れていましたが、地元の人たちが見守る中、救助を待つ乗組員は一人ひとりヘリコプターに引き上げられました。

空港から老人福祉センターに

手作りイカダで 冒険気分満喫

泉原小学校（毛利弘行校長）の全児童四十六人が、長浜海岸を中心に集団宿泊学習を行い、大自然の中、共同生活の楽しさを味わいました。

一日目の九月二十七日は、全員で砂像作りや貝拾い、波遊びを楽しみ、夕方からは三年生以上が炊事、キャンプファイヤー、星座観察を行い、テントで一晩を過ごしました。

翌日はイカダで学校下の海岸まで航海する計画でしたが、この日はあいにくの高波で断念。さっそく浜津脇港に移動し、父母らの助けを借りてイカダを作りました。

イカダはいけす用の浮きを六個並べてその上に大きな孟宗竹をわたり、ロープで固定しました。

子どもたちは三艇のイカダに乗り、木で作ったイカダを漕ぎ、港内をこぎ出た。

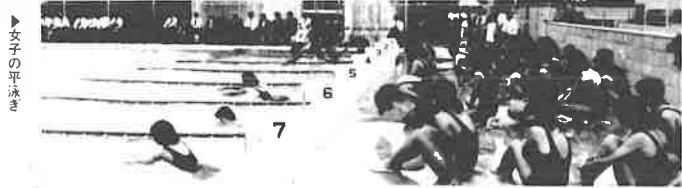


台風一過の翌日、乗組員全員が乗舟し、松下町長に手厚いサポートをいただき、お礼を述べました。

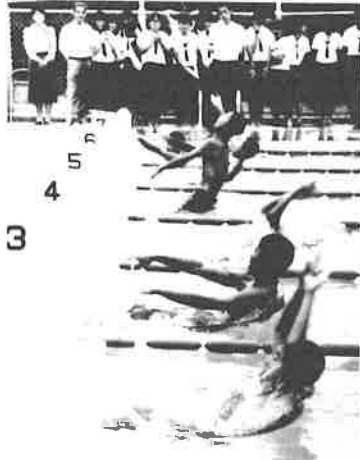
時代の冒険気分を楽しみました。



ランニング・レポート



女子の平泳ぎ



伸び伸び泳ぐ男子の背泳

町内の中学校ではじめてのプールが野間中に完成しました。式典の後のプール開きでは、オーブンを楽しみにしていた生徒らが、溢みきった水の中で思いつき水しぶきを上げました。総工費五千六百万円をかけたこのプールはステンレス製の七コース。プールのサイドの下が空になったのが特徴で、隔々まで管理が行き届くようになっています。

落成式に参加した関係者からは「これまで二〇年も浅い小学校のプールを利用してきたが、これで中学生も伸び伸び泳げるだろう」と大きな期待を寄せていました。

小学校のプールの設置は、岡小と納宮小を残していますが、岡小が平成二年、納宮小が同三年にそれぞれ建設計画をたてています。

思いつきり飛びこめるぞ

野間中にプールオープン

献血功労者三人を表彰

このほど長年の献血事業への功績をたたえて、三人の方が赤十字社銀色有功章を受章しました。

受章したのは原口賢さん（中之町）、祝申一さん（松原）、春田三生さん（春田）の三人で、今年で献血回数が三千回を越えました。長い間ご協力ありがとうございました。

ちなみに町内の最多献血者は遠藤勝さん（池之向）で、今年



左から原口さん、祝さん、春田さん

南界が大健闘 地区中学駅伝大会

十月四日、第29回種子島地区中学校駅伝競走大会が富田グラウンドを中心に繰り広げられました。

男子は三十キロを八区間で、女子は十一キロを五区間で、高内中学校の健脚がタイムを競い合いました。

成績は次のとおりです。
 ♀男子①桐城A 1時間49分58秒
 ②南界 1時間45分56秒
 ③国士 1時間52分44秒
 ④同区間賞（町内だけ） 区①水産純治（南界）



女子競技区を力走する松尾愛子さん

四区②池亀祐輝（南界）五区②提信一（南界）▽女子①桐城A 41分24秒
 ②南界42分49秒
 ③野間44分6秒
 ④同区間賞（町内だけ） 四区②川下百恵（南界）

つまべに詠草

土用干しにあまたの衣類をひろげつつ思ひぬ
ぐらす遠き旅の日 柴町 西田 睦枝
養護学校に子が職もばつまされて身障者の
番茶購ひにけり 満足山 横山吳津絵
岩礫にしぶける波は空に飛び風速六十メートル
ル鳥を襲へり 満足山 日高 タエ
児童らの無人市場のいとなみは良心買ふとふ
小さきあきなひ 洪津脇 橋口 俊子
げれ届く音はかそけく網戸越しに吸はれ消え
なむ迷花火見ゆ 伏之前 竹野 昭
昇りゆく朝日は暮き海原に黄金の色の帯をひ
きたり 上方 石堂 ミヨ
空と海が一枚の青き紙となる水平線を折目と
なして 旭町 中間 綾子
若きらの種ましゲート場の彼岸花熱気あふれ
一斉に咲く 中山 石堂 スミ
茜色ひろがる空を刻々と朝日は昇る七色に変
じて 中山 野角 清子
店の通りにちようちん連ね十五夜の大綱引き
ははじまらんとす 町山崎 石堂 京子
朝顔の小さき花の傍らにをさなきつら実育
くみてをり 高峯 中水イサ子
陽を透かす羽をうつつて赤とんぼ庭石の上に
いくたび来たる。 牧川 有留よし子



- 【11月の主な行事予定】(中公は 中央公民館)
- 1日・全国青少年健全育成強調週間(～30日)
 - ・文化財保護強調週間(～7日)
 - 3日 文化の日
 - 4日 臨時議会
 - 5日 野間神社秋まつり(午前11時から)
 - 6日 全国糖尿病週間(～13日)
 - 9日 秋の全国火災予防運動(～15日)
 - 11日・税を知る週間(～17日)
 - ・農林漁業祭・文化祭(午前9時から中公・役場前広場)
 - 12日・駅伝競走大会(午前8時から)
 - ・壮年バレーボール大会(午後1時から町立体育館)
 - 14日 中体連新入大会(西之表市)
 - 18日 納官神社落成式(午前9時半から)
 - 19日 種子島相撲大会(午前10時から西之表市)
 - 23日 勤労感謝の日
 - 24日 第32回小・中・高等学校音楽会(午前9時から町立体育館)
 - 30日 青少年健全育成全体協議会(午後3時から中公)

今回は、先ごろ北海道の砂川市で行われた第44回国民体育大会の秋期大会で、剣道界では初めて本町から県代表として出場した光博己さんを訪ねました。

一本町から団体に出場したのはあまり記憶がないのですが、

「十五年ほど前、相撲で三回出場した遠藤明さん(喜田)以来だと思えます。

「剣道では初めてですね。マ果体の優勝は何度かあったんですが、九州ブロックの層が厚く、団体出場はなかなかでした。

「出場した青年二部というのは、

「今更なるよう決められています。四十年代、三十年代、二十代それぞれ一人ずつ三人でチーム

「編成します。三人の職種は必ず異なるよう決められています。今や鹿児島、光とまで言われていますが、剣道はいつ頃から始めたのですか。

「M中三の時から始めました。その頃から向田国太郎氏や鎌田繁蔵氏らの熱心な手ほどきを受けてきました。優秀な指導者に恵まれたと感謝しています。

「剣道はなんと書いても「先」と断言する光さん(44)。「剣道は一生続けられるスポーツ」と、またまた今後の活躍が期待されます。中種子郵便局に勤務のか



たわら、夕方からは中高の指導にあたります。妻のほう子さん(40)・長女の理己さん(高2)・二女の真己さん(中2)・三女の美己さん(中1)の五人家族。三人の娘さんも父に続けと練習にはげむ女剣士です。



現代の青年は、学生にしろ勤めをもっているにしろ、独身貴族といわれるほど、海外旅行や大型ショッピングを楽しまし、ドライブやスポーツなど、レジャーの代表選手と見られています。

仕事はレジャーをするための手段という意識が強く、余暇こそ大切と考える人が多いということから、現代の青年を、新人類と呼んだりします。

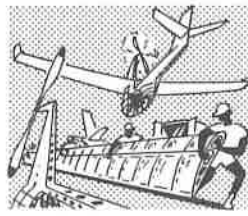
余暇を大切に
意識が高い

■余暇とライフ・ステージ■ 青年時代 一生やれるものを探す

「それは、極めて日本的なのですが、時間はいくらでもあつたに何をしたらいいのかわからないという、戸惑いが見られることです。過ごし方が分らないので、何でもおまかせしてしまおうという傾向が目立つのは、そのためです。

もう一つの特徴は、その時だけ楽しむという意識が強い、つまり刹那的なことです。

人の一生は、青年期に夢見たことを実現させていく道程であるといわれます。そうて



「何をしたいいか見極める」

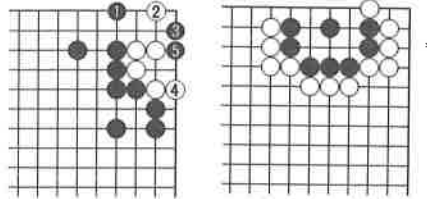
「可能性は大きいのですから、いろいろなことに挑戦し、行動することによって学び、一生やっていたるものを発見する——それが青年期の大きな課題であると思います。行動を通して同好の友人もできます。

「趣味を青年期に獲得することかできれば、その後の人生は、一段と実り豊かなものになることは間違いありません。

「あれはこそ、余暇についても、自分はいったい何が好きなのかを見極め、本当は何をしたいのかを真剣に考えてみるべきだと思えます。

「青年期の趣味が人生を豊かにする」

【有段を目指して】



【詰碁正解】黒1のトビが素晴らしい手筋で、以下白2に黒3、5で無条件で死。

【詰碁正解】1三飛、同桂、1一角成、2三玉、1二馬、同玉、3二竜、同銀、2二金まで9手詰め。

【解説】盤上の角がキャマ駒なので初手に1一角成としたいのですが、同玉、1三飛、1二歩と合駒されて詰みません。初手は1三飛と捨ててから角を処分します。

ガソリンスタンド

休日営業

- 11月3日 まるい石油 (旭町)
- 11月5日 種子島石油 (旭町)
- 11月12日 種子島石油 (柴町)
- 11月19日 種子島石油 (田島)
- 11月23日 種子島石油 (伏之前)
- 11月26日 農協給油所 (浜津脇)
- 12月3日 丸正石油店

休日在宅医

- 11月5日 恒吉医院 (中種子町 ☎7-0047)
- 11月12日 伏之前診療所 (中種子町 ☎7-0850)
- 11月19日 高岡医院 (中種子町 ☎7-3100)
- 11月26日 鎌田医院 (中種子町 ☎7-0325)
- 12月3日 南種子町診療所 (南種子町 ☎6-1230)

※11月3日、11月23日は休診です

あなたと町政をむすぶ

平成元年12月5日発行

No.409

広報

NAKATANE KAGOSHIMA



なかたね

元年12月号

発行 鹿児島県中種子町役場

編集 企画課広報係

☎ ①-1111(内線59)



人口のうごき

総人口	11,143人(-19)
男	5,312人(-10)
女	5,831人(-9)
世帯数	4,167戸(-6)
出生	6人
死亡	7人
転入	31人
転出	49人

()は先月との比較
11月1日現在

9月19日〜10月18日受付
おめでた

こんにちは 赤ちゃん

氏名	保護者	住所
長谷川真希	文雄・祐子	中之町
長田しおり	道秋・きよみ	横町
小島 翔	次雄・美保子	西之町
居川 哲也	博一即あみ	旭町
西 佑磨	昭人・弘美	島田
積 あゆみ	広行・和子	伏之前
溝上 友香	政弘・ひとみ	横町

おくやみ 申し上げます

故人	年齢	住所
徳永 朴	60歳	田島
浜添 チヨ	87歳	福寿園
小牧 盛政	76歳	東目
北山 正義	36歳	本村
松 マチ	92歳	二十番
藤代 榮	91歳	輪野尾
餅原 トメ	91歳	町山崎
井伊 和貴	2歳	西之町
浜脇 兼藏	75歳	横町

社協だより

次の方々が町社会福祉協議会へ、金一封を寄付されました。これらの善意に感謝するとともに、つつしんで故人のごめい福をお祈りします。

氏名	故人	住所
徳永サチ江	朴	田島
北山 ナミ	正義	本村
松 正夫	マチ	二十番
藤代 キヨ	榮	輪之尾
餅原 操	トメ	町山崎
浜脇ヤス子	兼藏	横町

記 果 後

秋の収穫期を迎えた。久しぶりに耕うん機やトラクターの快いディーゼルエンジンの響きを聞く。

からいもの収穫作業も年々変わってきた。昭和四十三年頃までは鎌と鍬や鋸の手作業だったが、その後耕うん機をつる払い機と堀り起し機が主流になった。マルチ栽培が増えた五、六年前からは小型トラクターによる作業が目につくようになった。さらに最近では掘り起し機で一カ所に集める便利な機械も普及している。昔と変わらないのは腰を下ろしてのちぎり方。手に手にソーケを持ち、からいもを囲む。最後の一個を済ませていっしょに次の場所に移動すること。牛のごとなど騒音も絶えない。

近ごろはいい(結)をする人もほとんどいなくなつたが、からいも打ちにはまだ、ほのぼのとした温みが漂っている気がする。

史料館だより 128

屋久津の供養碑

屋久津海岸を見下す岩の上に建てられている。弘化二年(一八四五)は今から一四四年前。天保九年(一八三八)松寿院は、熊野権現山に松濤庵を造り住職をお願い、お寺の管理と近迎の教化にあたらされた。

この年住職の日誉が、屋久津の人たちの病氣・災害・海難防止など供養のために建てられたものであろう。

種子島家譜の記録では、この年の数年前から台風による水害・バツカによる穀物の損害甚大。

老若男女百三十四人
本因妙果
供養題目百二十万遍
弘化二己六月二十一日
松濤庵住日譽敬白

凶威のため甘藷の島外持出し禁止、甘藷の葉を食う虫大発生のため山伏に祈禱させ祈禱

札を配布、また痘瘡が流行して多くの死者が出たり、畝いは漁に出たまま行方不明の者が出るとか病氣や災害が続出している。

現在のように科学的に解決できなかった当時において、は、このような天災地変は人間の心のゆるみやおごりに対する神仏のいましめであるとして神仏をおそれ、百三十万遍(一人一万遍)南無妙法蓮華經のお題目を唱えて供養塔を建て、神仏のいかりを鎮めたのである。

季節の風に揺れながら
いつぱいの陽光を浴びながら
みずみずしい甘さは育ってきた

台風にきたえられ
畑の主に見守られ
けなげな命は伸びてきた

オキギに育てられ伸びてきたこの町
オキギを大事に大事にしてきたこの町

人間たちのなんだかんだを聞き流し
これから先はどうだこうだも気にかけず
ただ自然のままに自然のカとして
あなたたちは生きてきた

季節の移るいの中に確実に何かを残してくる

この頃の人間たちの季節は何やら騒々しいな……そんなことでも思いながら
トラクに揺られているのだろうか
収穫……するもの、されるもの
そのための汗も喜びも……
これからのこの町を支えていくのだろうか

農村情報連絡施設

全面運用



運用開始のボタンを押す町長



情報連絡の中核、役場の控室

明日を呼ぶ声 むらむらを

昨年度と今年度にわたり進められてきた、農村情報連絡施設（防災無線）がこのほど完成し、11月21日完成を祝う式典が行われました。

今年4月からは、それまで設置を終えていた屋外スピーカー22基で一部運用を始めていたが、残り14基の屋外スピーカーと1060台の戸別受信機の設置を完了し、全面運用となったものです。

式典では、神事の後、親局前でテープカットを行い、町長がメインスイッチのボタンを押すとすべてのシステムの表示灯が点灯しました。

町民歌が流れた後「町民への情報サービスの一環として身近に利用していただきたい」と町長の第一声が町内に響きわたりました。

この事業は、昭和57年度から始まった新農業構造改善事業の一環で、農林水産省の補助を受け、総事業費一億五千五百九十五万一千円（町単四百五十五万

一千元）で進められました。役場からの一般行政情報だけでなく、農協からの農時情報、また災害時には緊急連絡や誘導など幅広く有効に利用されます。



公用車の移動局



36ヶ所に立つ屋外スピーカー

この施設は大別して2つのシステムから構成されています。各装置は防災行政の意味からも万一の場合を想定し、全ての装置に非常電源を装備しています。

固定システム

役場に設置された無線装置で電波を発射し、町内36ヶ所に設置した屋外スピーカー受信機で放送するシステムです。

特に情報伝達の確実さを期すため、戸別受信機1060台を設置し、選択呼び出しができるようにしています。

新局からの放送は、従来のテープレコーダーと併用し「放送文の編集が簡単なディスク盤も使用しており、放送文の保存、組み換えがスムーズに行えます。

移動システム

役場に設置された無線装置と11台の陸上移動局による情報の伝達システムです。

災害発生が予想される場合、あるいは発生した場合に、役場から全ての移動局に情報や指示

の伝達を行い迅速な災害対応ができます。また平常時でも効率的な運用ができるよう役場内5課に設置された遠隔制御装置で送信できるようにしています。

利用の拡大を

きます。（個人の情報や営業を目的としたものはできません）それは役場や農協からの遠

町内36基の屋外スピーカーはそれぞれ個々に放送ができます。校区内放送や部落放送も指定でき、地区内情報を流すことがで

隔操作でもできますが、地区代表者（部落会長ら）の許可で、スピーカー設置場所での放送も可能です。

学校や団体・校区や部落の行事やお知らせに大いに利用ください。利用については役場総務課におたずねください。

さらに戸別受信機は、一戸ごと、あるいは部落ごとなど幅広く利用ができます。



テレビの上にあるのが戸別受信機



消防分団遺所から発信する中森所長

しめ切り間近か

町では、来年町制50周年の記念すべき年を迎えるにあたり、町民総参加の各種事業を計画しています。

本紙10月号でもお知らせしましたが、今回、50周年にむけての意識の高揚をはかるため、広く町民のみなさんから作品や資料を募集します。しめ切りもせまっていますので、急いでご応募ください。

応募作品
●50周年を記念してのキャッチフレーズ

●50周年記念シンボルマーク規格1たて20センチ、横20センチの面紙を使用し、色は3色以内とする。

●総合運動公園の愛称明るく、健康的、躍動的な名まえを。

●写真の募集
町制50周年をふりかえる…思い出の写真をお持ちの方記念誌作成のためしばらくお借しください。
しめ切り 12月20日 提出先 役場企画課（実行委員会事務局）

この目で見た ハイテクの町

海外派遣事業 アメリカ モントレー地方



ふるさと創生事業については、本紙10月号で紹介したが、このほどそのうちのひとつ、海外派遣事業が実施された。

海外派遣事業は、視野を広く国外に向け、21世紀を切り開いていく人材を海外に派遣し、ハイテクと農業の先端を行く町を研修させる目的で行われた。

研修地はアメリカのカリフォルニア地方。ハイテク産業に二人、花き園芸に一人、派遣された研修生はいずれも町職員で、池田弘（企画課）、川下朋身（総務課）、森山昭市（農政課）の三人である。

一行は10月26日に中種子を発ち、池田と川下が一週間、森山が約一カ月間現地を研修した。

町では平成2年度からスタートする第三次長期振興計画づくりを、全課をあげて進めている最中である。「明るい未来に種子まくまち」をキャッチフレーズに21世紀へつなぐ新たな産業おこしなど、長期的な展望の中で、本事業の国際的視野に立った人材の育成は意義深いことと期待されている。

本紙では、今回からこの3人の研修生の現地取材を紹介する。

シリーズの第一段は現地滞在が約一週間と、短期間でハードな日程を終え、11月4日に帰国した池田研修生の「見聞録」を取り上げてみた。

広大なUSA

期待と不安の中、9時間の飛行を終えサンフランシスコ国際空港に着陸した。

空港ではユナイテッド航空サンフランシスコ営業支配人の山



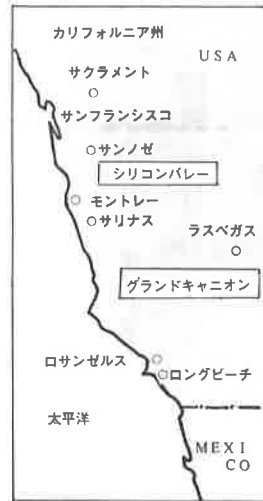
テクノセンターのロボットが描いた池田弘さん

小田一郎氏（横町、山小田ソンの長男43歳）と森山研修生の実習先であるサリナスの田代社長（夫妻（串木野市出身）が温かく出迎えてくれた。

面積は日本の約25倍、人口は2倍の2億4千万人。大陸横断にジェットで6時間、車で3昼夜かかるというからとにかく広い。

今回訪問するカリフォルニア州は大陸の西海岸に位置し、人口2370万人、全米の州ではトップ、面積は日本全土の約9割を占める。州都のサクラメントは北部にあり、サンフランシスコ、モントレーは中部に、さらに南下するとロサンゼルスなど国際的観光保養都市が連なる。年平均気温13・7度、年間降

西海岸マップ



花の町サリナス

森山研修生の実習地であるサリナスへ。一帯には日本人家庭が50戸あり、ほとんどが鹿児島県人だ。カゴツマ弁もOK。花づくりがほとんどだが、その中でもリーダー格は田代社長である。4社のハウスにカーネーションだけを栽培し、長男の技術指導のもとに6人のメキシコ人を雇い、年商4億円を上げている。花き園芸など農業事情や経営については次回、森山研修生の報告を待つことにする。



サリナスの農場での池田、川下両研修生

自然に溶けこむ モントレー

ゴールデンゲートパークは、かの有名な金門橋の手前であり、404谷ととにかく広い。鮮やかな巨大な橋はそれ自体見事なものだが、周囲の風景に溶け込んだ様は大パノラマを展開する。通常は片道の通行料がいるが、先ずの地震でペイブリッジが不通になつているため、その臨時的措置として無料だった。このへんもアメリカ的だ。ケープルカーの終点で降り立つと、もうそこはシスコ湾「フィッシャーマンズ・ワーフ」漁船だまりの周囲には、おびただしい数のシーフード・レストランや新鮮なエビ・カニなどを手際よくゆで上げ

露店が軒を連ねて陽気なカニ売り娘が声をかける。百年前は缶詰工場だった所を、アイデア上手なアメリカ人は一大スクエアに変身させてしまうこのすばらしさ。

モントレーでは、一本の木を切るにも市の景観条例があり、自然を大切にし乱開発など見うけられない。ちょうど増田の犬

城海岸をドライブしているような景観だ。

モントレーには3つのゴルフ場があり、いずれも自然景観には十分配慮し、その中にコースをレイアウトし、青い海と空、松の緑、そして手入れの行き届いた芝生のジュウタンを目のあたりにすると迷わずグリーンの中に吸い込まれていくようだ。

付近一帯にはコンピュータ関連産業の立地が多く、各種の学会や、重役会議に長期滞在する夫婦が多い。テニス、エアロビクス、プール、トレーニングセンターなども完備され、心地よい汗を流し明日への活力を養っているようだ。



サンフランシスコの象徴、金門橋

見て歩き

サンフランシスコは坂の町、過密な割に息苦しさがないのは整然とした都市計画と起伏に富んだ土地ゆえの空間処理といえるだろう。

モントレーの名門ゴルフコース、ペブルビーチ



モントレーの名門ゴルフコース、ペブルビーチ

お知らせ ランド



トッピー運休

ジェットフォイルは定期的にエンジンの乗せ替えや、検査が義務づけられています。これにともない、次の期間中はやむを得ず、トッピーを運休させていただくこととなります。ご利用のお客様には誠に申し訳なく、迷惑をおかけいたしますが、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

なお、トッピー運休中、第二屋久島丸が代替船として運航いたします。

○トッピー運休の期間
・平成元年12月11日～12月14日
・平成2年2月14日～3月5日
○第二屋久島丸運航時刻
奇数日 午前9時西之表発
午後0時半鹿兒島着
午後2時鹿兒島発
午後6時西之浦着

偶数日 午前8時半西之浦発
午後0時半鹿兒島着
午後2時鹿兒島発
午後5時半西之表着

年末年始の交通安全防止運動 (12月15日～1月10日)

年末年始は交通量が増加し、飲酒の機会が多くなり交通事故の多発が予想されます。県民総ぐるみで、次のことを実践し、交通事故を防止しましょう。

▽家庭では
◎家族全員で交通安全について話し合い、特に子供と高齢者に対する安全指導を徹底する。

て話し合い、特に子供と高齢者に対する安全指導を徹底する。

◎飲酒運転や暴走運転等の追放を強く呼びかけ、地域ぐるみの交通安全防止運動を推進する。

▽職場では
◎運行管理や労務管理を徹底し、事業活動にともなう交通事故の防止を図る。

◎職場ぐるみで飲酒・暴走等無謀運転の追放を図る。

◎「酒を飲んだら運転しない」「運転する人に酒をすすめない」等飲酒運転四(し)ない

年末年始の乗船切符売り方法

乗船指定日	船名	前売発売日	前売発売時間	場所
12月30日(土)	フェリー出島	12月29日(金)	10:00～12:00	鹿兒島港切符発売所
	第二屋久島丸	12月29日(金)	10:00～12:00	
12月31日(日)	フェリー出島	12月30日(土)	10:00～12:00	西之表港切符発売所
	第二屋久島丸	12月30日(土)	10:00～12:00	
1月3日(水)	フェリー出島	1月2日(火)	14:00～16:00	西之表港切符発売所
	第二屋久島丸	1月2日(火)	10:00～12:00	
1月4日(木)	フェリー出島	1月3日(水)	14:00～16:00	鹿兒島
1月5日(金)	第二屋久島丸	1月4日(木)	10:00～12:00	

1. 発売枚数は、定員の50%
2. 乗船券及び整理券は、一人につき5枚までお求めできます。
3. 欠航の場合は、当該整理券及び乗船券は無効となります。

障害者職業訓練生募集

障害者の自力更生のため、職業能力訓練を行っている鹿兒島障害者職業訓練校では、来年度の訓練生を募集しています。

▽入校対象者
心身に障害のある人で職業訓練に支障のない方

▽訓練科目
園芸科、電子機器科、服飾縫製科、製版・印刷科、義肢・装具科、経理事務科

▽特典
授業料免除、寮完備

▽募集期間
10月2日(月)～2月28日(水)

▽送考日
3月7日(水)・8日(木)

▽問い合わせ先
鹿兒島障害者職業訓練校(〒895-114 薩摩郡入来町田6285 ☎0996-2206・2207)

工業統計調査にご協力を

今年も12月31日現在で工業統計調査が実施されます。この調査は、製造業を営むすべての事業所の製造活動状況を明らかにすることを目的とするもので、調査の結果は、国や県の都市計画や景気対策などの基礎資料として幅広く利用されます。



調査票に書かれた内容は、統計以外の目的に使用することは絶対にありません。ありのままを記入のうえ、指定の期日までに工業統計調査員にご提出ください。

今年度の春と秋の健康優良児が決まりました。

先ごろ行われた春の健康優良児の審査に加え、このほど秋の審査も行われ、合同の表彰式が十月十九日にありました。

対象となる赤ちゃんは、生後3ヶ月から10ヶ月までで、中種



子町を代表するだけあってなかの元気坊たちです。

また、この日は母と子の良い歯のコンクールもあり、町内から二組の母子が受賞しました。

お母さんともども虫歯ゼロは少ないと言われる中、とてもすばらしいことです。

西之表保健所長は「将来、大人になっても、ああ、あの時の赤ちゃんだったね。大人になってもさすがに違わね」と言われるように成長してほしい」とお祝いの言葉を贈りました。

【春の健康優良児】

- 鎌田 優希ちゃん
後寿さんの二女(横町)
- 厚子さんの二女(横町)
- 八汐 順生ちゃん
公彦さんの長男(伏之前)
- 真由美さん
- 田頭 司ちゃん
真一さんの長男(大平)
- 良美さん
- 稲子 史帆ちゃん
伸二さんの長女(熊野)
- 屋憲さん

- 加世田龍征ちゃん
和則さんの長男(栄町)
- 広子さん

かしこく やさしく たくましく

…今年度の健康優良児…



- 長 聖也ちゃん
昭廣さんの二男
八千代さん(上土方)
- 長浜和希ちゃん
浩二さん
登美子さん(池之平)
- 清水 聖子ちゃん
浩二さんの二女
みすこさん(古原)
- 川畑 友佳ちゃん
博さんの長女
千鶴子さん(高峯)
- 西田 良輔ちゃん
良久さん
久代さん(高峯)

母と子の 良い歯のコンクール



- 柳田妙美さん
と長女(長谷)
ちゃん(長谷)
- 本鍋田美智子
さんと長男の
将克君
(伏之前)



1位でゴールした岩岡の増蓋さん

今年の町内の体育行事の最後を飾る、第14回町内駅伝競走大会が11月2日行われました。町内7校区、8チームの小学生から40歳以上の男女112人が、14区間27・4キロに健脚を競いました。

岩岡 王者の意地

町内駅伝競走大会



一番苦しいと言われる6区の坂を登る美原さん(油久)と南界(南界)

- 大会の成績は次のとおりです。
- ①岩岡1時間37分46秒②南界1時間38分11秒③野間上1時間39分46秒④油久1時間40分38秒⑤増田1時間43分41秒⑥納官1時間46分3秒⑦野間下1時間46分45秒⑧星原1時間46分55秒
- (区間賞)
- 1区中男―知念和博(油久)
 - 2区青男―木場浩一(納官)
 - 3区小女―石堂歩(野間上)
 - 4区高校男子―松島修(野間上)
 - 5区小学男子―山口広樹(南界)
 - 6区高一一般男―田ノ上晃(野間上)



応援も熱が入ります

スタート直後降り出した雨も3区あたりではあがり、農作業の手を休めた大勢の観衆が、沿道から地元校区に熱い声援を贈りました。

レースの前半は、過去10回の優勝経験をもつ実力ナンバーワンの岩岡がリードしましたが、中盤、昨年念願の初優勝を手にし、「今年も」の意気込みをみせる南界校区がふんばりトップに。

最終の14区では岩岡と南界がはげしくトップを争いましたが、

ゴール前手前でも、岩岡が先頭に立ち、そのままゴールしました。

大会の記録は昨年比で二分ほど及ばなかったが、4区間に新記録が生まれるなど、特に小・中学生の伸びが著しいでした。

また、昨年7位だった油久校



熱戦の前の開会式

南界6年ぶりのV

壮年バレーボール大会

駅伝競走大会の開会式の後、午後からは40歳以上の壮年バレーボール大会が行われ、駅伝同様、校区対抗による熱戦が展開されました。

昨年までは野間上(昨年八回目の優勝)、野間下で出場していた野間校区は、今年は上、下

を解き、A、Bで臨みました。決勝戦は野間Aと南界で行われ、2・1で南界が六年ぶり二度目の優勝を果たしました。

(成績)①南界②野間A③増田④野間B(敢闘賞)小野哲也さん(納官 58歳)

犯罪のない町を願って

先ごろ中種子町防犯組合では住民の防犯意識を高めようと、小・中・高校生から標語を募集しました。これは10月1日から20日までの「全国防犯運動」期間中に行われたもので、今回は前年度の約2倍、63点の応募がありました。入賞したみなさんは次のとおりです。(敬称略)

- *小学校低学年の部**
- 〔最優秀賞〕 納官小2年 そのなかゆうさく ねるまえに みんなでしよう とじまりを
 - 〔優秀賞〕 星原小1年 たなか つよし こえかけよう みんなでかけよう ウギかけよう
 - 星原小2年 とくながけんご たすけあい こえかけあつて よいまちづく
- *小学校中学年の部**
- 〔最優秀賞〕 増田小4年 山田智恵美 あいさつは 人と人を つながかぎ
 - 〔優秀賞〕 増田小3年 保村 弘幸 やくだてよう みんなのくらしに ぼうさいむせん
 - 南界小4年 中島 洋一 そんなこと してもいいのよ みんなの目
 - *小学校高学年の部
 - 〔最優秀賞〕 増田小5年 猪鹿野真一 気をつけよう 知らない人の口車
 - 〔優秀賞〕 増田小5年 山下 裕介 一人一人が注意する 大事な勇気と 強い心
- *中学校の部**
- 〔最優秀賞〕 野間中3年 村尾 英則 まごころで 追放しよう 非ごころの芽
 - 〔優秀賞〕 南界中1年 山本 友和 ちよつとだけ 一回だけ こんな考え 悪への道
 - 野間中2年 楠木 寛之 悪い事 止める勇気も 大切に
 - 野間中3年 石堂津多江 今してる 自分の行動ふりかえり 今の自分を大切に
- *高等学校の部**
- 〔最優秀賞〕 中高1年 酒匂 茂樹 愛情と 勇気で 止めよう 非行の手
 - 〔優秀賞〕 中高1年 浜崎 隆二 忘れんな 魔の手 悪い手 すぐそこに
 - 中高2年 日高 隼人 まずなくそう 一度ぐらいの その心

かわいい人気

「ひと口サイズでお口にポン、スーパリーや八百屋で最近よく見かけるのが、あのかわいいミニトマト。味は普通のトマトとあまりかわりませんが、真っ赤な鮮やかさが食卓に華を添え、今人気上昇中。本町でも、今年度からこのミニトマトの栽培に取り組むことになりました。

古房の峯下博己さん(64)のハウスでは試験用に3アールを栽培しています。七月に種をまき、八月に定植、町内の先頭を切っ



たわねに実ったミニトマトに満足する峯下さん

て十月下旬から収穫がはじまりました。普通のトマトより大きめの茎から伸びる枝には30〜40個のかわいい実がたわねになっています。

今のところ本格的な収穫ではないため、出荷先はもっぱら地元のスーパリー。なかなか評判がよいようです。

この試験栽培にひと月遅れて本格的な栽培も行われました。収穫は十二月からですが、試験用同様順調な生育をみせています。峯下さんの15アールを合わせ、

ミニサイズで

ビッグな夢

町内で90アール、8戸の農家が取り組んでいます。収穫のピークは二月下旬から三月で、10アールあたり8トン、400万円の生産額を見込んでいます。

ハウスには暖房設備も必要など手間もかかるようですが、高収益だけに魅力ある品目と言えるようです。

販路は関東地方を中心に考えていますが、低農薬栽培可能で自然食品としての人気も高く、需要の伸びも期待されています。



ずっしりとした手応えの種元久さん(伏之前)のバショウ

思わぬ特産物

以前からほとんどの農家の庭先や畑の隅の風にあたらない所に植えられていたバショウ(在来バナナ)。バショウの実は自家用とし、子どもたちにとってはこの上ないごちそうでした。

その頃は輸入バナナも量が少なく高価で、子どもたちのバナナの味は、もっぱらこのバショウ

ウを指していました。

家庭の食用として細々と生きてきたこのバショウが、最近しだいに脚光を浴びてきました。

今年十月、農協では町内のあちこちのバショウに着目。持ち主に「出荷してみないか」と要請しました。その結果、約50本がまとまり埼玉県の市場に出荷しました。一本あたり2000円から2500円で取り引きされました。

農協農産課の上田広道さん(34)は「台湾やフィリピンから輸入されているバナナは一年中どこでも手に入るので季節感がなくなっている。今後はバショウを

「秋の味」として位置づけたい」と意欲的。

当分は、栽培というより今の株をすこしずつ増やしていく方針です。徳之島では以前から取り組んでいるようですが、暖かい地方ほど害虫が多く、その点種子島のは完全無農薬栽培が可能な果物だと自信満々です。

「輸入バナナに比べコンパクトで皮が薄く食べやすい。粘質性があり、完熟し、酸味と甘さがほどよく調和し、口に入れた瞬間から何とも言えないまろやかさが伝わってくる」と消費者の人気も上々ということです。

11月11日、農林漁業祭と文化祭が同時に開かれ、会場は中央公民館と役場前広場はたくさんの方であふれました。

各コーナーに町民わんさ

農林漁業祭 文化祭



役場前の各展示コーナー

10回目を迎える農林漁業祭の式典では、農林漁業功労者やさとうきびの生産に功績のあった農家の表彰のほか、推進決議の採択などがありました。

記念講演は、山形産産業開発株式会社長の有島孝秋氏が「農・水産物の販売戦略への発想」と題して行い、「従来の農業経営を見直し、自ら積極的に改革していかなければならない」と強調しました。



力強く講演する有島さん

午後からはいっせいに農林水産物の展示、即売が行われ、各コーナーはどこも黒山の人が押しかけ大盛況でした。

また、中央公民館ロビーでは、農林水産業に関する資料や児童生徒の習字、絵画が展示され、袋を抱えた農家の足を止めていました。

二つの勇壮な大踊りはいずれも「新吾」でしたが、それぞれ独自に保存伝承されてきたため、本村と平鍋では形態も大きく異なり、独特の土着文化の力強さを感じさせました。

農林漁業祭で受賞された方は次のとおりです。(敬称略)

運営協議会会長賞
(個人部)

- ▽水稲 熊野文夫(熊野)▽さとうきび 浜田貞樹(浜津脇)
- ▽たばこ 関幸田盛雄(大牟礼)
- ▽果樹 潮宗雄(塩屋)▽園芸 石堂弘(中山)▽花き 鎌田認三男(竹屋野)▽茶 山浦代吉(原尾)▽養蚕 有村信夫(高峯)▽肉用牛 岩川久行(郡原)
- ▽乳用牛 柳田松男(町山崎)
- ▽養豚 根井文(今熊野)▽林業 森山栄一郎(阿高嶽)▽漁業



大観衆の中、平鍋の大踊り

- 業 園田朴(新町)▽農業経営 鎌田正男(竹屋野)
- (生産者部)
- ▽原之里きとうきび営農集団(代表 園中時則 41人)▽平鍋園芸振興会(代表 梶原正 12人)▽大平たばこ総代区(代表 田元秋 5人)▽二十番和牛振興会(代表 戸田勲 16人)(集落部)
- ▽郡原(代表 上門正盛 87戸) 熊毛養豚振興会会長賞
- ▽優秀集落 戸畑 ▽最多収者 奥田直治(池之平)▽防風垣コンクール 平山章(満足山)
- 新光糖業株式会社社長賞は紙面の都合で省かせていただきました。



ランニング・レポート

花のにおりにつつまれて



収穫に精出す日高さん夫婦

秋の花、小菊の出荷が11月上旬からはじまりました。満足山の日高政昭さん(50)もそのひとり。菊づくり六年目で、現在秋咲き10アール、電照の寒小菊が25アールの計35アールを栽培しています。

今年は天候にも恵まれ、生育も順調で花の数も多いようですが、昨年比去年に比べ価格が延び悩んでいます。

秋の花、小菊の出荷が11月上旬からはじまりました。満足山の日高政昭さん(50)もそのひとり。菊づくり六年目で、現在秋咲き10アール、電照の寒小菊が25アールの計35アールを栽培しています。

今年は天候にも恵まれ、生育も順調で花の数も多いようですが、昨年比去年に比べ価格が延び悩んでいます。

町内の菊づくり農家は三十三戸。無電照が150アール、電照が700アールの合計850アールで、昨年は七〇〇万円を売り上げました。栽培面積も年々延び、減少してきたブルーバリエイアに変わり、本町花きの主役になってきています。

ところで11月10日頃に電照を終わった寒小菊は、12日から出荷がはじまり、来年2月頃にピークを迎えます。無電照よりはるかに価格もよく、農家の経済を大きく左右します。

農協農産課の寺田幸広さん(40)は「寒小菊は暖冬が最大の敵。日照量と温度が作柄に大きく影響する。今年は暖冬かも」と険しい表情を見せていました。

昨年の花の生産額は一億一〇〇〇万円。県下では、知名、和泊、喜界、山川に続いて五番目の成績です。



楽しいスポーツ

参加者のひとり浜平涼子さん(畠田)は「和気あいあいの語らいの中で楽しく運動できます。しよっちゅう体を動かすので、運動不足の解消になります」と顔の汗をぬぐっていました。

担当の笹川満夫さん(社会教育課)は「とにかくやればゆかいになります」と輪を広げたい考え。どうですかあなたも。

あなたも軽スポーツを

を流します。

かつてはバレーボール、ソフトボール、野球などで華々しく活躍した人も、年とともに体力も衰え、しだいに若い選手にバトンタッチしていきます。町民体育大会や部落対抗バレーボールでも確実に世代が入れ変わっているようです。

「昔はよくやっただが」とおなかの脂肪を気にする人はいませんか。

そこで始まったのが軽スポーツ・レクリエーションの日。スポーツの第一線から遠ざかった人や、軽スポーツで体力づくりを始めたい人のために設けられました。町内に居住する人なら誰でも参加できます。特に夫婦は大歓迎とか。今、40人が楽しみながら健康づくりを励んでいます。

この軽スポーツ・レクリエーションの日。今年10月から来年3月までの毎月第一と第三月曜日の午後7時から町立体育館で開かれています。坂下修さん(野間中教諭)ら7人のボランティアの指導でスポーツを中心約2時間汗



ランニング レポート

障害なんて

地区身障者スポーツ大会

身体障害者がスポーツを通じて体力の増強、機能の回復をはかろうと、熊本地区の身障者スポーツ大会が、三年ぶりに本町陸上競技場で開かれました。

参加した選手は上屋久・屋久両町の合同チームが二十人、西之表六十人、南種子五十人、そして本町の八十人の合計二百十



清手官警する時さん。(加町)



力走する田屋さん

人で、三十六種目に日頃の訓練の成果を競いました。

競技は聴覚障害者の一〇〇斤や、車いすによる下肢機能障害者の六〇斤競走など、障害区分ごとに行われました。

片下肢切断者で、六〇斤に走った田屋光二さん(西之表、22歳)は、先ごろ神戸で行われた身障者の国際大会で、銀メダル二個(走り幅とびと走り高とび)を獲得した日本の代表選手です。

11秒1の好タイムでゴールした田屋さんは、スタンドから温かい声援を贈られました。

競技の結果、中種子町が昨年につづき優勝しました。

この日は秋の大祭ということもあり、区内四部落からつぎつぎに郷土芸能が披露されました。

原之里の「きりのまな板」では大田勉さん(74)が13年ぶりの舞いを見せました。かたき討ちをテーマにした春田の「なぎなた踊り」、宝来の手踊り、そ



原之里の「きりのまな板」

新しい神社で秋の祭典

11月18日、秋の大祭とあわせ神社の新築落成を祝う祭典が、納官区民総出で盛大に行われました。

同神社は明治3年、納官村民の氏神として現在の境内に祭つたのがそもそもの起り。大正9年には神職、拝殿が建てられました。昭和36年にそれまで神社所有であった財産を区に移管することが決まり、この時社殿の改修も行いました。また、昭和38年には春田神社も合祀され納官唯一の神社として歩んできました。

しかし、年々社の老朽化が進み、昨年度で新築が決定。今年11月神職、拝殿、社務所などすべてが新しく生まれ変わりました。

して平鍋の「しんご踊り」と、さながら納官の民俗芸能の祭典を思わせました。

区長の春田豊一さん(平鍋54)は「新しい社の完成という区民の願いがかなえられ、神社百十余年の歴史の上に新しいひとこまを記すことができたと喜びを語っていました。

広報

NAKATANE KAGOSHIMA



なかつたね

平成2年1月5日発行
No.410

2年1月号

発行 鹿儿岛県中種子町役場
編集 企画課広報係
☎ 0-1111(内線59)



今年も午年 わたしの年

- 明治27年生まれ
- 明治39年生まれ
- 大正7年生まれ
- 昭和5年生まれ
- 昭和17年生まれ
- 昭和29年生まれ
- 昭和41年生まれ
- 昭和53年生まれ

（こんにちは）
赤ちゃん）
氏名 保護者 住所

渡邊 順一 原 旭 町
長田 立志 旭 町
池田 良文・チエミ 旭 町
関 真治 池田 町
松 翔一 池田 町
浜 利沙 池田 町
黒木 賢次 池田 町
永井 大地 池田 町

10月19日・11月18日受付け
おめでた

人口のうごき
総人口…11,146人(+3)
男 … 5,314人(+2)
女 … 5,832人(+1)
世帯数…4,169戸(+2)
出生…14人 死亡…16人
転入…20人 転出…15人
() は先月との比較
—12月1日現在—

おくりやみ 申し上げます

氏名	住所	故人	住所
坂口 義二郎	松原	長深田 勝利	砂中
鯉島 玉江	西之表市	井伊 和久	広ヶ野
日高 和守	竹屋野	永浜 陸嘉	阿高磯
田上 よし子	西之表市	奥 カミ	池之向
櫻井 徹	浜津脇	金城カメル	秋佐野
正岡 喜美枝	鹿儿岛市	菊 チヨ	大平
小辻 祐二	二十番	仲座 勝繁	西之山
永井 珠美	高峯		
細山 治洋	田島		
鯉島 ひとみ	上方		

☆ 編集後記

あつたねの21年も終わります。来年の予定は、例年新年号の表紙には年男と年女を紹介しています。もちろん対象者全員の紹介にはいきませんが、撮影への協力、よろしく。

☆ おくりやみ

訂正とお詫び

先月号「さわやか訪問記」の中、国体出場が遠藤明さん以来だとありましたが、遠藤さんの後、昭和55年の栃木国体に、剣道で中野種彦さん(塩屋)が出場していました。訂正してお詫びいたします。

平成元年に発行した出版物を紹介いたします。

- ◎ 故里の四方山話
- ◎ 町内に伝わる伝説・逸話、昔話、一口ばなし・民謡等、町資料収集委員会編。(四百円)
- ◎ 南界郷土誌
- ◎ 南界郷土誌委 員会編集。坂井村・田島村から南界校区へ、農業・漁業・学校等の変遷の様子を記録。(六百円)
- ◎ 中種子町年表
- ◎ 前刊行の年表を削除修正。平成元年四月までのもの。(三百円)
- ◎ 没後百年周縁物語 「稻と邪馬台国」の著者岩下徳蔵氏の作。封建社会の真只中で、女伊達者として権力に立ち向ったケサ女の半生を史実をもとに描く。(四百円)
- ◎ 故里のことわざ集
- ◎ 故里に伝わる故事、教訓、俗信・民間薬・天気予報等のことわざを集める。(三百円)

なお昨年刊行の資料も残部

出版物の紹介

資料館でお求めください。(潮)

- ◎ 町内文化財資料 (四百円)
- ◎ 種子島の歌の流れ(その三)流行歌集(五百円)
- ◎ 資料館年表(無料)
- ◎ 種子島大踊(無料)
- ◎ 種子島の方言 (三百円)
- ◎ 町内文化財資料 (四百円)
- ◎ 種子島の歌の流れ(その三)流行歌集(五百円)
- ◎ 資料館年表(無料)
- ◎ 種子島大踊(無料)

